

資料3 参考資料

出典資料	該当図番
国勢調査	図 1-1、図 1-6～8、図 1-13～17、図 1-19～21 図 2-7、図 3-20～24、図 3-29
住民基本台帳	図 1-2、図 1-13～14、図 1-16、図 1-18、
犬山市「人口の動き」(住民基本台帳人口移動報告)	図 1-3～4、図 1-11～12、図 1-18、
愛知県人口動向調査	図 1-11～12
外国人住民国籍別人口	図 1-5
犬山市「転入/転出される皆さまへのアンケート調査」結果	図 1-9～10
建築着工統計	図 2-1～4
都市計画基礎調査	図 2-5、図 2-17
国土数値情報	図 2-5、図 2-10、図 2-19
犬山市空家等対策計画	図 2-6、
地価公示	図 2-8～9
地価調査	図 2-9
愛知県医療機関名簿	図 2-10
全国大型小売店総覧、大規模小売店舗立地法届出一覧	
愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査	図 2-11～12、
犬山市資料	図 2-13
木曾川上流河川事務所	図 2-14～16
愛知県河川課	
愛知県農地計画課	図 2-17
愛知県オープンデータ、愛知県砂防課	図 2-18
経済センサス活動調査	図 3-1～4、図 3-14～18、図 3-25～27
地域産業連関表	図 3-5、
農林水産省「市町村別農業産出額」	図 3-6～7
農林水産省「農林業センサス」	図 3-8～9
工業統計調査	図 3-10～13、
商業統計調査	図 3-14～15、
あいちの人口、岐阜の人口	図 3-17～18
犬山市買い物アンケート調査結果	図 3-19

図 1-1 人口の推移

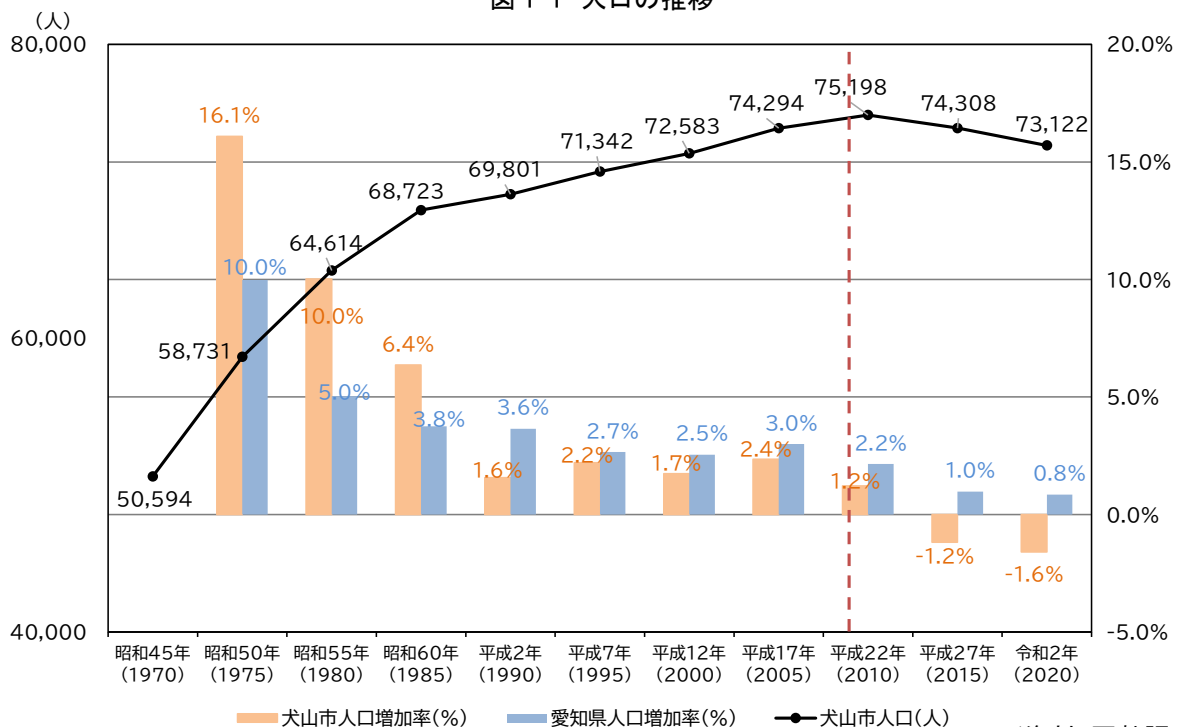
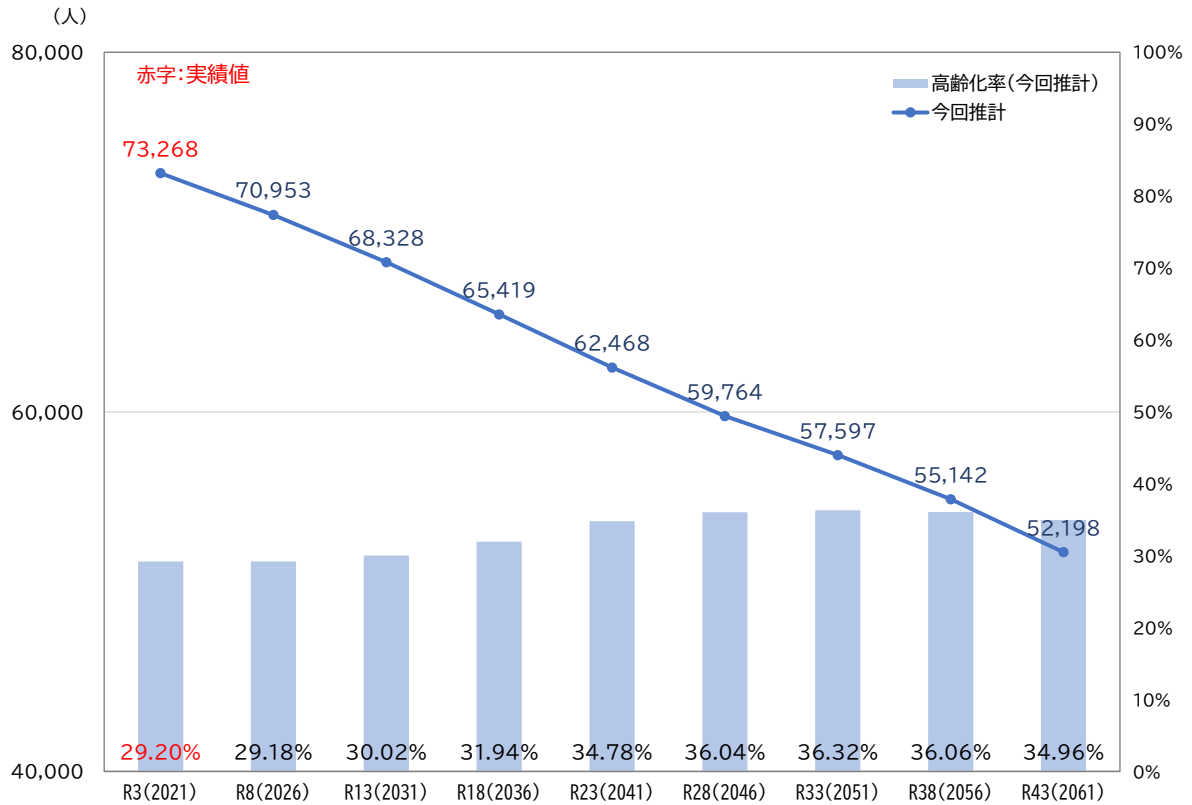


図 1-2 将来人口推計

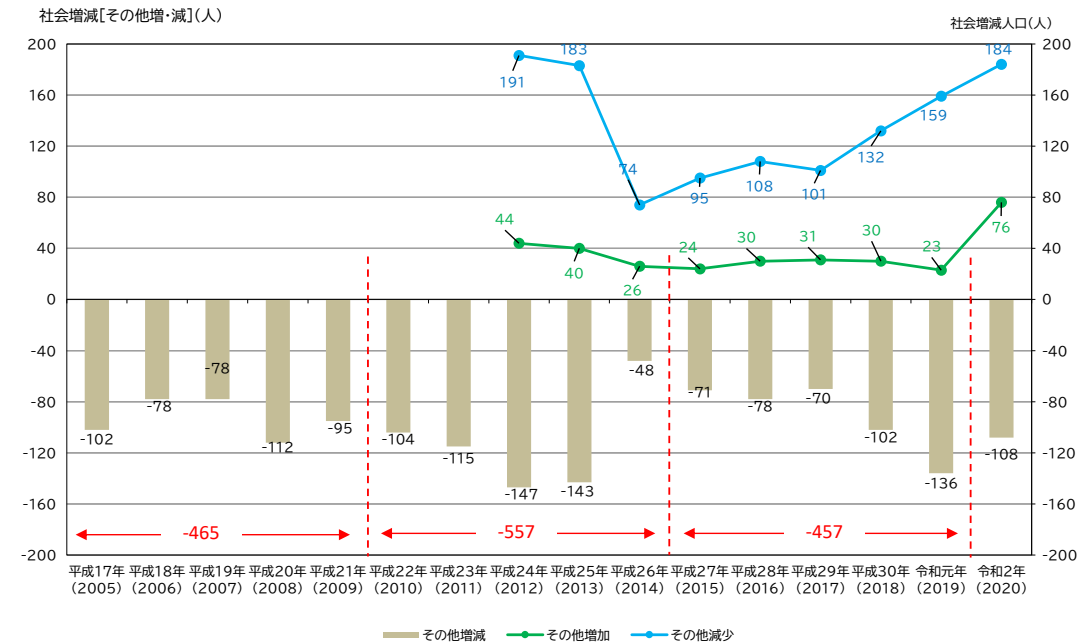
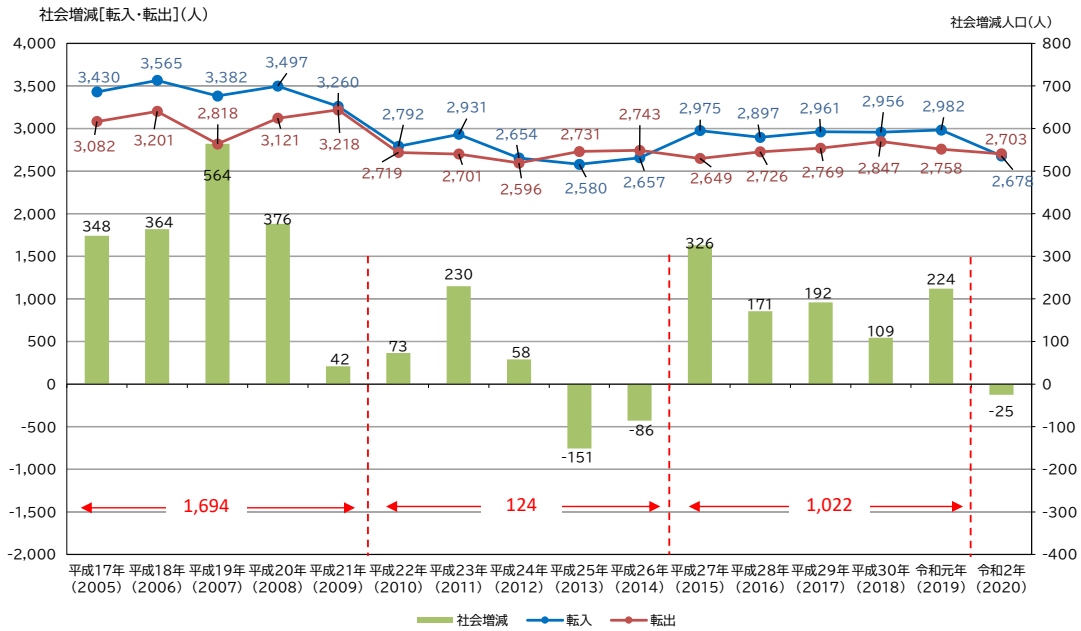
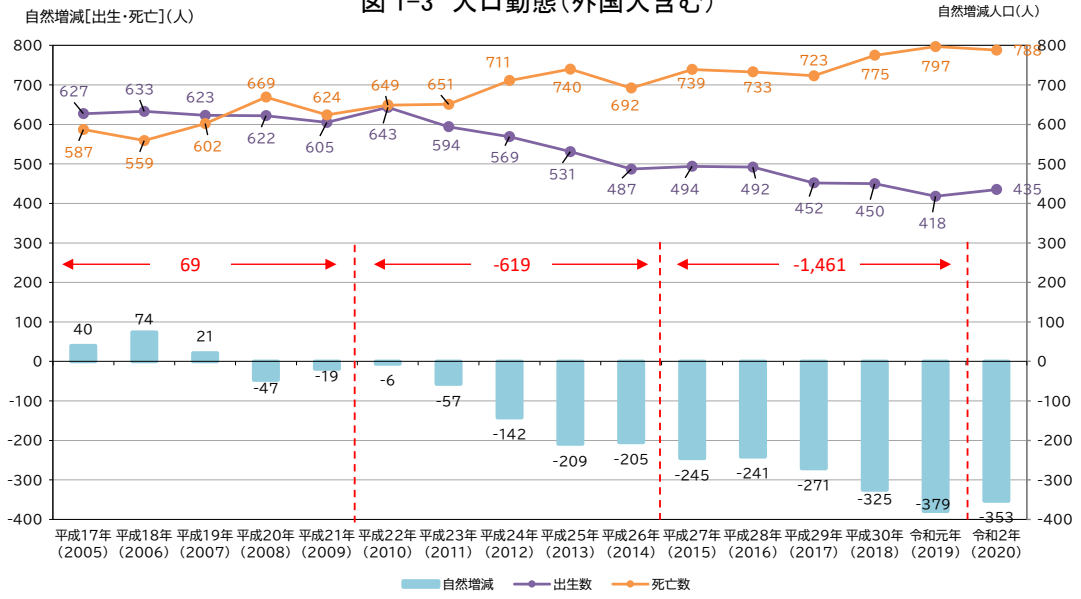


(資料:住民基本台帳に基づき独自推計)

(参考) 人口推計条件について

	今回推計	用語解説
推計期間	令和8(2026)~43(2061)年	-
基準人口	令和3(2021)年3月31日現在人口	推計の出発点となる人口
生残率	「日本の地域別将来推計人口」(平成30(2018)年推計)における犬山市の生残率を採用 ※令和28年(2046)以降の生残率は令和22(2040)~27(2045)年の生残率を採用	t年の男女、年齢x~x+4歳の人口が、5年後のt+5年にx+5~x+9歳として生き残っている率
子ども女性比	「日本の地域別将来推計人口」(平成30(2018)年推計)における犬山市の子ども女性比を採用	t年における0~4歳女性人口100人あたりの0~4歳男性人口
0~4歳性比	「日本の地域別将来推計人口」(平成30(2018)年推計)における犬山市の0~4歳性比を採用	t年の0~4歳の人口(男女計)を、同年の15~49歳女性人口で割った値
純移動率	「日本の地域別将来推計人口」(平成30(2018)年推計)における犬山市の純移動率を採用	t年の男女、年齢x~x+4歳の人口に関するt→t+5年の5年間の純移動数(転入超過数)を、期首(t年)の男女、年齢x~x+4歳の人口で割った値

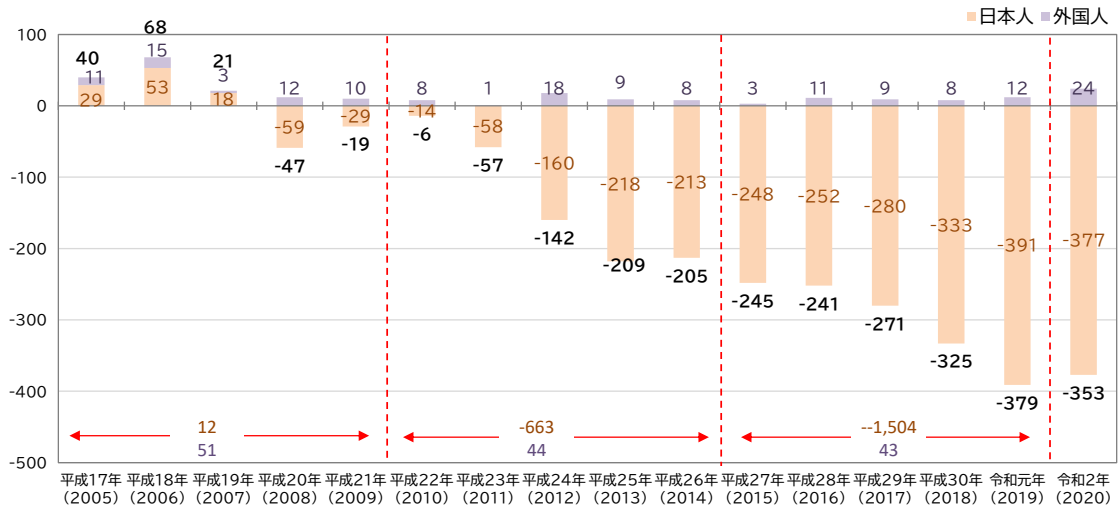
図 1-3 人口動態(外国人含む)



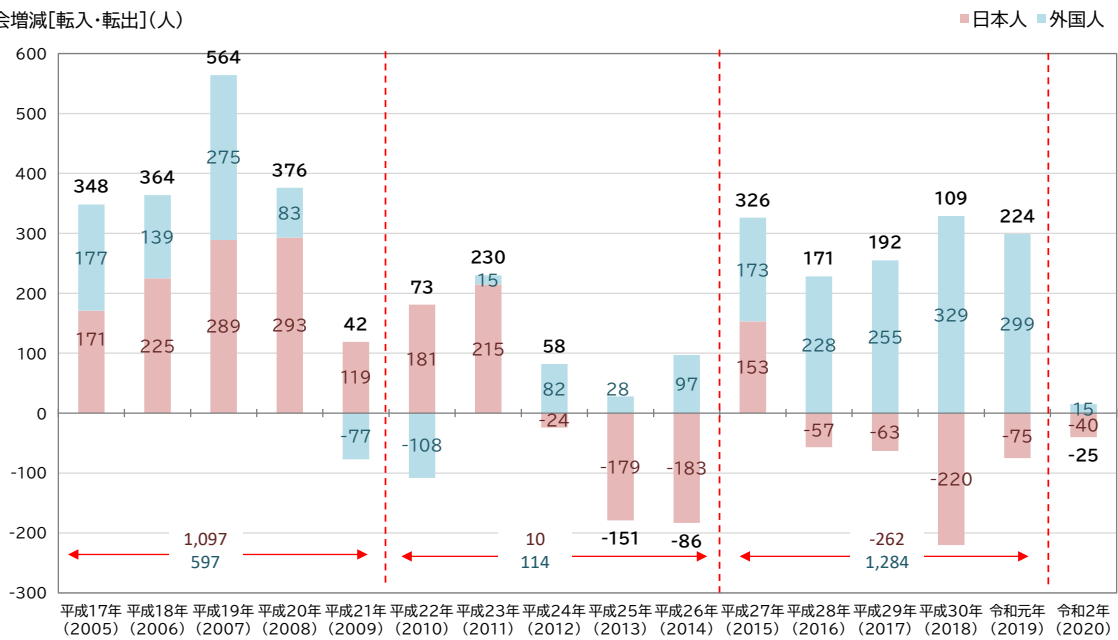
(資料:犬山市「人口の動き」、各年1月～12月)

自然増減[出生・死亡](人)

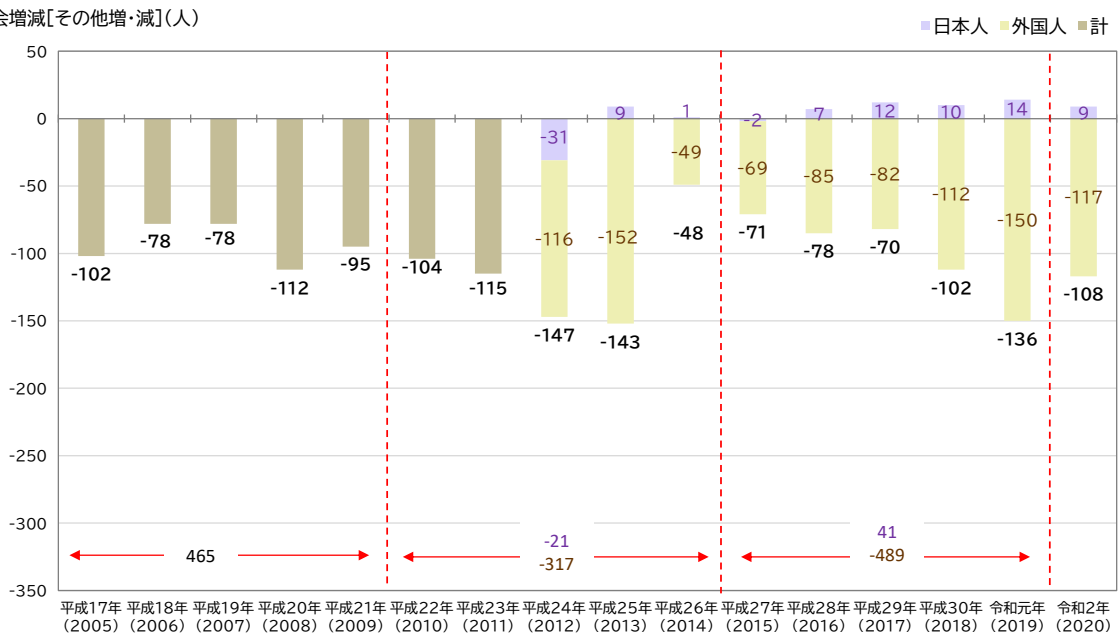
図 1-4 日本人・外国人別人口動態



社会増減[転入・転出](人)

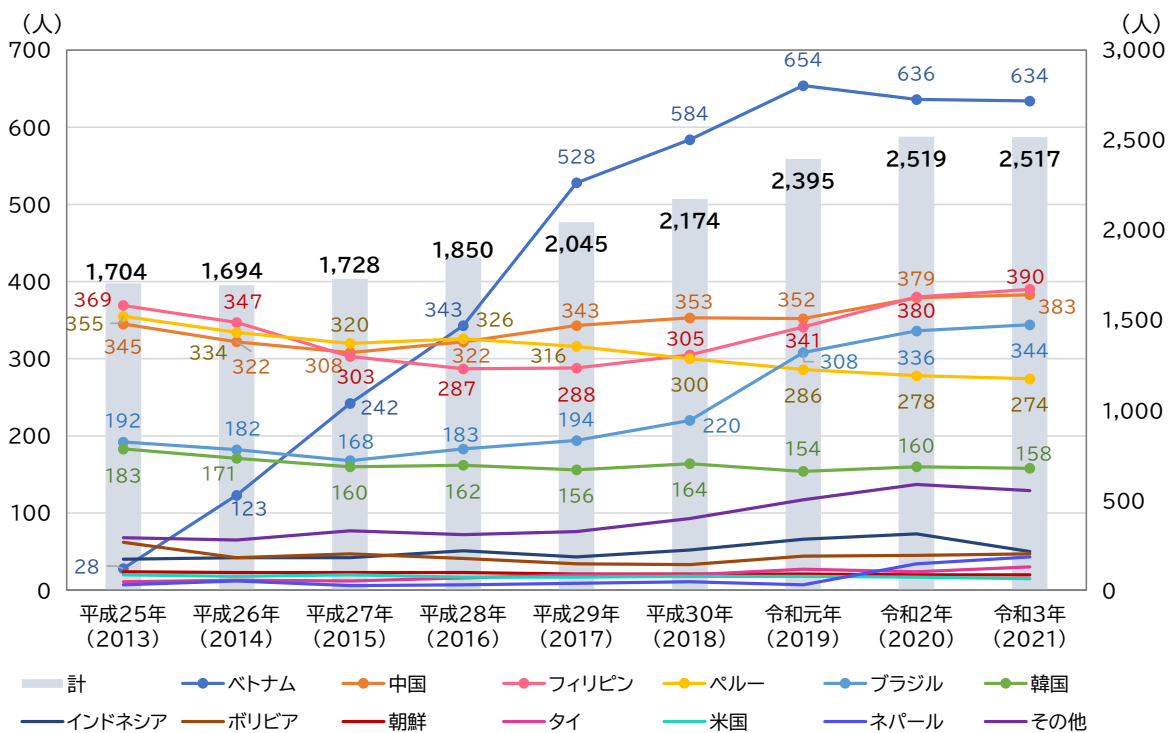


社会増減[その他増・減](人)



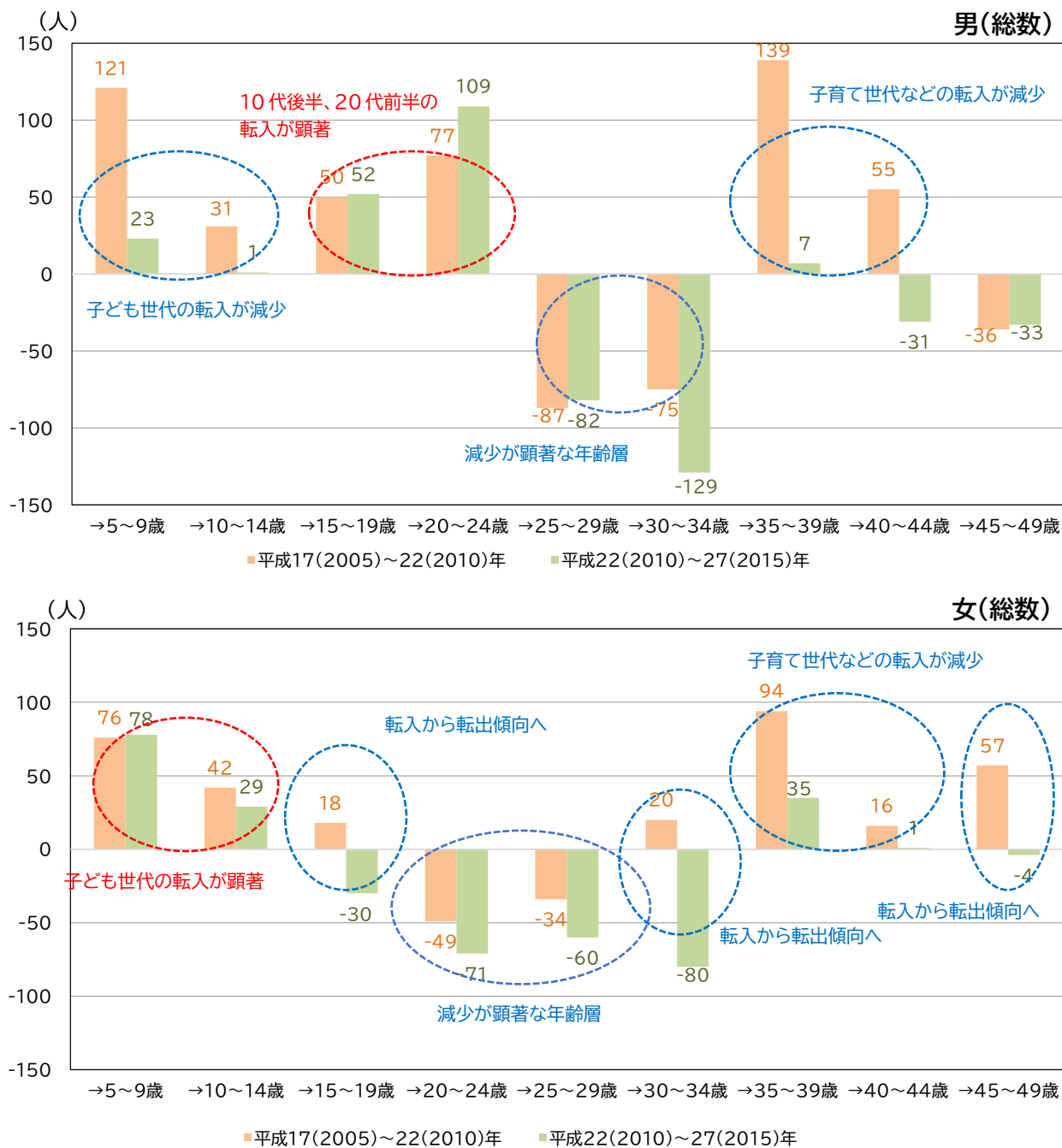
(資料:犬山市「人口の動き」、各年1月～12月)

図 1-5 外国人住民国籍別人口の推移



(資料:外国人住民国籍別人口、各年3月31日現在)

図 1-6 年齢 5 歳階級別人口の推移(総数)

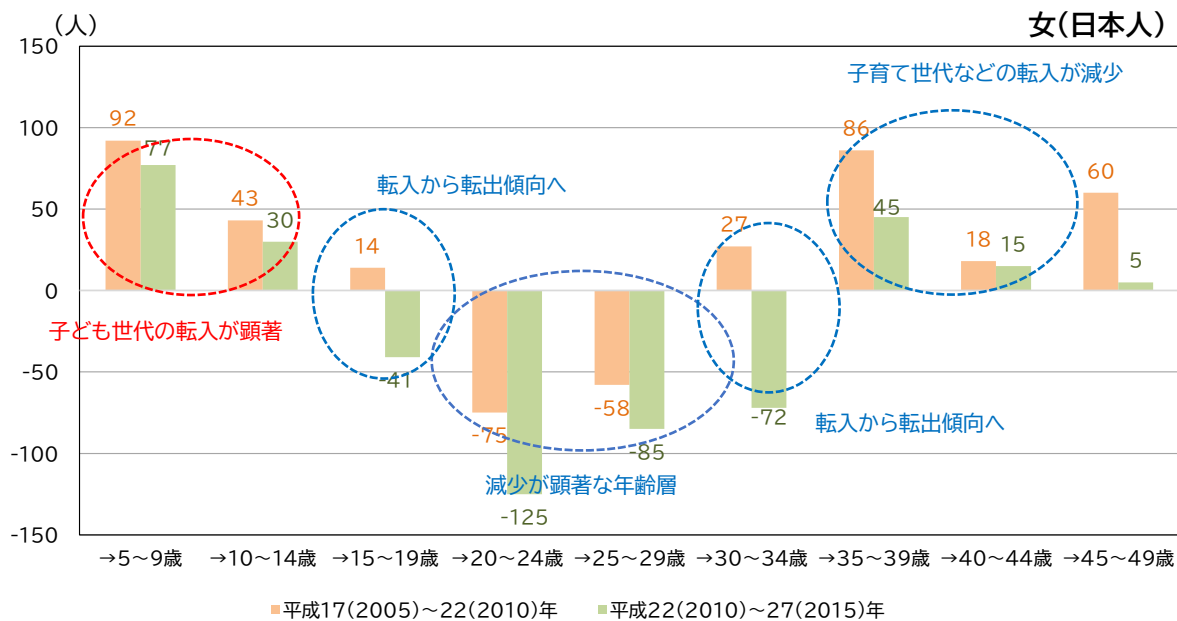
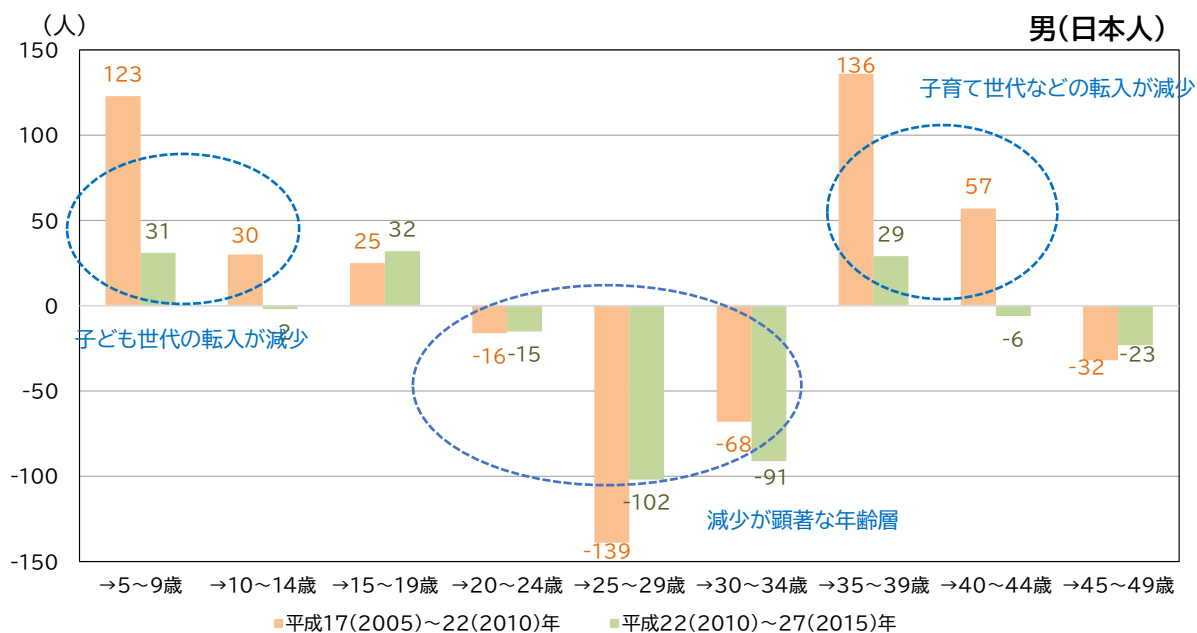


※5 歳階級別人口移動の算出方法

H22(2010)~H27(2015)における5~9歳の人口移動を算出する場合、H22(2010)時点で0~4歳だった人口からH27(2015)時点における5~9歳の人口を差し引くことで算出します。これにより、H22(2010)時点で0~4歳だった人口が、5年後にどれだけ増減したかを確認できます。また、若い世代の場合は死亡する確率が極めて低いことから人口の増減は社会移動によるものと考えられ、若い世代における5歳階級ごとの社会移動の傾向を把握できます。

(資料:国勢調査)

図 1-7 年齢 5 歳階級別人口の推移(日本人)

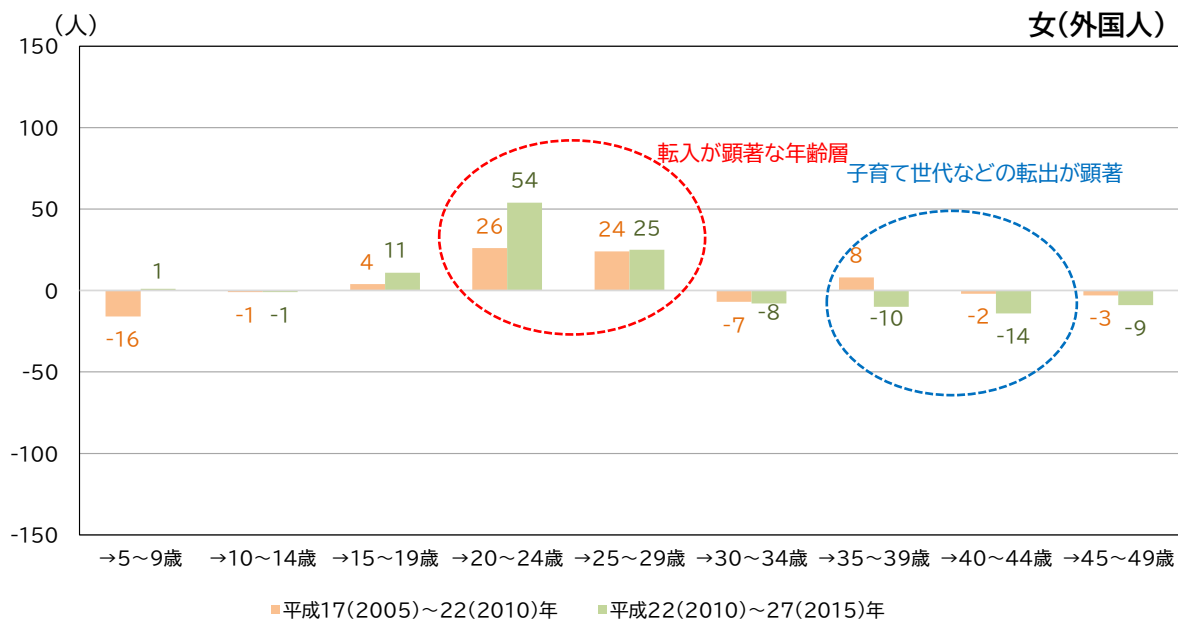
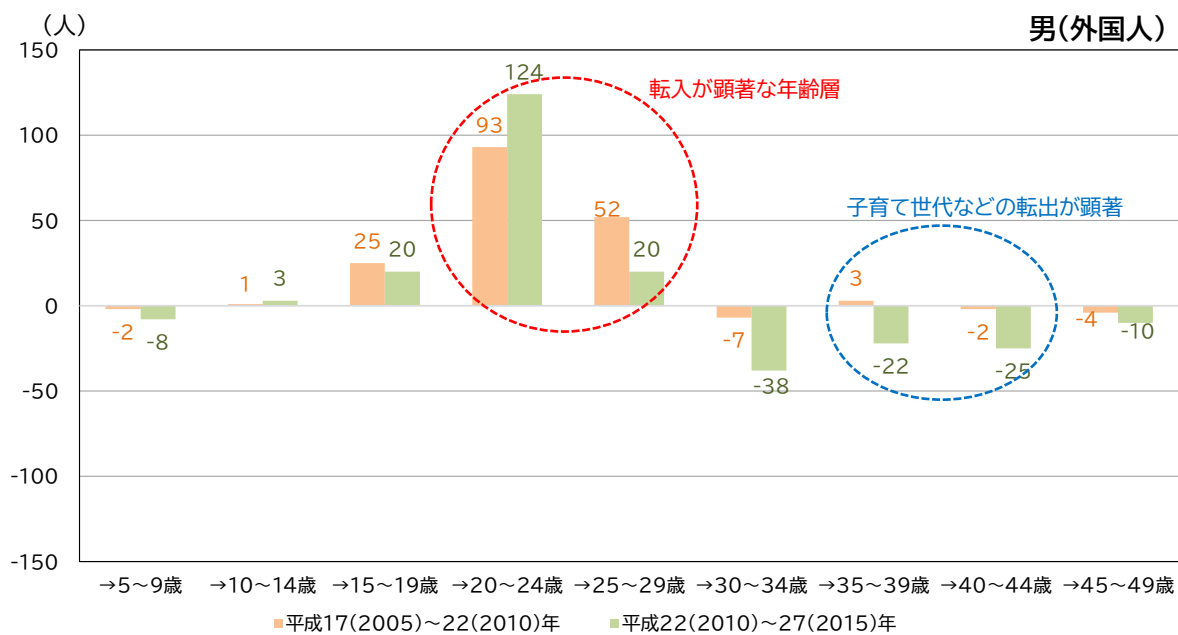


※5 歳階級別人口移動の算出方法

H22(2010)~H27(2015)における5~9歳の人口移動を算出する場合、H22(2010)時点で0~4歳だった人口からH27(2015)時点における5~9歳の人口を差し引くことで算出します。これにより、H22(2010)時点で0~4歳だった人口が、5年後にどれだけ増減したかを確認できます。また、若い世代の場合は死亡する確率が極めて低いことから人口の増減は社会移動によるものと考えられ、若い世代における5歳階級ごとの社会移動の傾向を把握できます。

(資料:国勢調査)

図 1-8 年齢 5 歳階級別人口の推移(外国人)

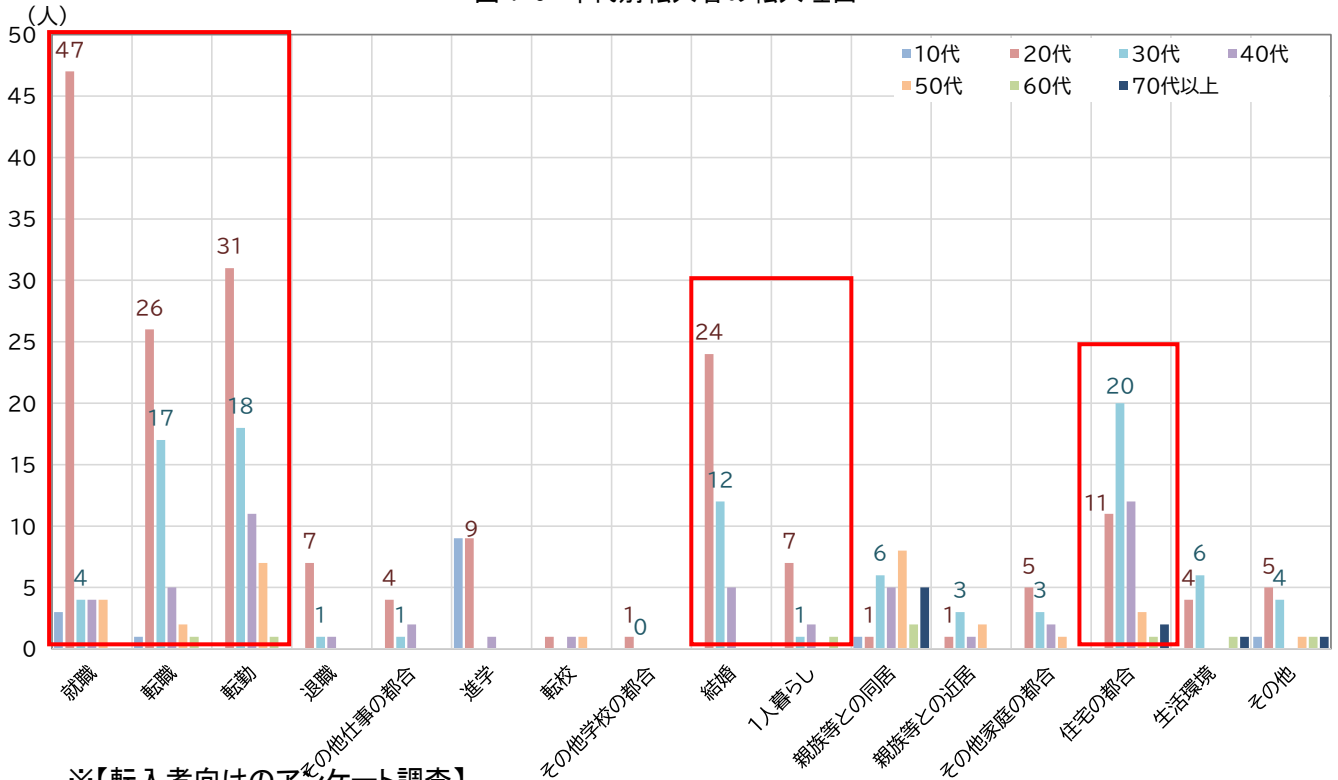


※5 歳階級別人口移動の算出方法

H22(2010)~H27(2015)における5~9歳の人口移動を算出する場合、H22(2010)時点で0~4歳だった人口からH27(2015)時点における5~9歳の人口を差し引くことで算出します。これにより、H22(2010)時点で0~4歳だった人口が、5年後にどれだけ増減したかを確認できます。また、若い世代の場合は死亡する確率が極めて低いことから人口の増減は社会移動によるものと考えられ、若い世代における5歳階級ごとの社会移動の傾向を把握できます。

(資料:国勢調査)

図 1-9 年代別転入者の転入理由

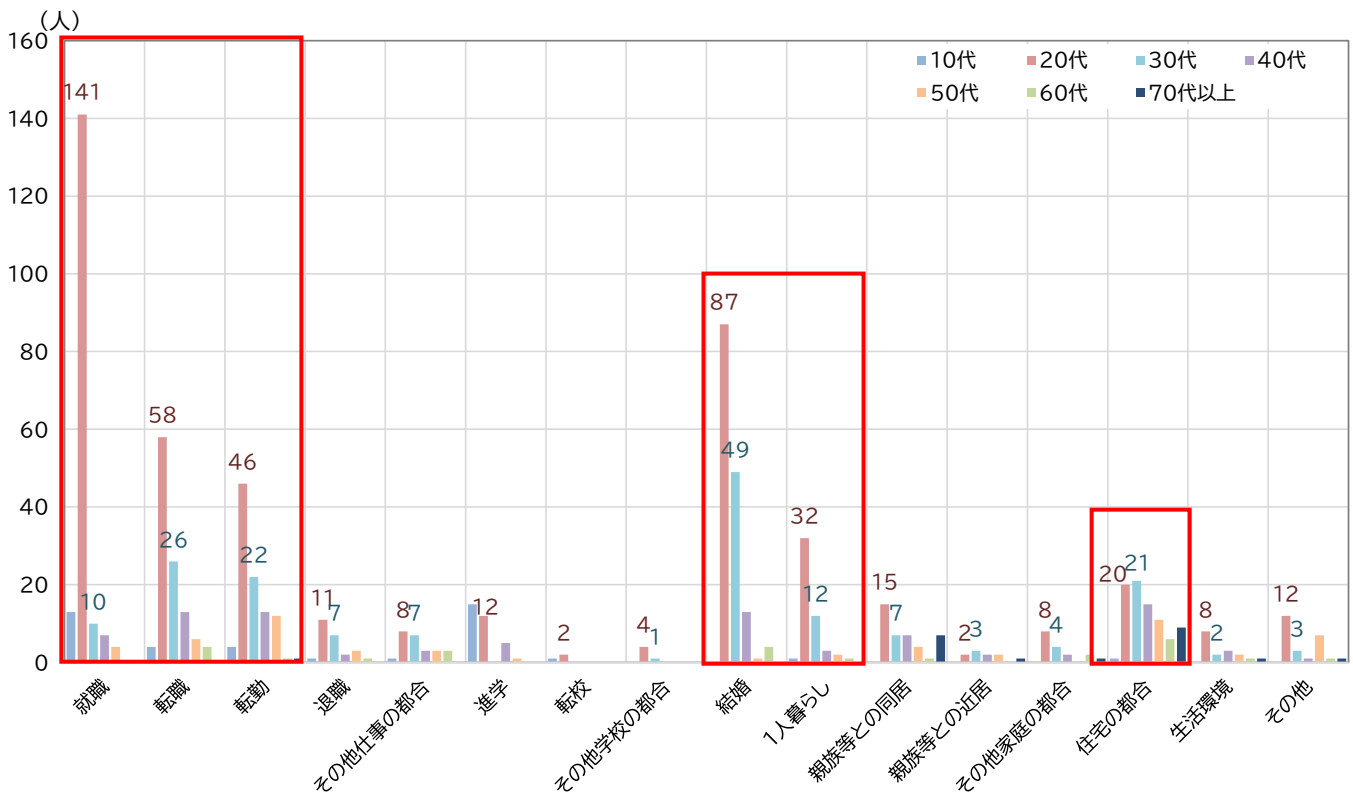


※【転入者向けのアンケート調査】
 ・集計期間: 令和2(2020)年
 ・集計数: 421 件(無回答者含む)

※分析に当たっては無回答者を除く

(資料: 犬山市「転入される皆さまへのアンケート調査」(R2) 結果)

図 1-10 年代別転出者の転出理由



※【転出者向けのアンケート調査】
 ・集計期間: 令和2(2020)年
 ・集計数: 578 件(無回答者含む)

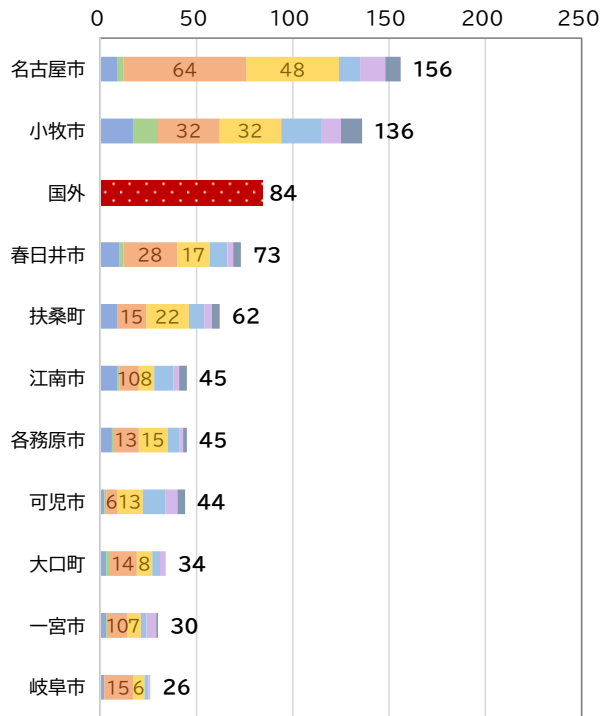
※分析に当たっては無回答者を除く

(資料: 犬山市「転出される皆さまへのアンケート調査」(R2) 結果)

図 1-11 転入元・転出先別年齢別人口(R2(2020))

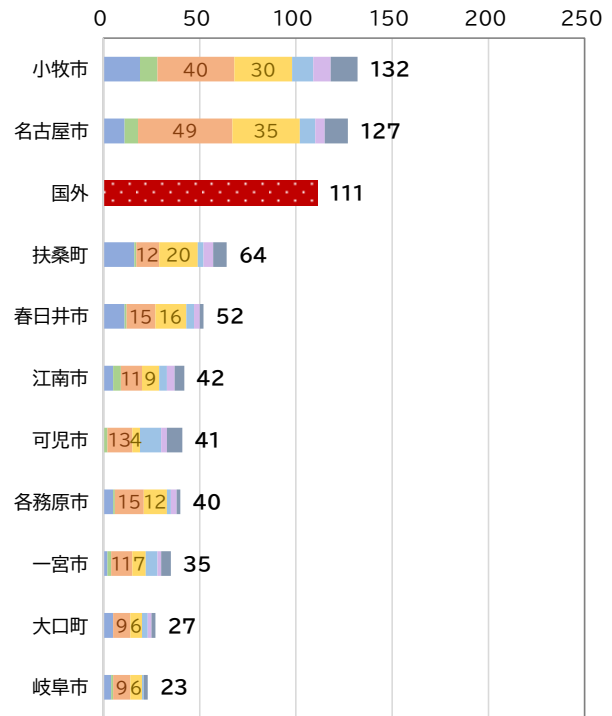
転入元 男

(人)



転入元 女

(人)

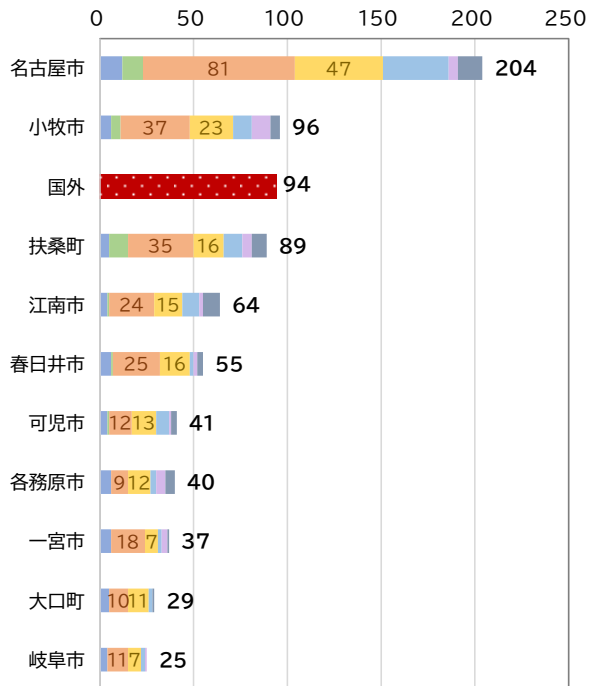


0~9歳 10~19歳 20~29歳 30~39歳
40~49歳 50~59歳 60歳以上

0~9歳 10~19歳 20~29歳 30~39歳
40~49歳 50~59歳 60歳以上

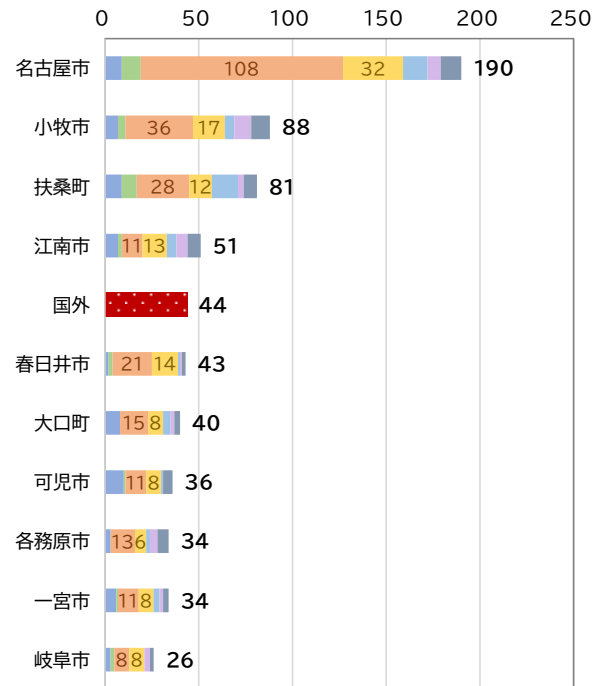
転出先 男

(人)



転出先 女

(人)

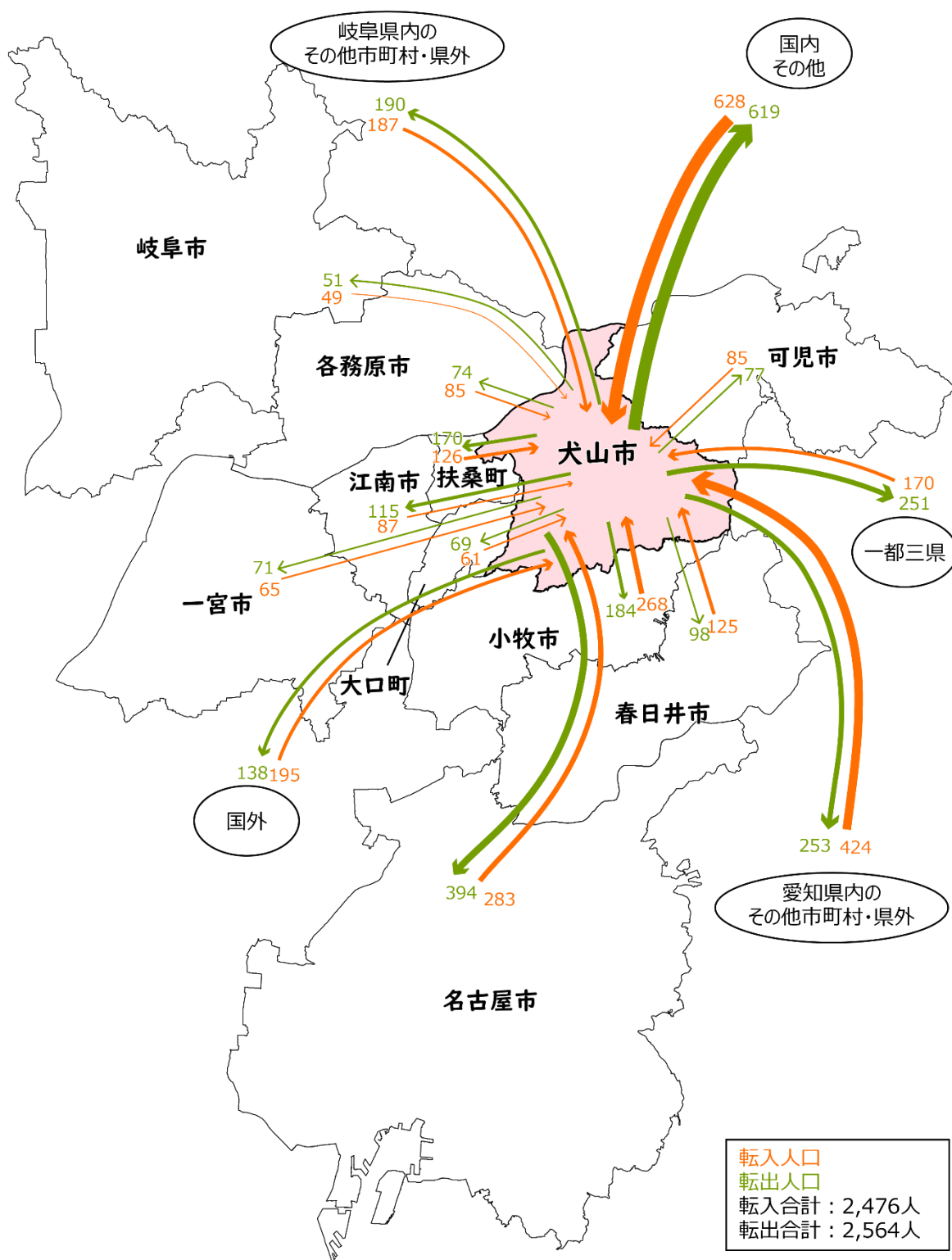


0~9歳 10~19歳 20~29歳 30~39歳
40~49歳 50~59歳 60歳以上

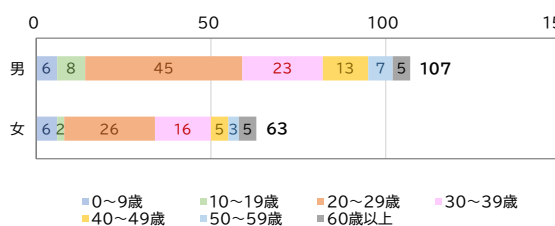
0~9歳 10~19歳 20~29歳 30~39歳
40~49歳 50~59歳 60歳以上

(資料:住民基本台帳人口移動報告、「国外」は愛知県人口動向調査)

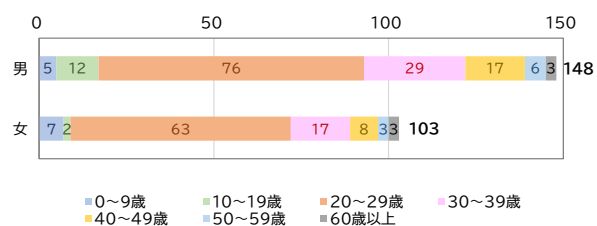
図 1-12 転入元・転出先の状況(R2(2020))



一都三県からの転入



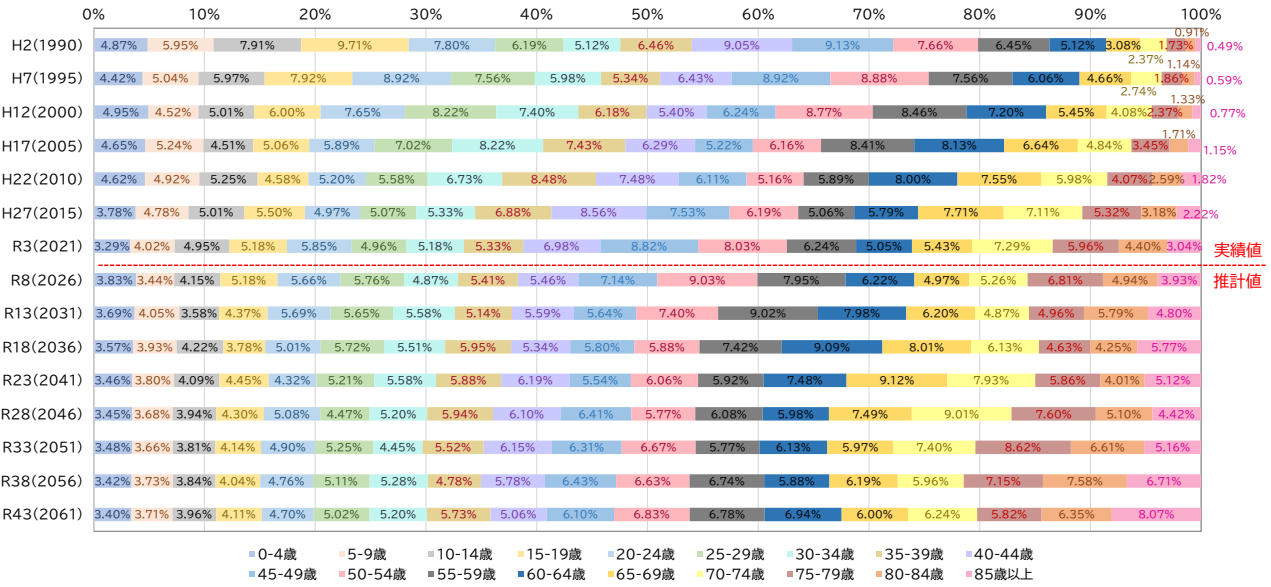
一都三県への転出



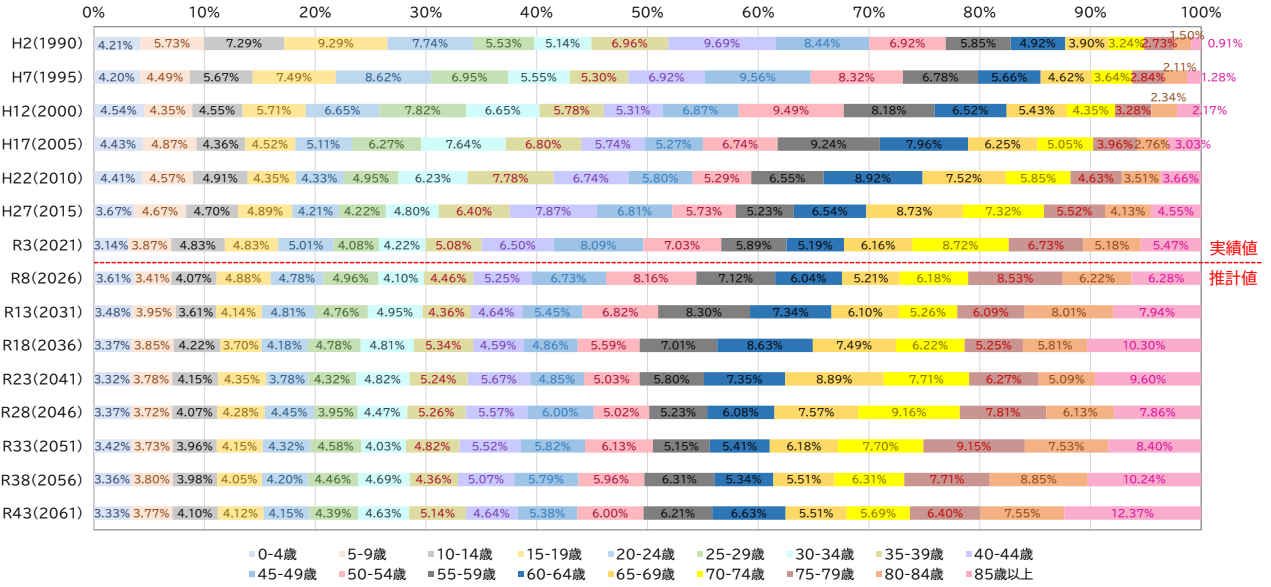
(資料:住民基本台帳人口移動報告、「国外」は愛知県人口動向調査)

図 1-13 5 歳階級別人口の割合の推移

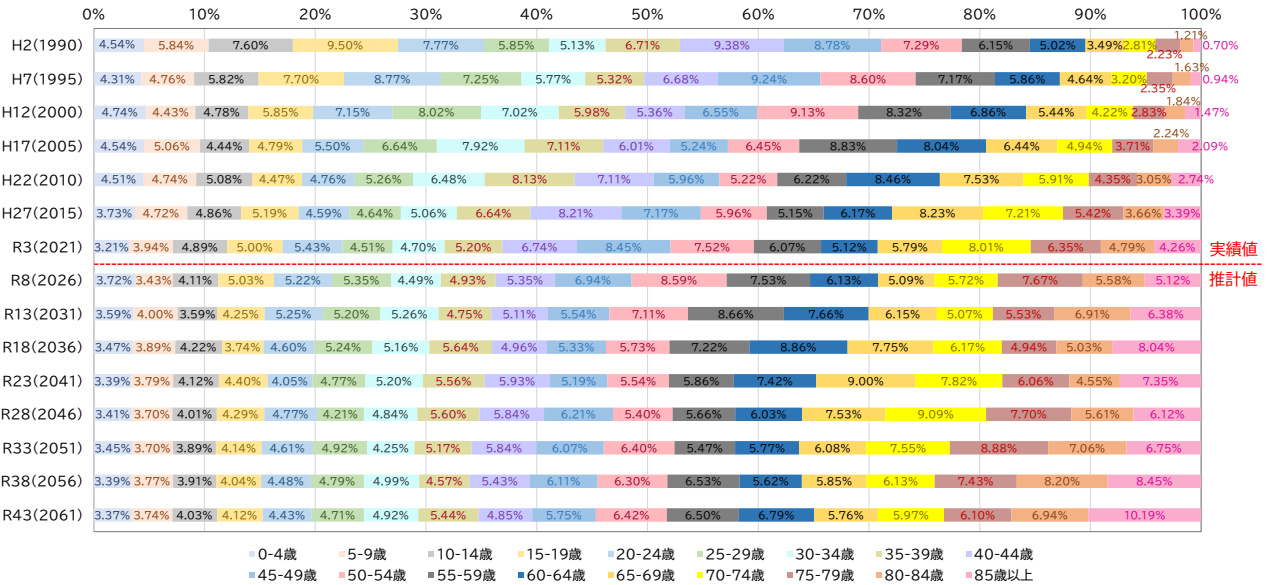
男



女

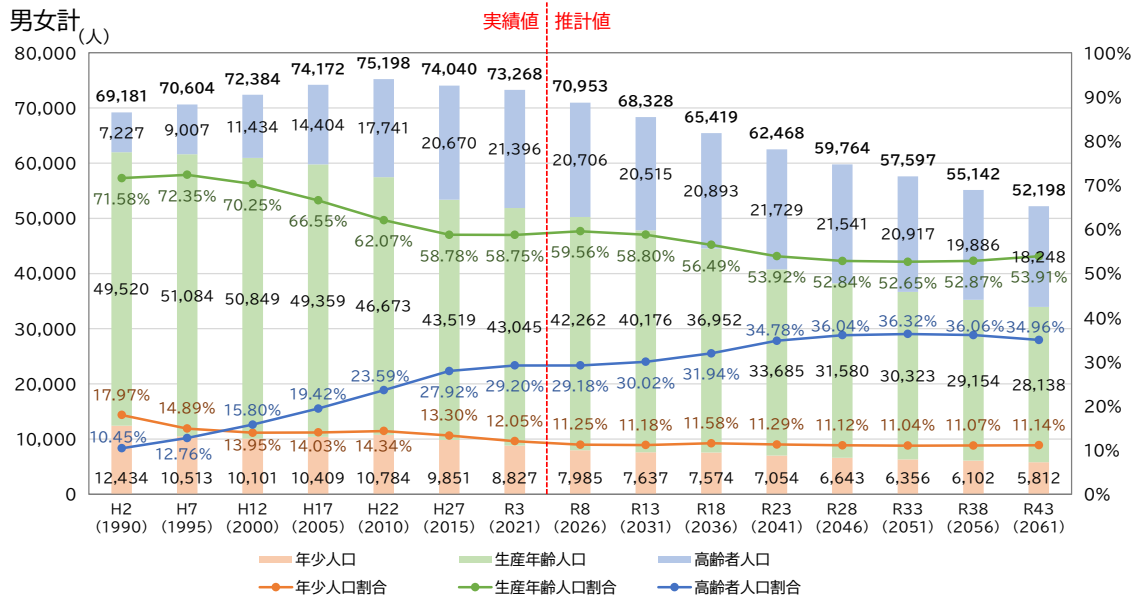
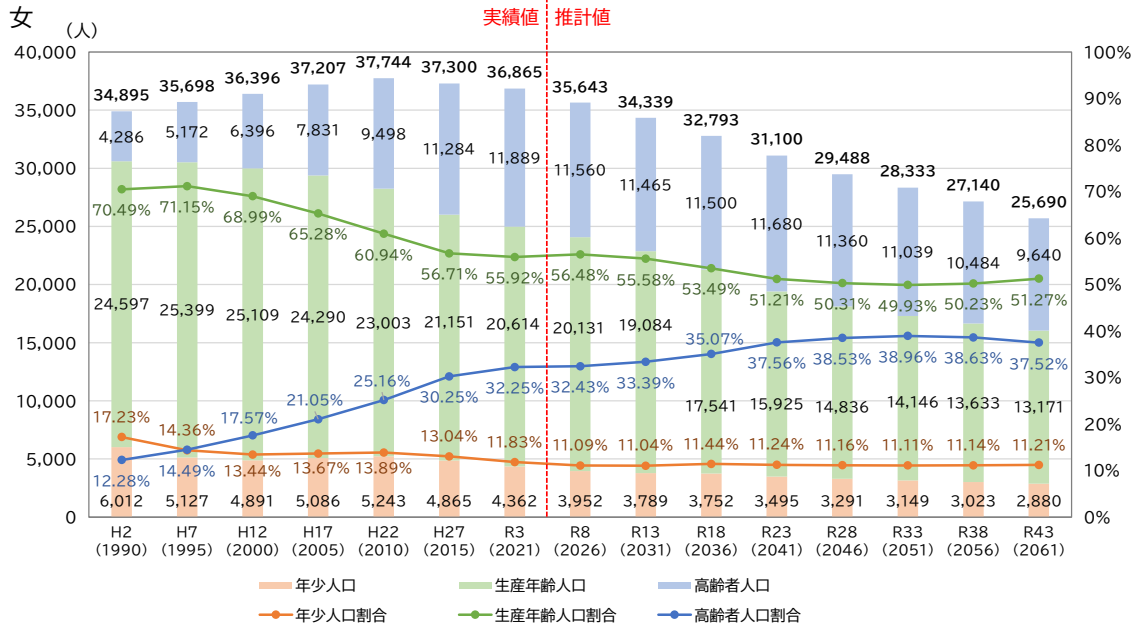
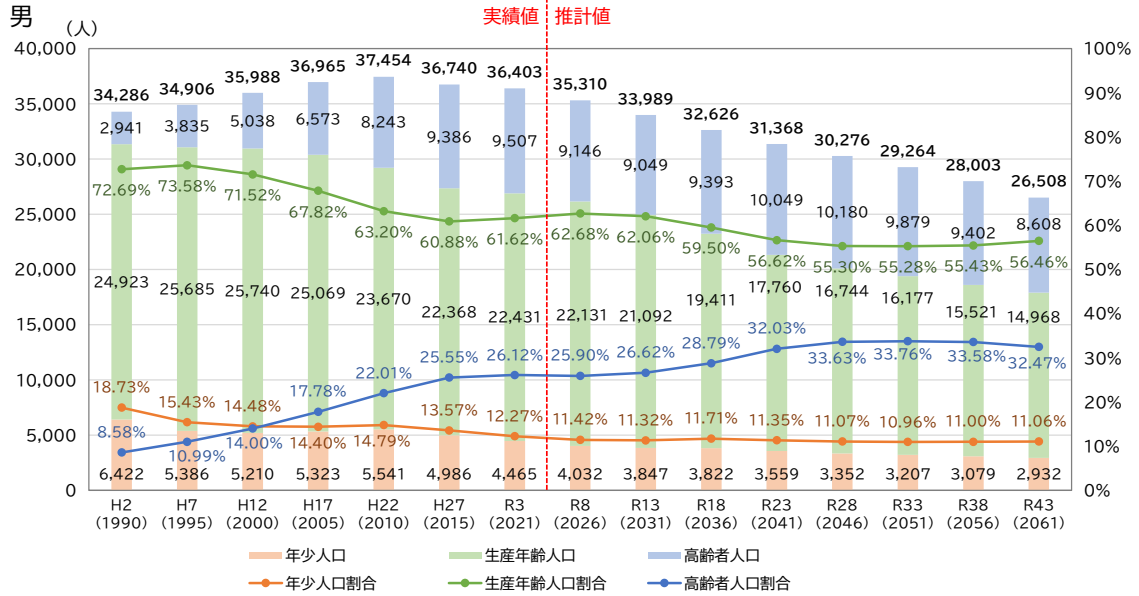


男女計



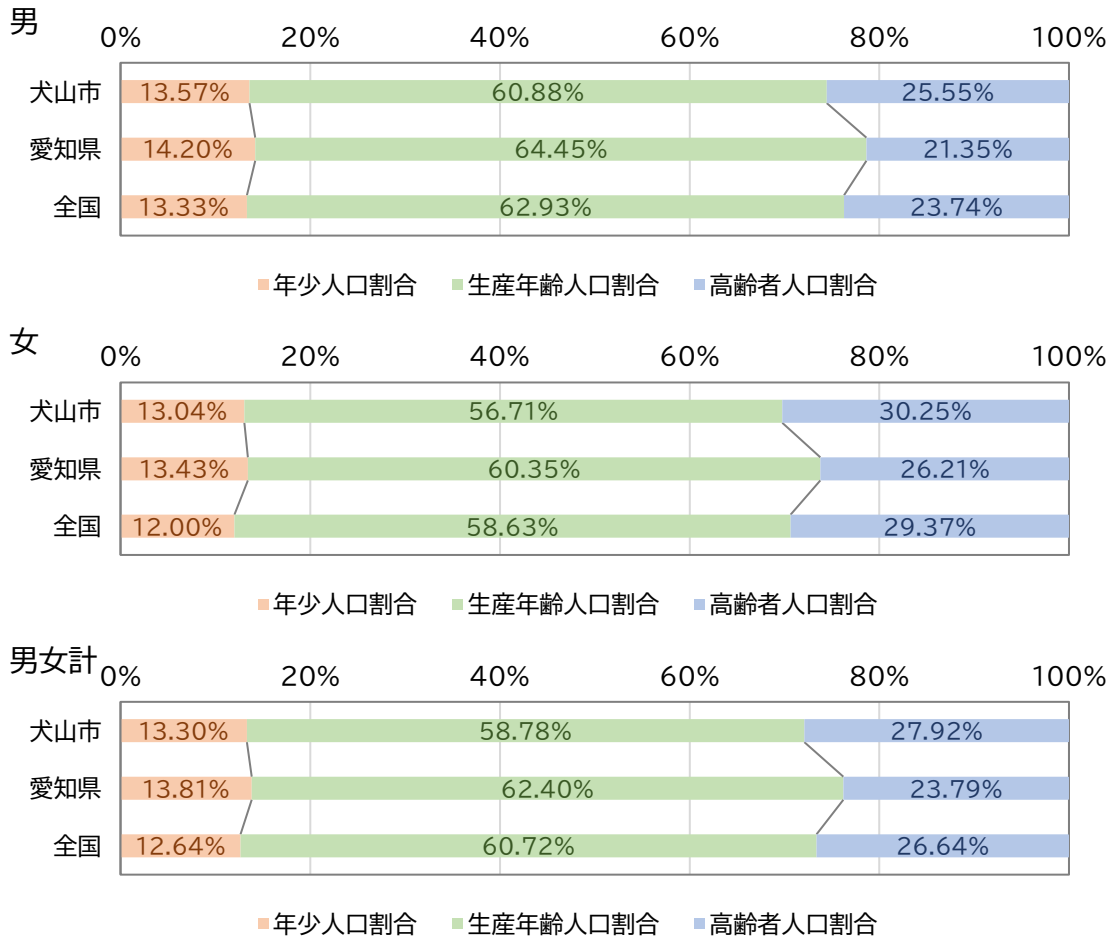
(資料:平成 27(2015)年までの実績値は国勢調査、令和3(2021)年の実績値は住民基本台帳)

図 1-14 年齢 3 区分別人口及びその割合の推移



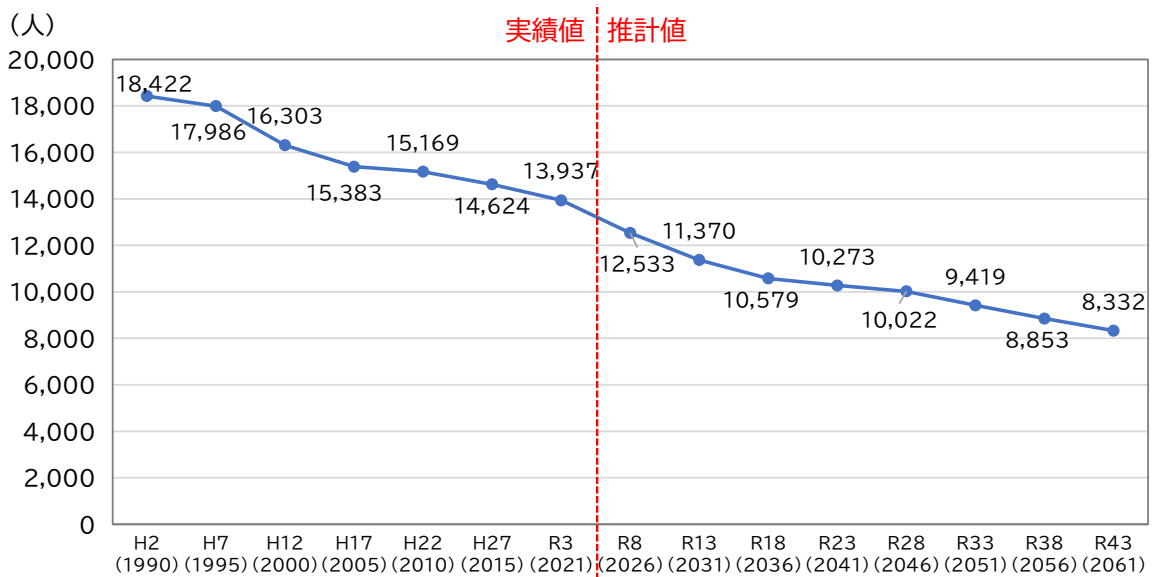
(資料:平成 27(2015)年までの実績値は国勢調査、令和3(2021)年の実績値は住民基本台帳)

図 1-15 年齢 3 区分別人口割合の比較 (H27(2015))



(資料: 国勢調査)

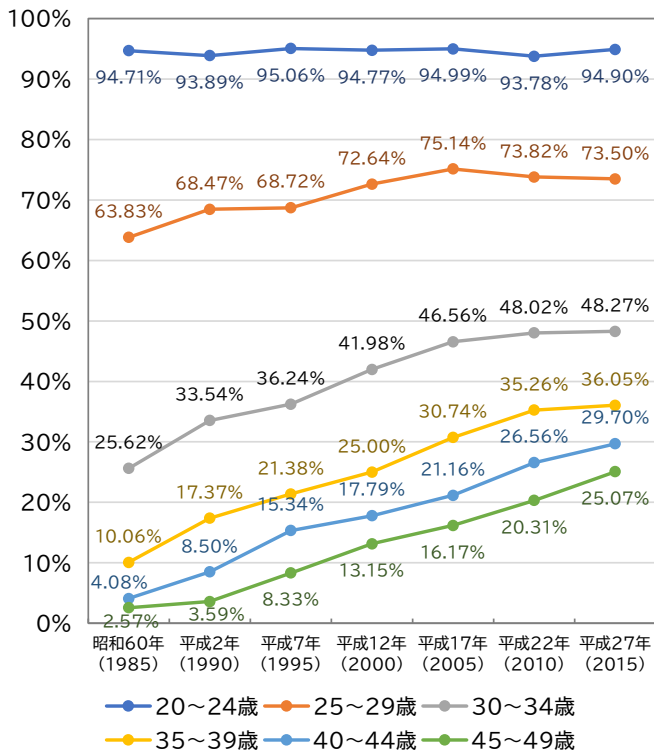
図 1-16 15~49 歳女性人口の推移



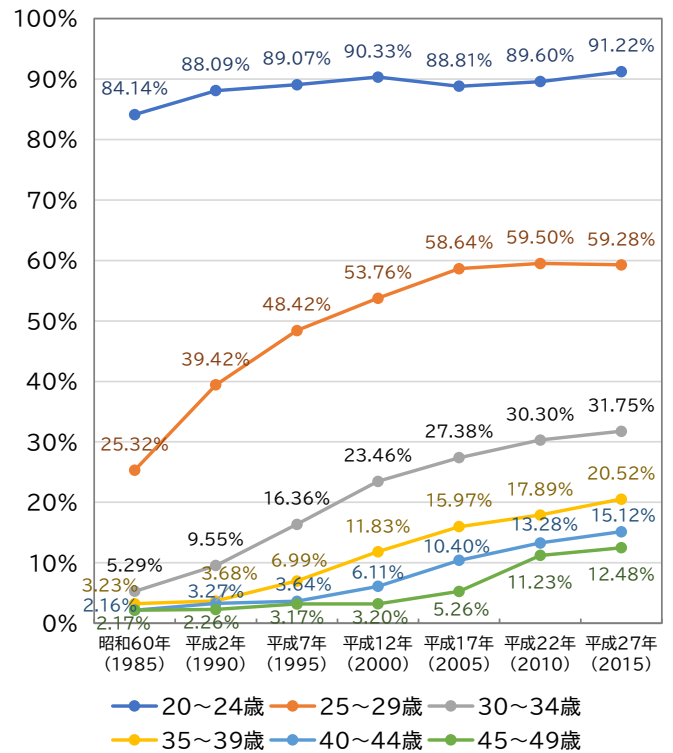
(資料: 平成 27(2015)年までの実績値は国勢調査、令和3(2021)年の実績値は住民基本台帳)

図 1-17 男女別・年齢 5 歳階級別未婚率の推移

男

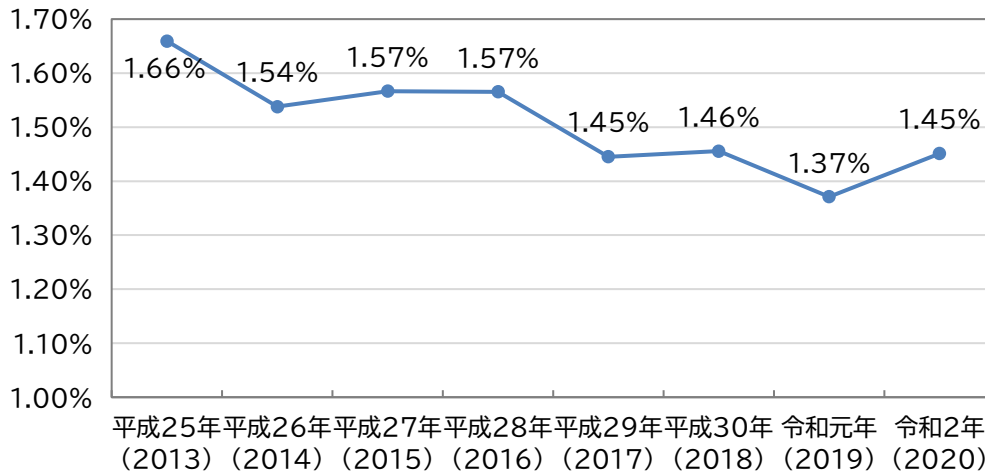


女



(資料: 国勢調査)

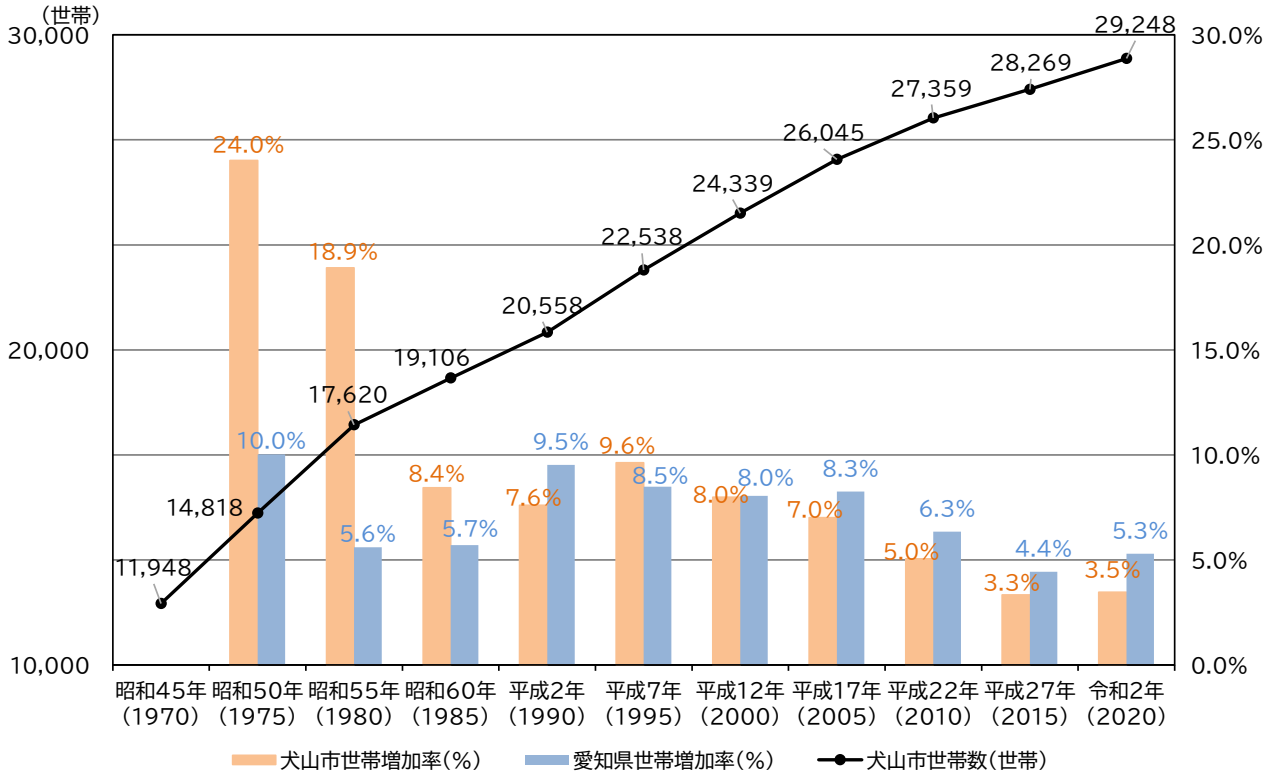
図 1-18 出生割合の推移



※出生割合: 15~49歳女性人口に占める出生数の割合。

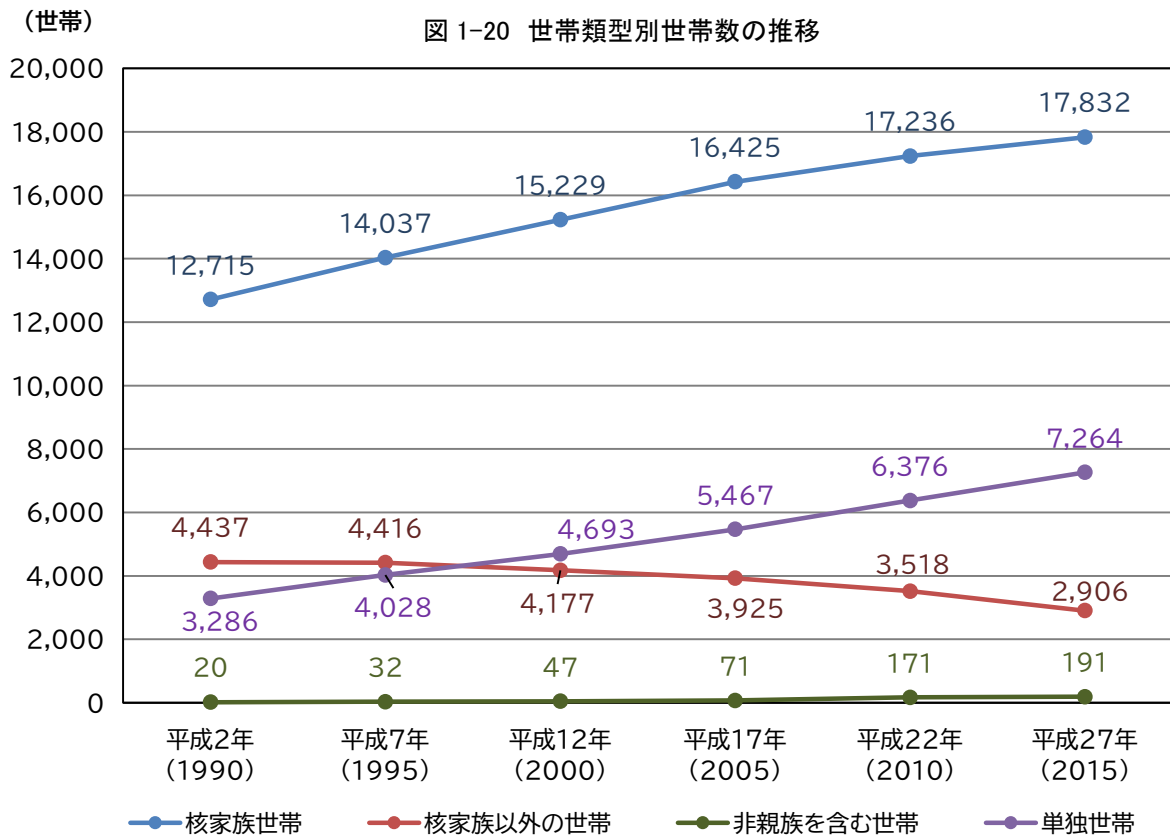
(資料: 住民基本台帳、犬山市「人口の動き」)

図 1-19 世帯数の推移



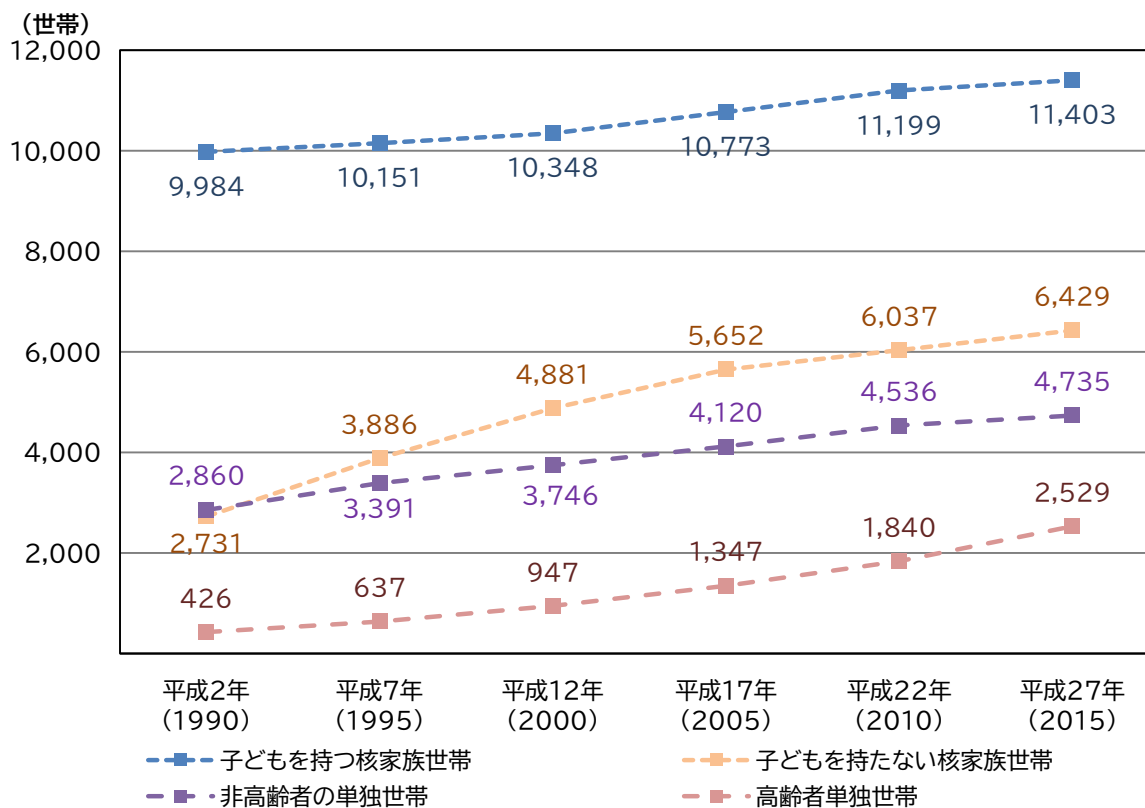
(資料:国勢調査)

図 1-20 世帯類型別世帯数の推移



(資料:国勢調査)

図 1-21 核家族世帯数と単独世帯数の内訳



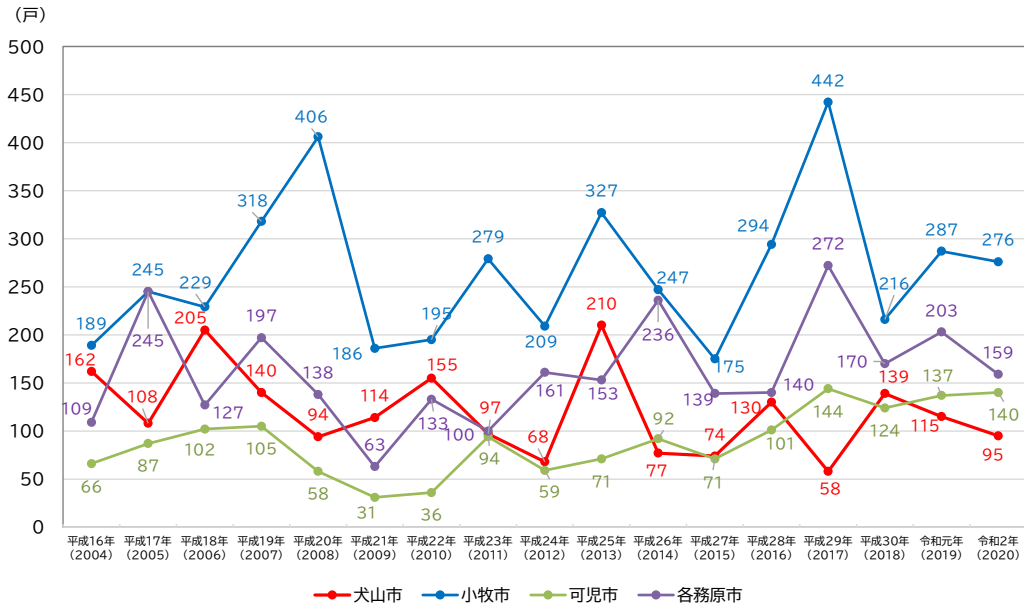
(資料:国勢調査)

(参考) 平成 22 (2010) ~27 (2015) 年高齢者のいる世帯数の変化内訳

	H22(2010)	H27(2015)	H22(2010)~H27(2015)
高齢者のいる世帯数 (A)	11,235	12,777	1,542
高齢者のみの世帯数 (B)	5,534	6,958	1,424
高齢者単身世帯数	1,840	2,529	689
高齢者夫婦世帯数	3,694	4,429	735
高齢者のみ以外の世帯数 (= A-B)	5,701	5,819	118

2. 犬山市の実態（住宅事情）

図 2-1 新設分譲住宅の着工件数の推移



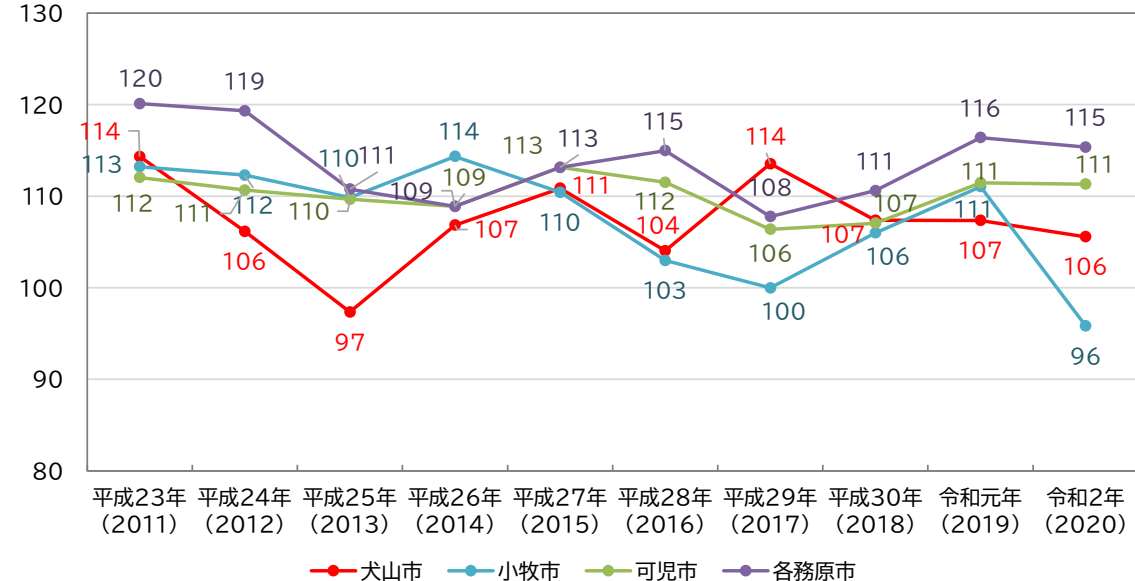
	平成17(2005)～21(2009)年	平成22(2010)～26(2014)年	平成27(2015)～令和元(2019)年
犬山市	661	607	516
小牧市	1,384	1,257	1,414
可児市	383	352	577
各務原市	770	783	924

※新設: 住宅の新築(旧敷地以外の敷地への移転を含む。)、増築または改築によって住宅の戸が新たに作られる工事をいう。

分譲住宅: 建て売り又は分譲の目的で建築するもの。

(資料: 建築着工統計調査)

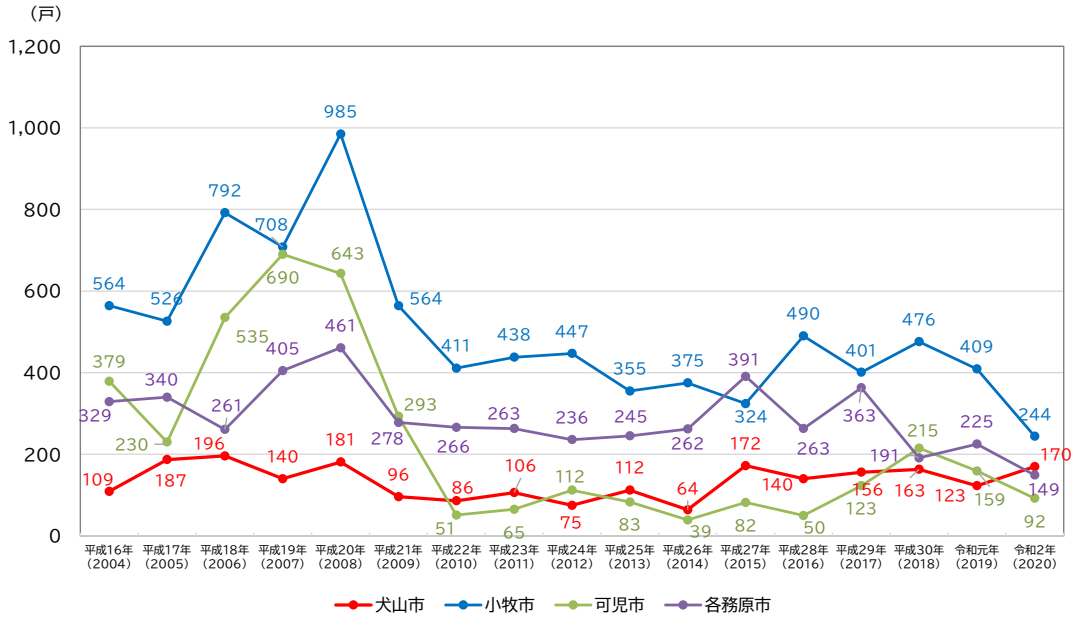
図 2-2 新設分譲住宅の一戸当たり面積の推移



※新設住宅の面積は平成 23(2011)年分以降のみを公表。

(資料: 建築着工統計調査)

図 2-3 新設貸家の着工件数の推移



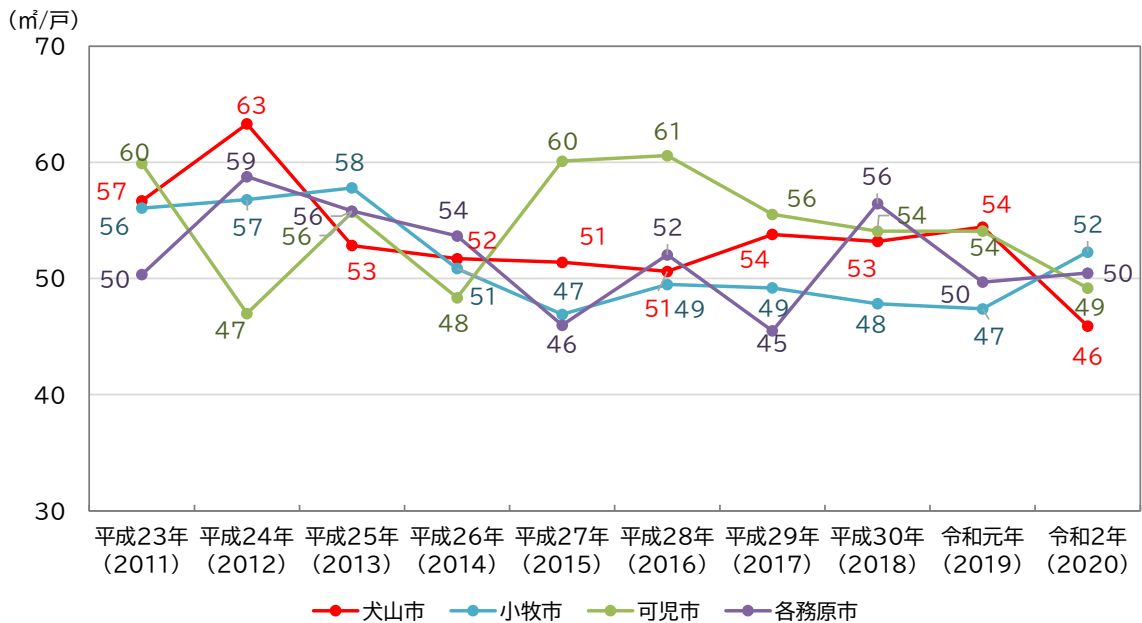
	平成17(2005)～21(2009)年	平成22(2010)～26(2014)年	平成27(2015)～令和元(2019)年
犬山市	800	443	754
小牧市	3,575	2,026	2,100
可児市	2,391	350	629
各務原市	1,745	1,272	1,433

※新設:住宅の新築(旧敷地以外の敷地への移転を含む。)、増築または改築によって住宅の戸が新たに作られる工事をいう。

貸家:建築主が賃貸する目的で建築するもの。

(資料:建築着工統計調査)

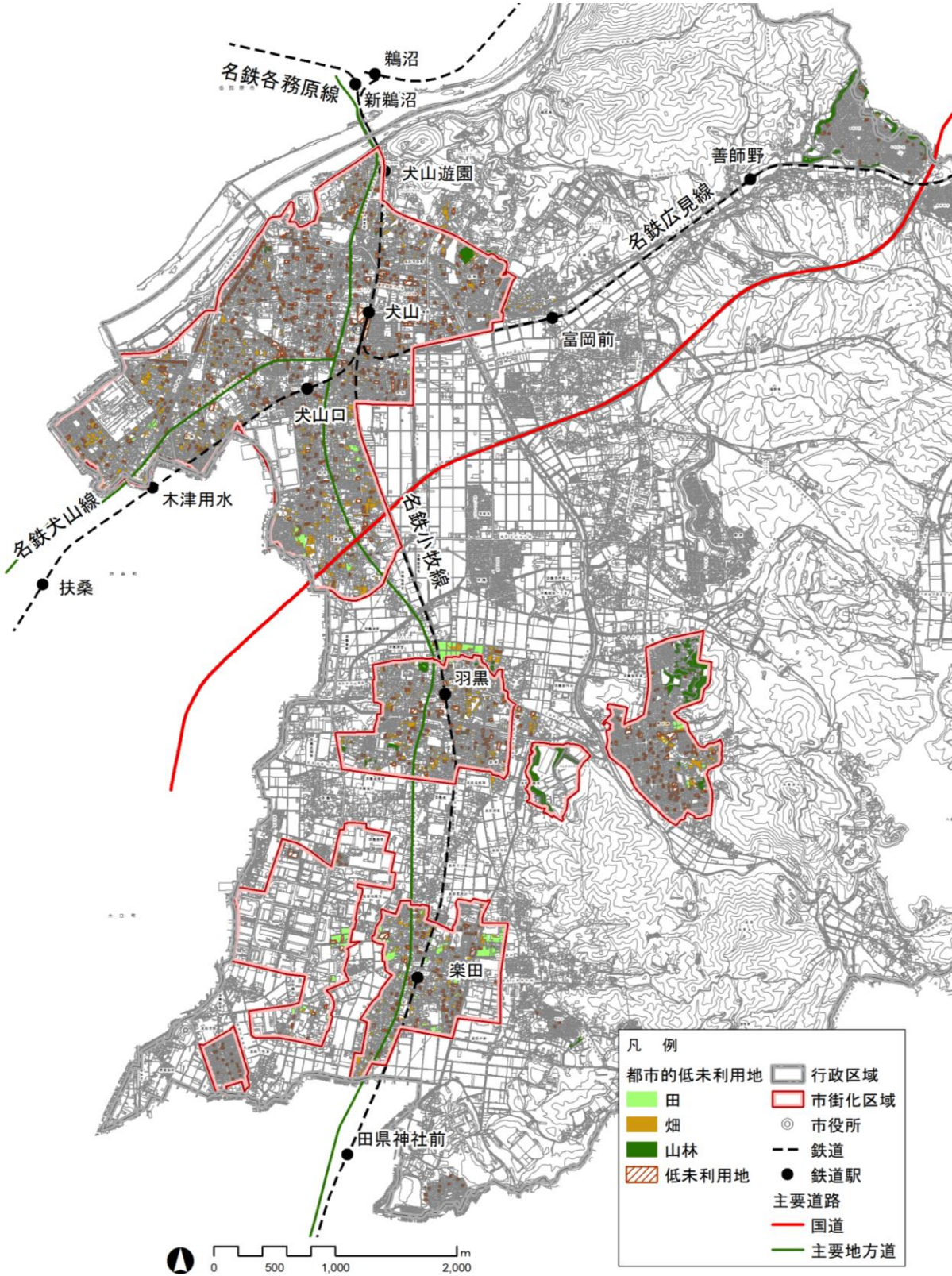
図 2-4 新設貸家の一戸当たり面積の推移



※新設住宅の面積は平成 23(2011)年分以降のみを公表。

(資料:建築着工統計調査)

図 2-5 都市的低未利用地の分布(平成 30(2018)年)



	田	畑	山林	低未利用地	合計 (都市的低未利用地)	市街化区域
面積 (ha)	12.80	43.22	20.41	40.63	117.06	1185.00
市街化区域に占める割合	1.08%	3.65%	1.72%	3.43%	9.88%	100%

(資料: 都市計画基礎調査、国土数値情報)

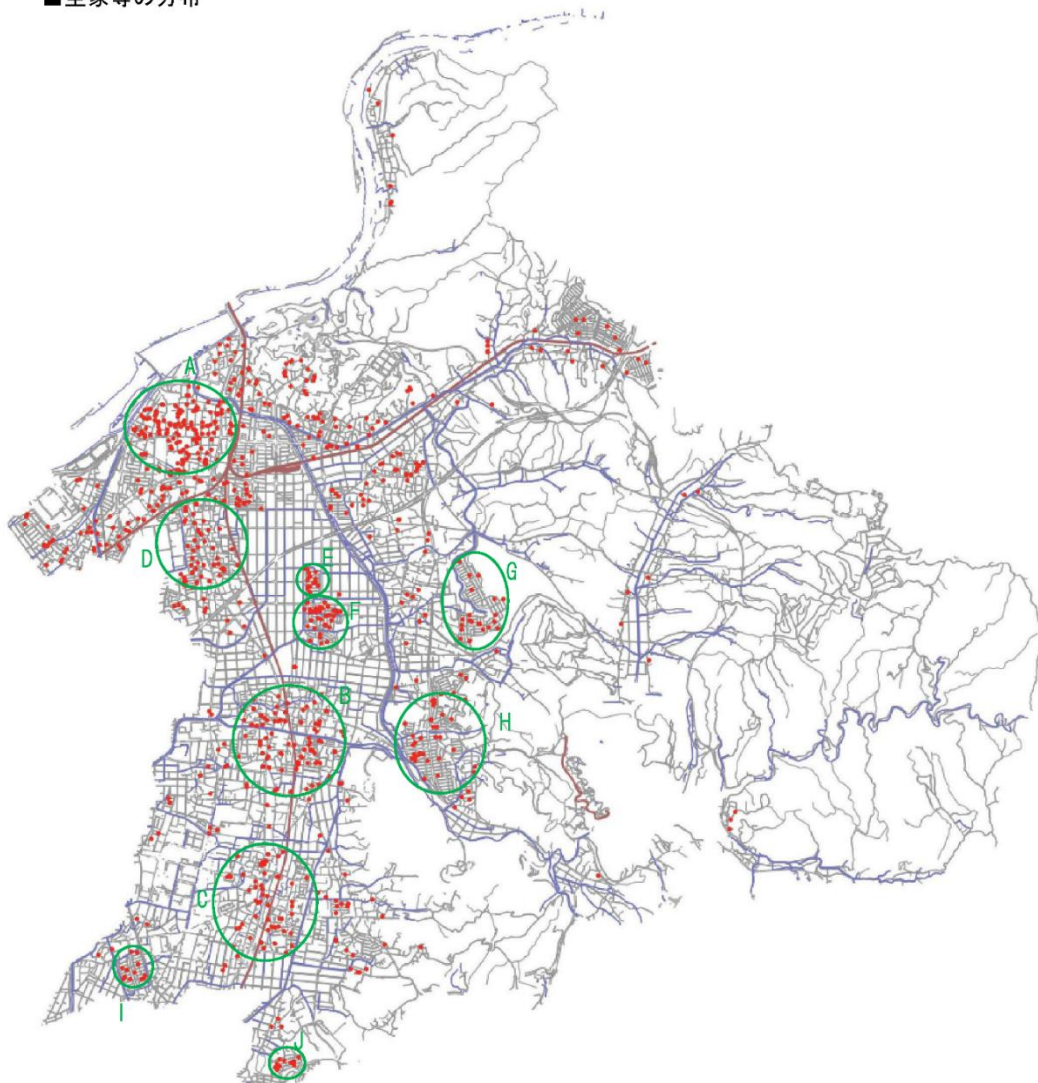
図 2-6 空家等の分布

既成市街地	犬山城下町〔西古券・東古券・南古券〕	123 件	A
	羽黒〔神明・古市場〕	16 件	B
	楽田〔郷西・西北野〕	27 件	C
郊外団地	橋爪〔名犬ハイツ・白帝団地・地産団地ほか〕	40 件	D
	犬山ニュータウン	17 件	E
	日の出団地	33 件	F
	前原台団地	21 件	G
	長者町〔長者町団地・緑ヶ丘団地ほか〕	38 件	H
	西桑田団地	11 件	I
	つつじが丘団地	11 件	J

計:166 件

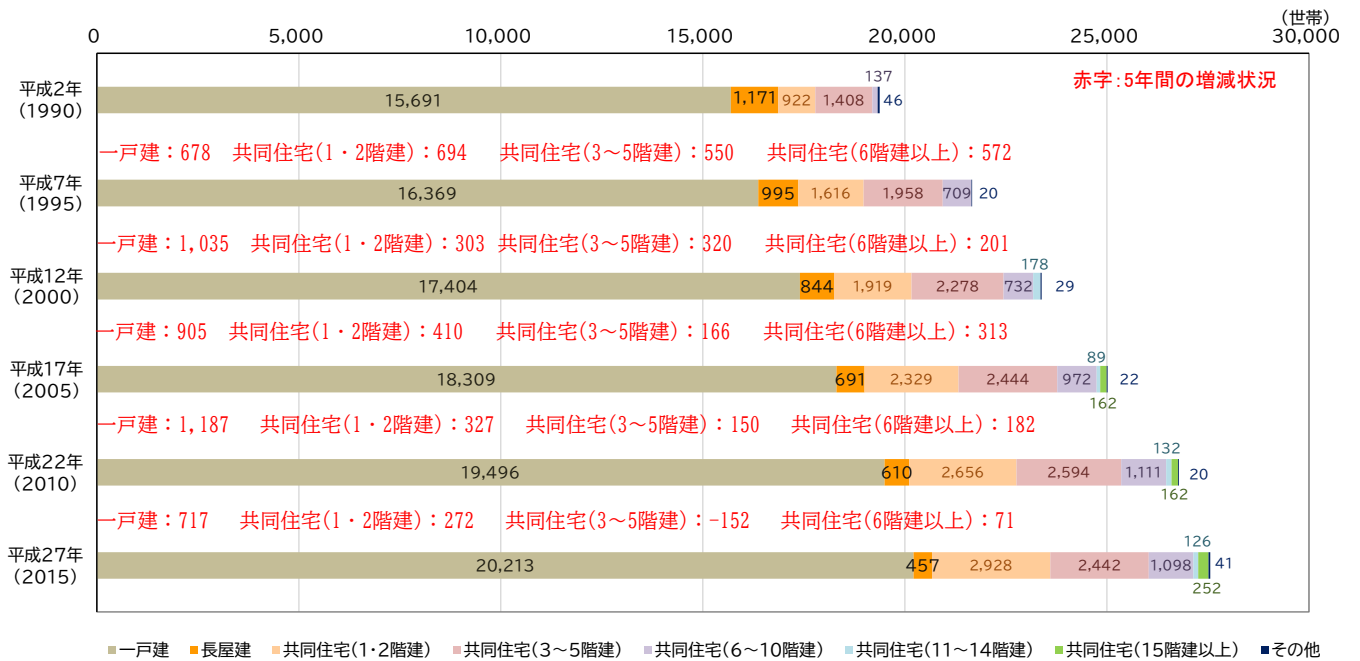
計:171 件

■空家等の分布



(資料:犬山市空家等対策計画(H28(2016)年3月))

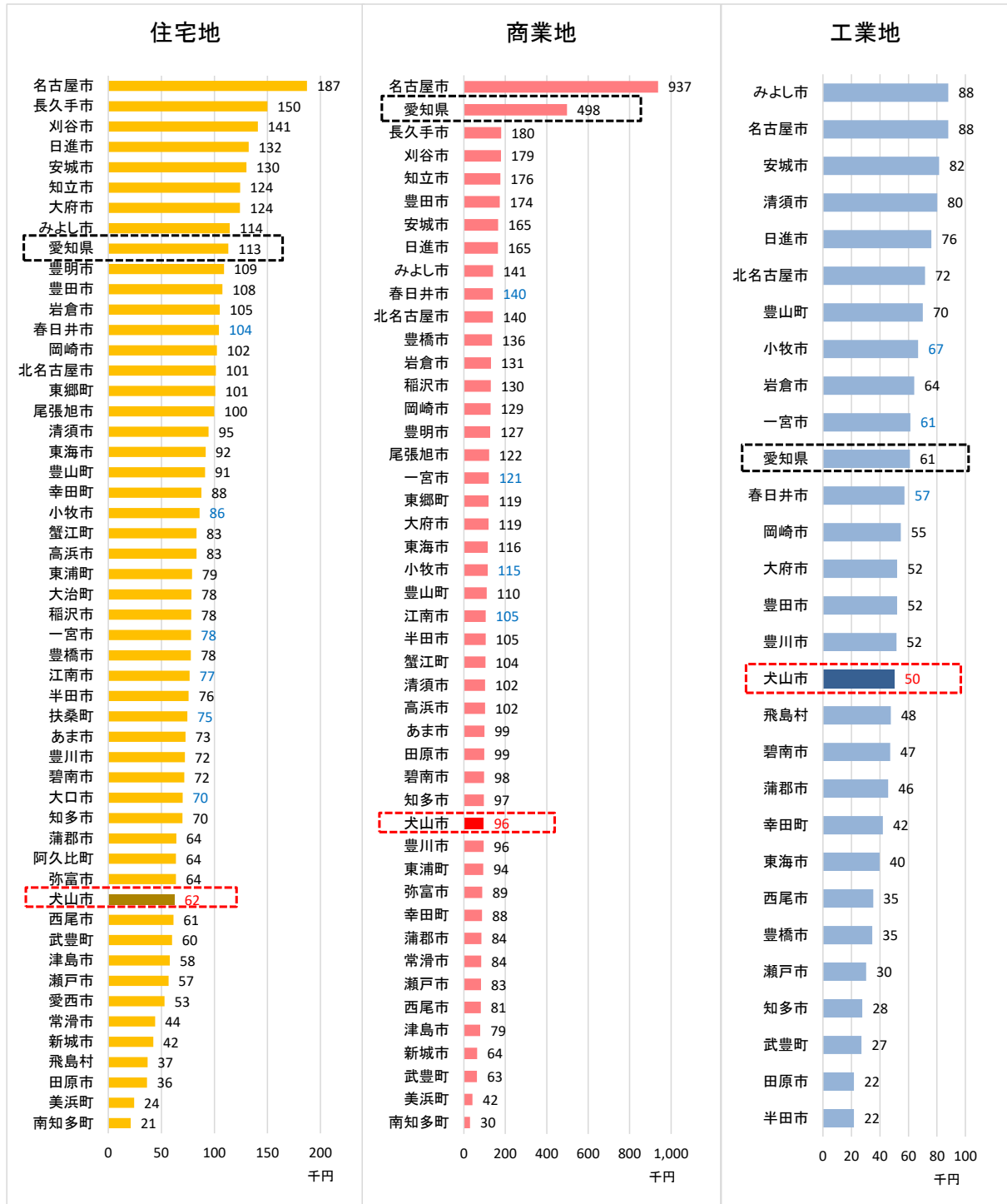
図 2-7 住宅の建て方別世帯数の推移



※平成2(1990)年及び平成7(1995)年は6階以上まで調査、平成17(2005)年は11階以上まで調査。

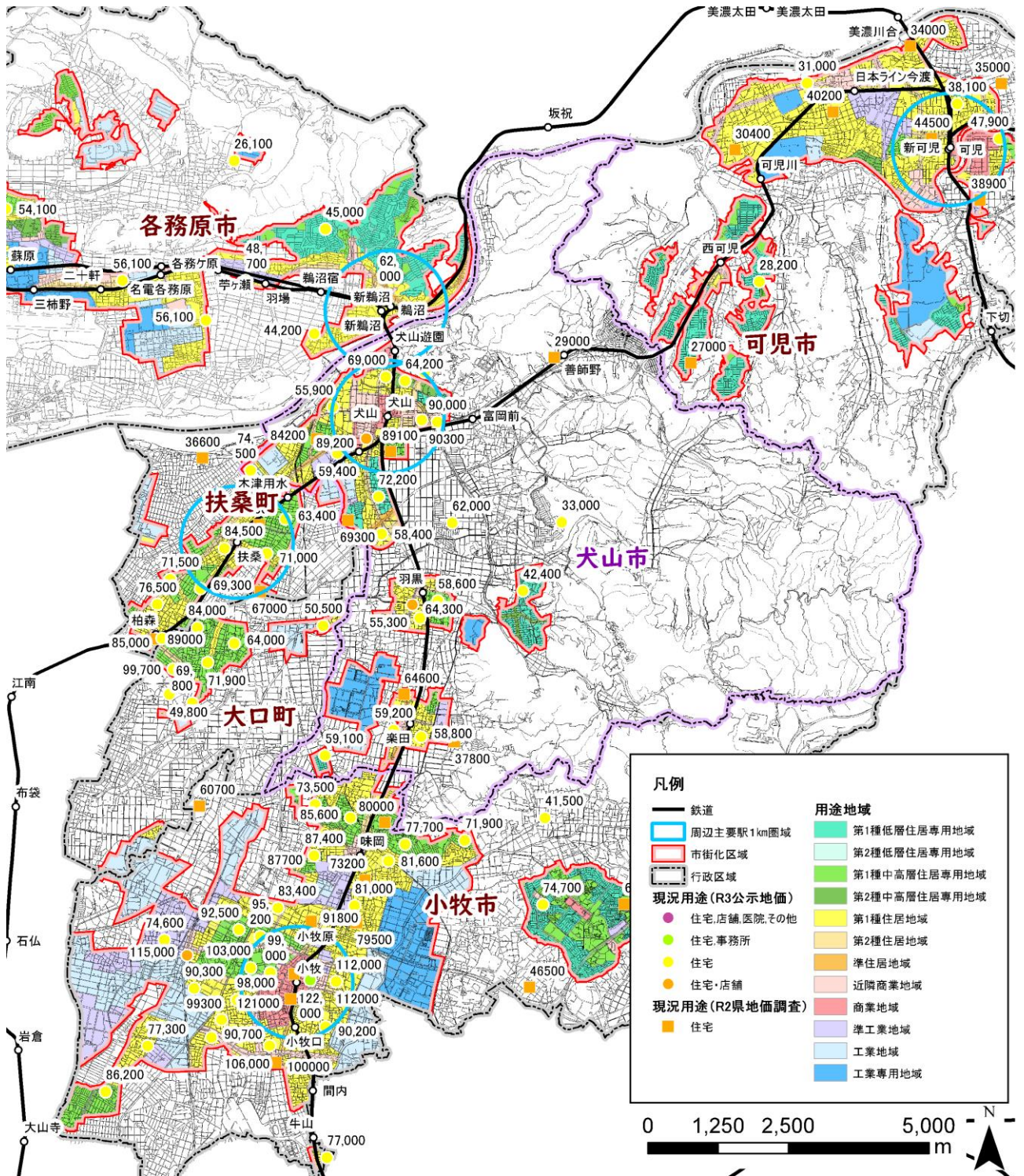
(資料: 国勢調査)

図 2-8 愛知県内都市の地価比較 (R3(2021))



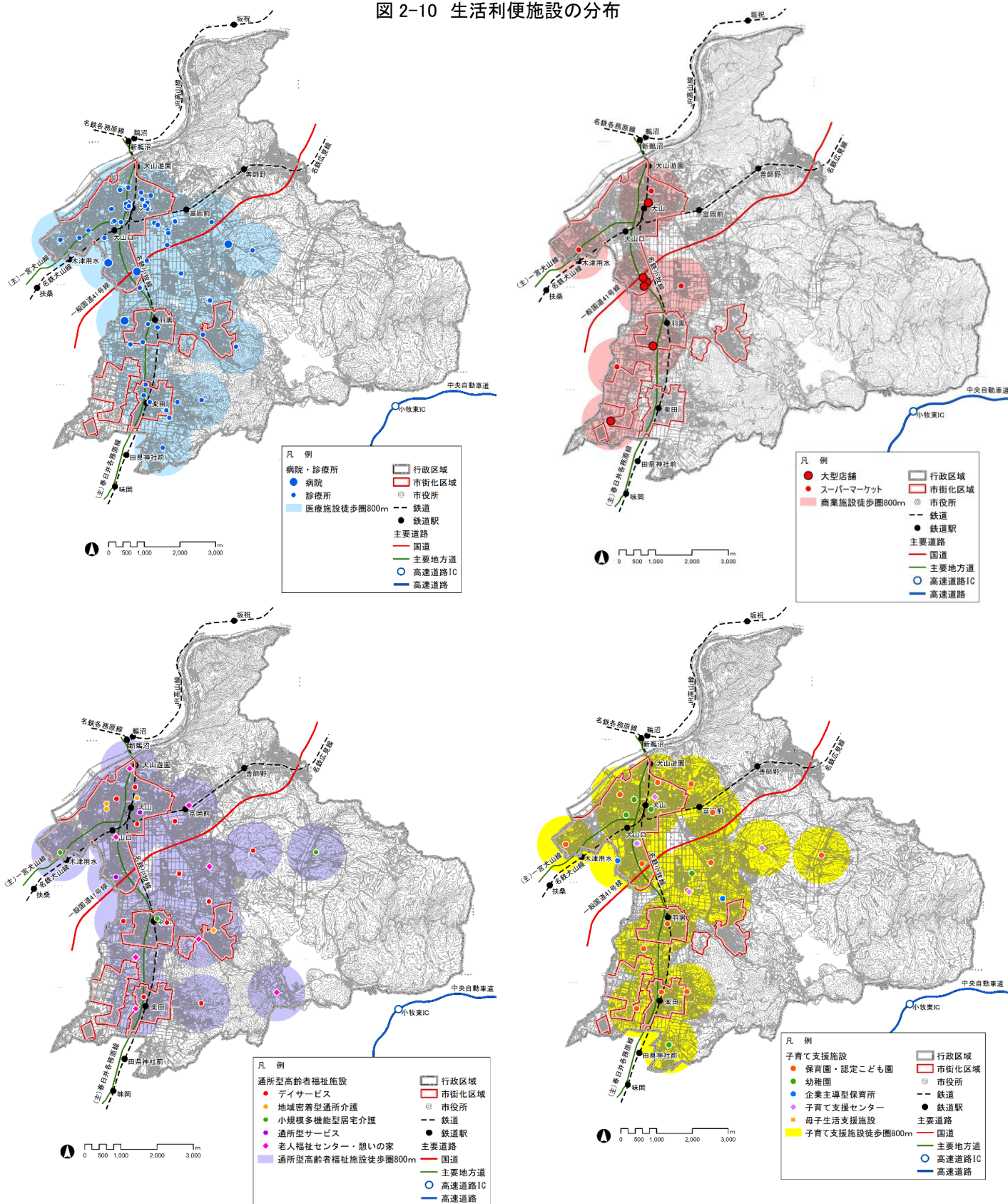
(資料: 地価公示)

図 2-9 犬山市と周辺都市の地価比較



(資料:地価公示(R3(2021))、地価調査(R2(2020)))

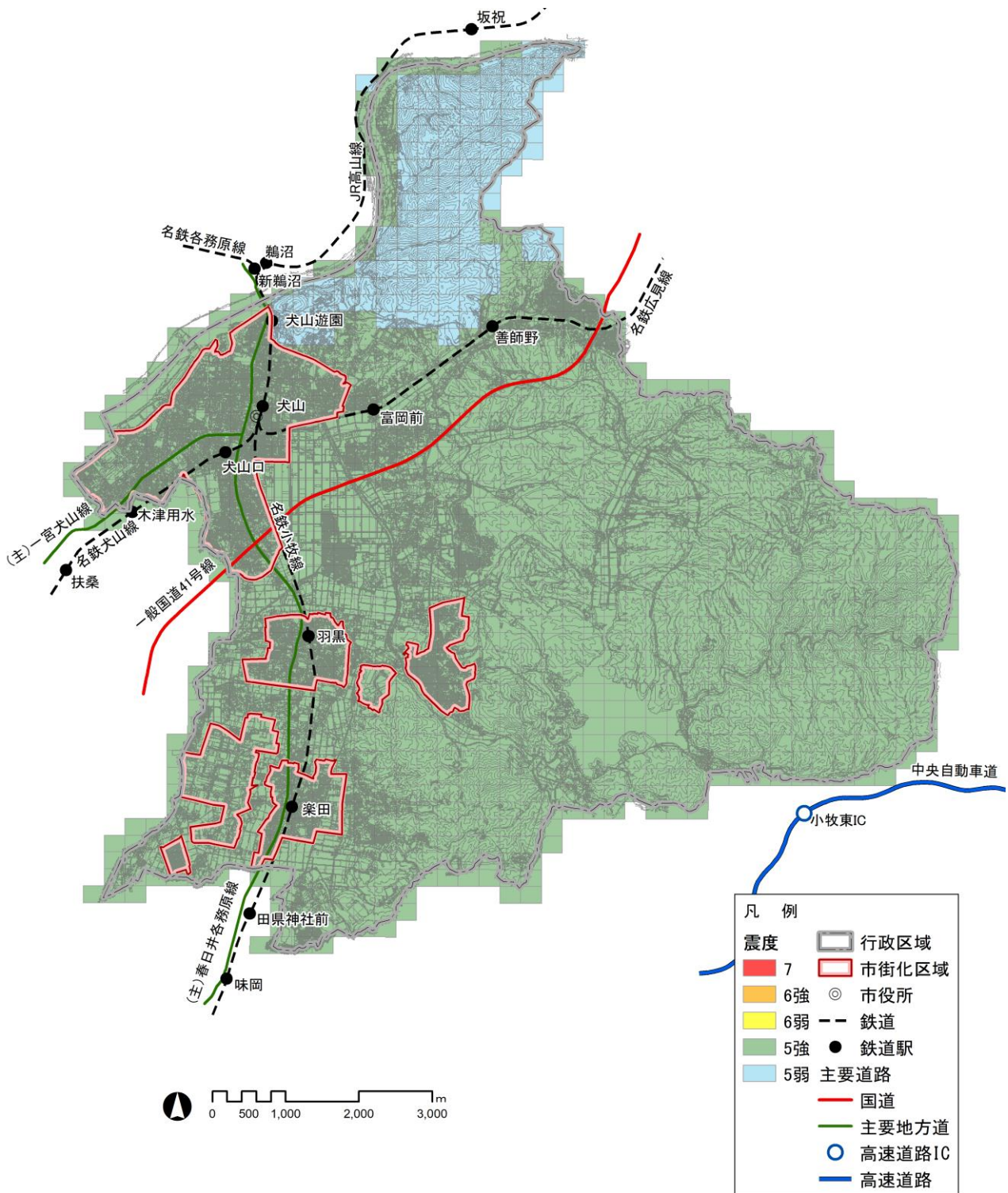
図 2-10 生活利便施設の分布



(資料: 犬山市資料、国土数値情報、愛知県医療機関名簿(R2(2020)年度)、全国大型小売店総覧(R4(2022)年版)、大規模小売店舗立地法届出一覧(愛知県 HP)i タウン)

図 2-11 南海トラフ地震ハザードマップ(震度)

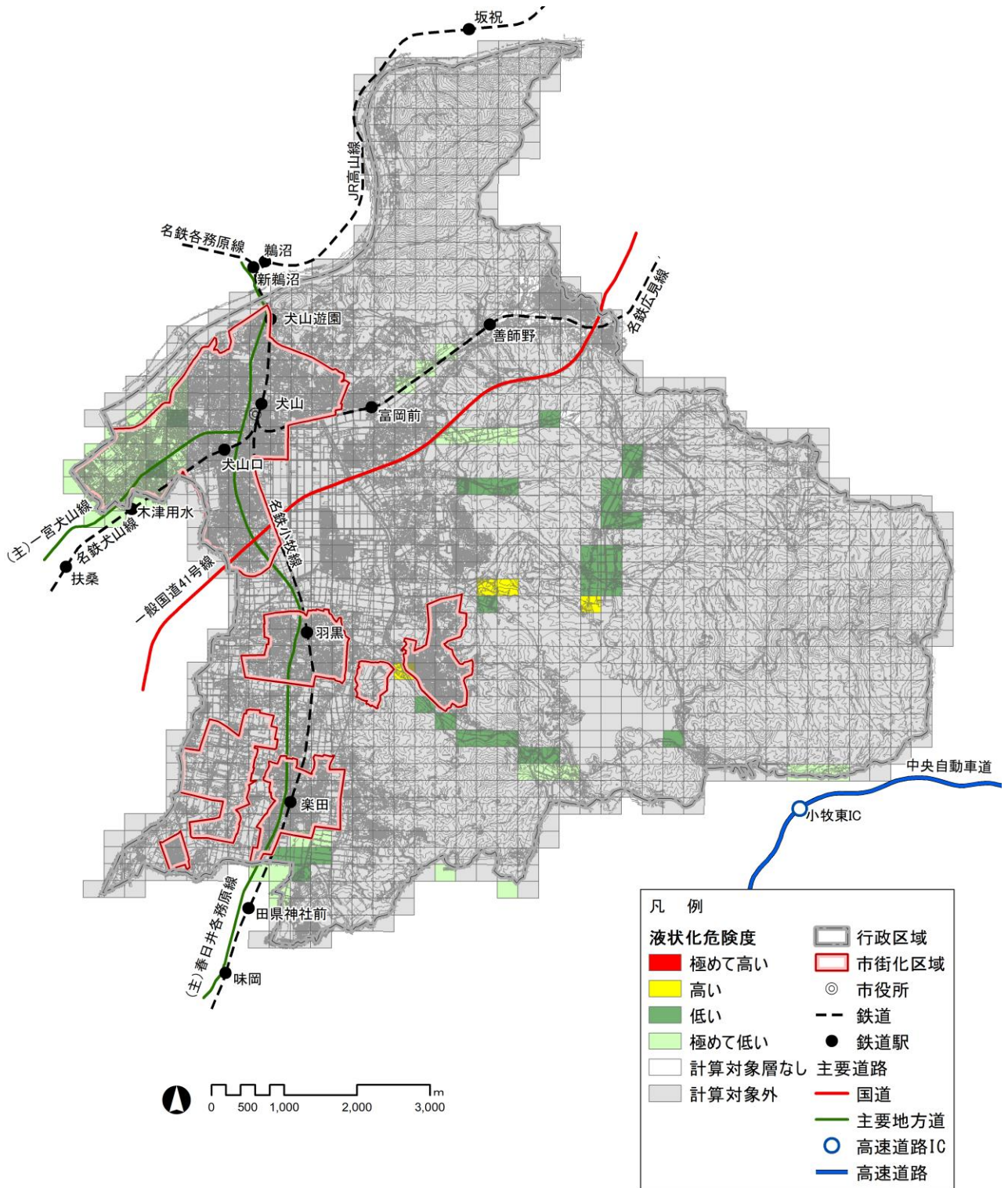
※過去地震最大モデル



(資料: 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査(H23・25(2011・2013)実施))

図 2-12 南海トラフ地震ハザードマップ(液状化)

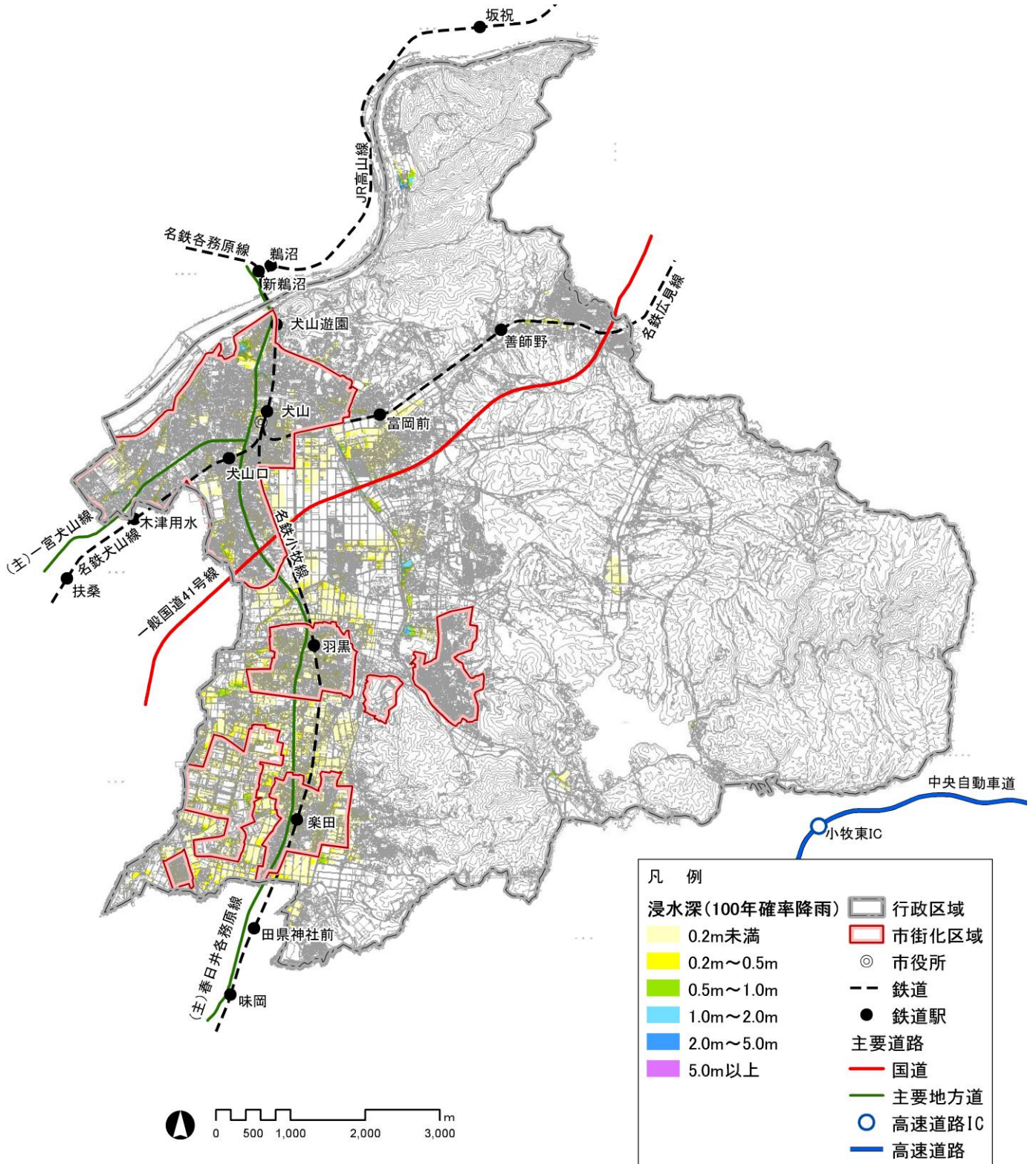
※過去地震最大モデル



(資料:愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査(H23・25(2011・2013)実施))

図 2-13 内水ハザードマップ(雨水による被害)

※100年に一度降雨の場合

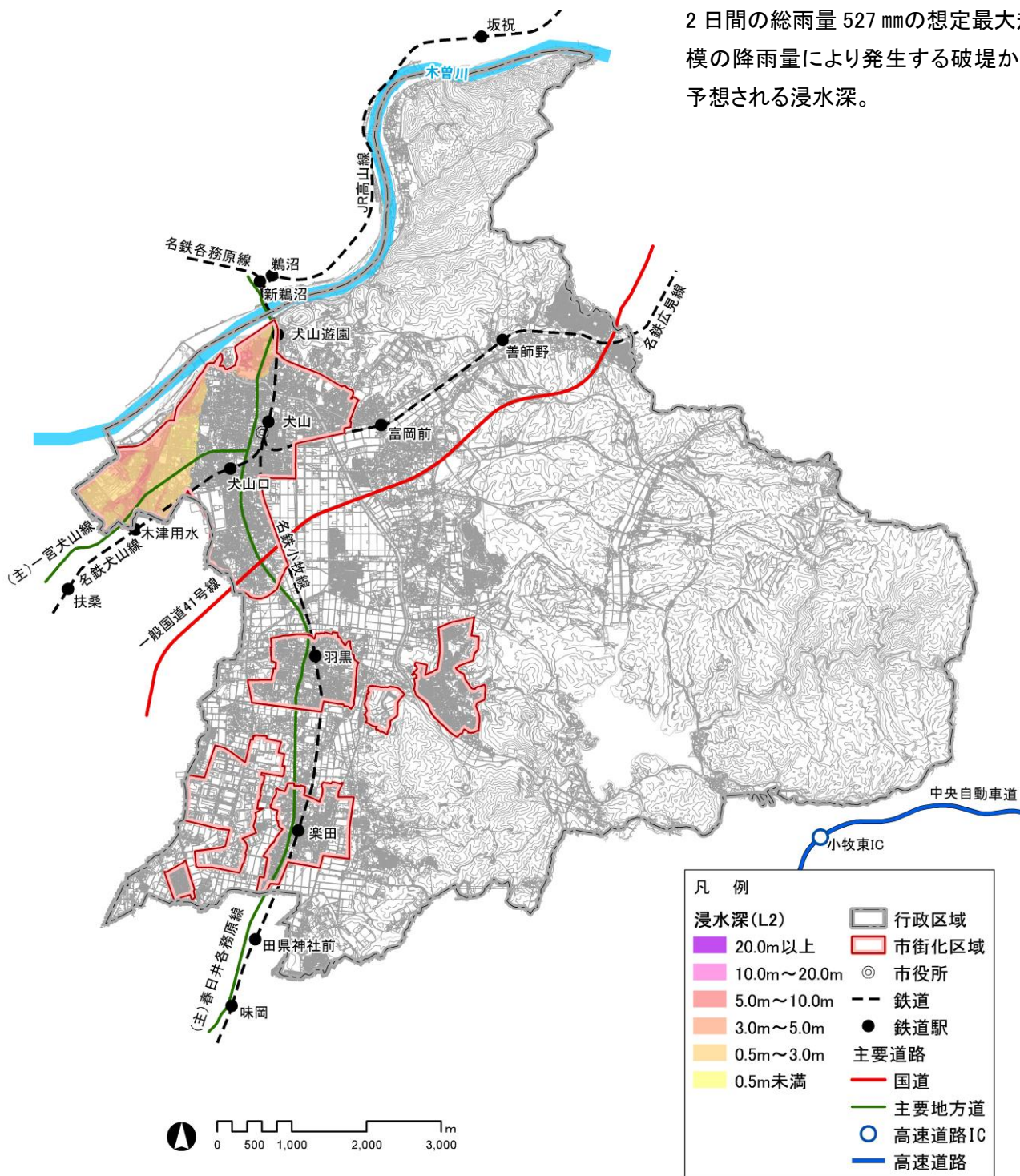


(資料: 犬山市資料)

図 2-14 外水ハザードマップ(木曾川浸水)

※想定最大規模:

2日間の総雨量 527 mmの想定最大規模の降雨量により発生する破堤から予想される浸水深。

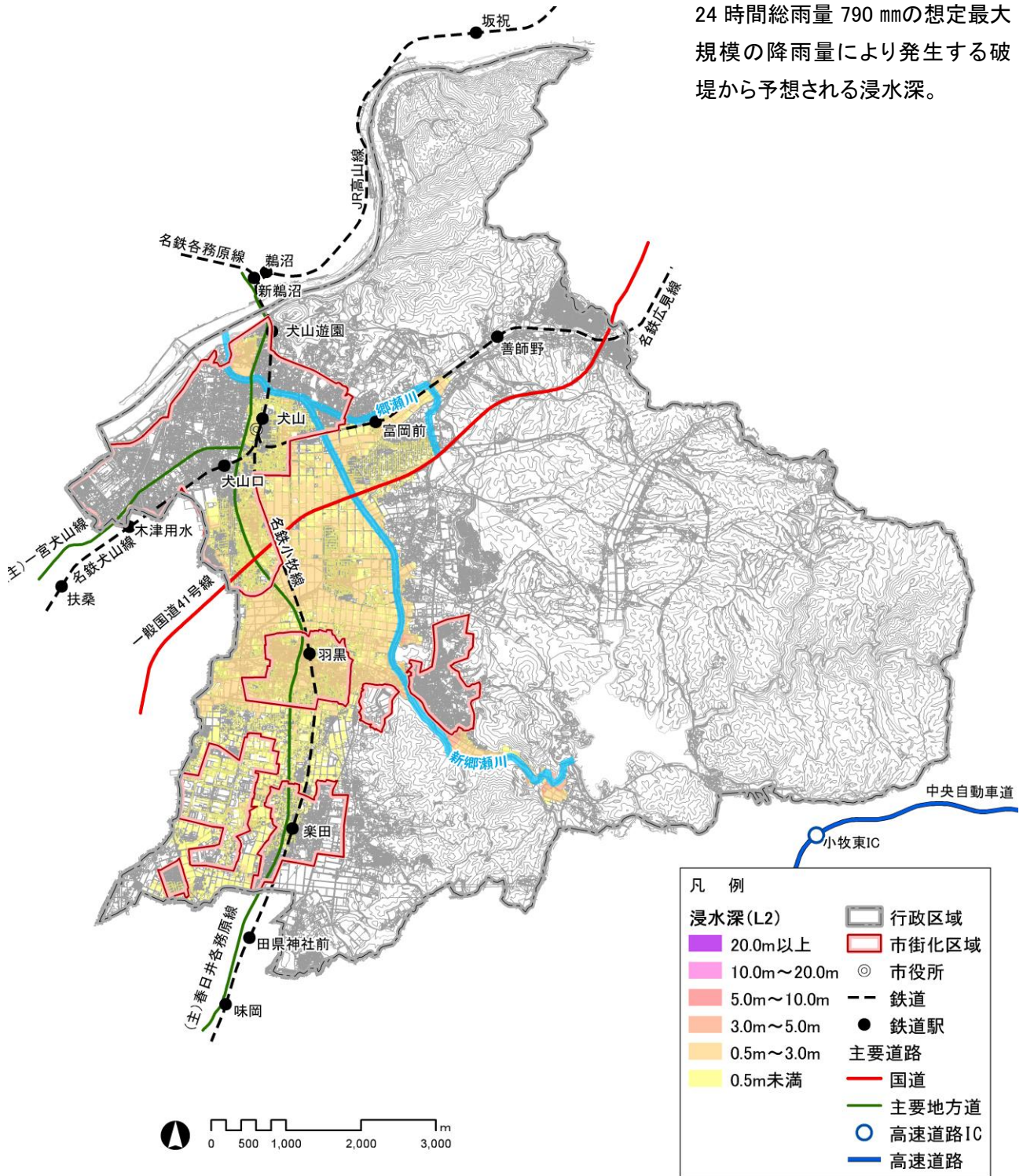


(資料:木曾川上流河川事務所)

図 2-15 外水ハザードマップ(郷瀬川・新郷瀬川浸水)

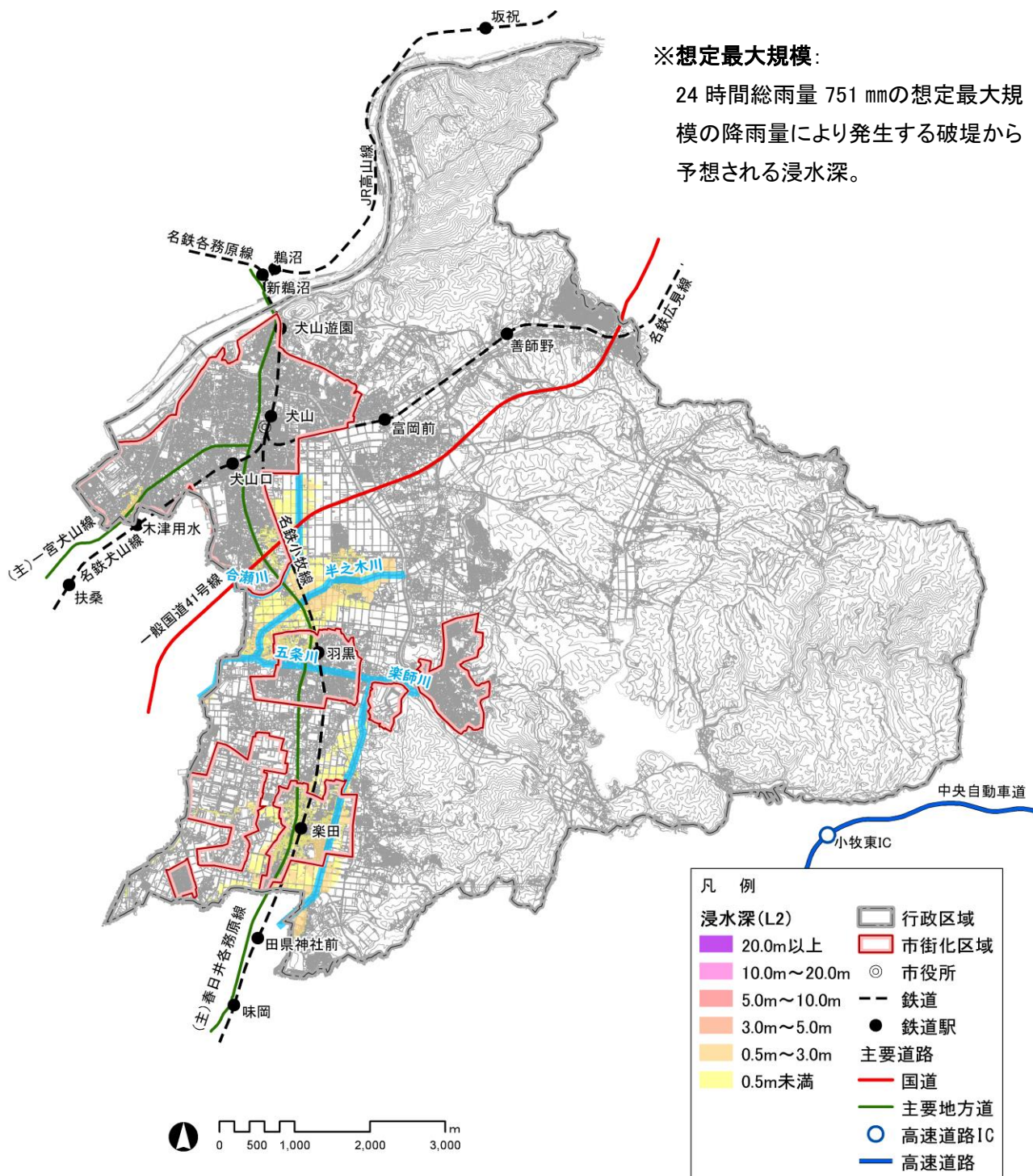
※想定最大規模:

24 時間総雨量 790 mmの想定最大規模の降雨量により発生する破堤から予想される浸水深。



(資料:愛知県河川課)

図 2-16 外水ハザードマップ(新川水系浸水)



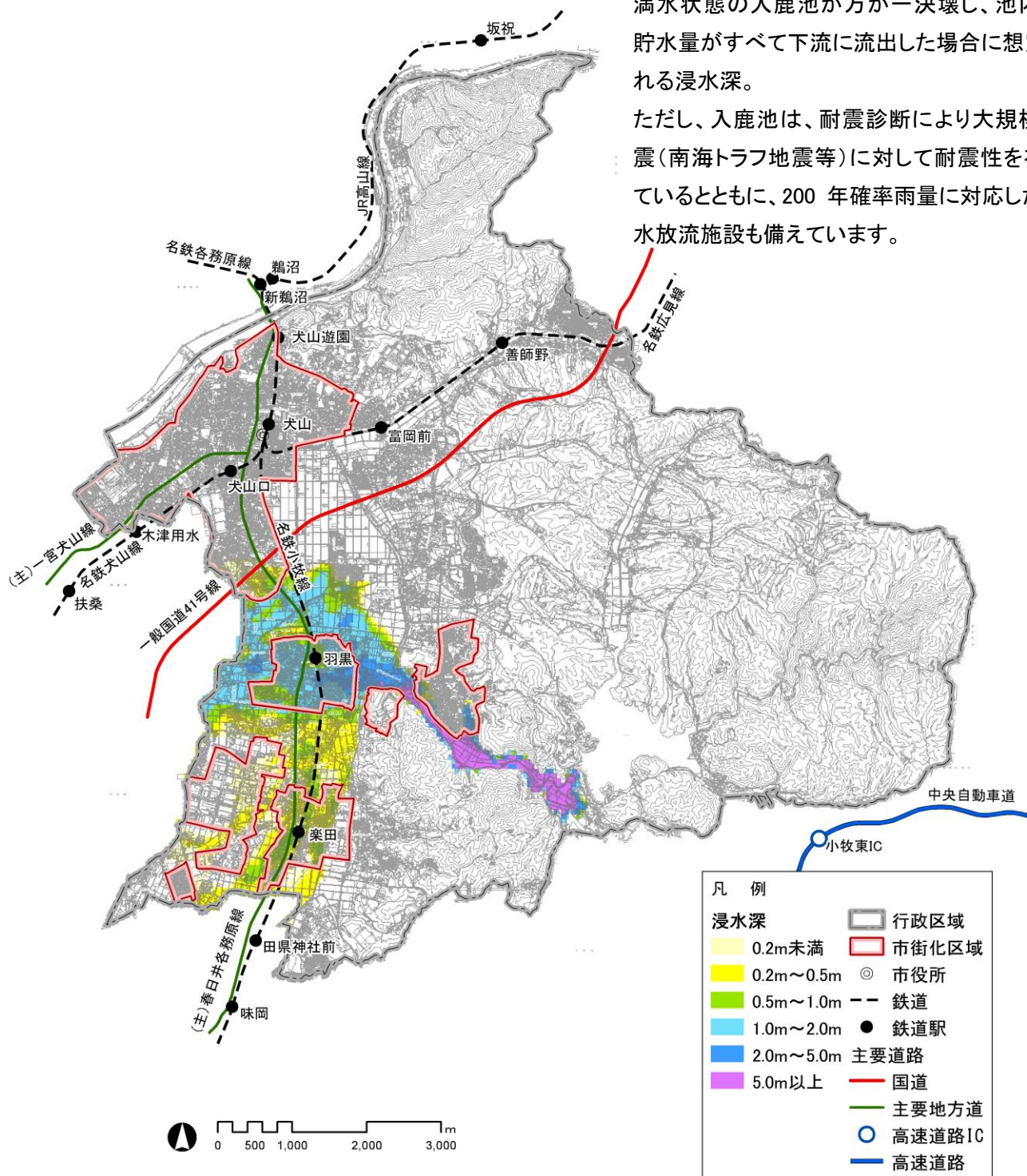
(資料:愛知県河川課)

図 2-17 入鹿池浸水ハザードマップ

※浸水想定:

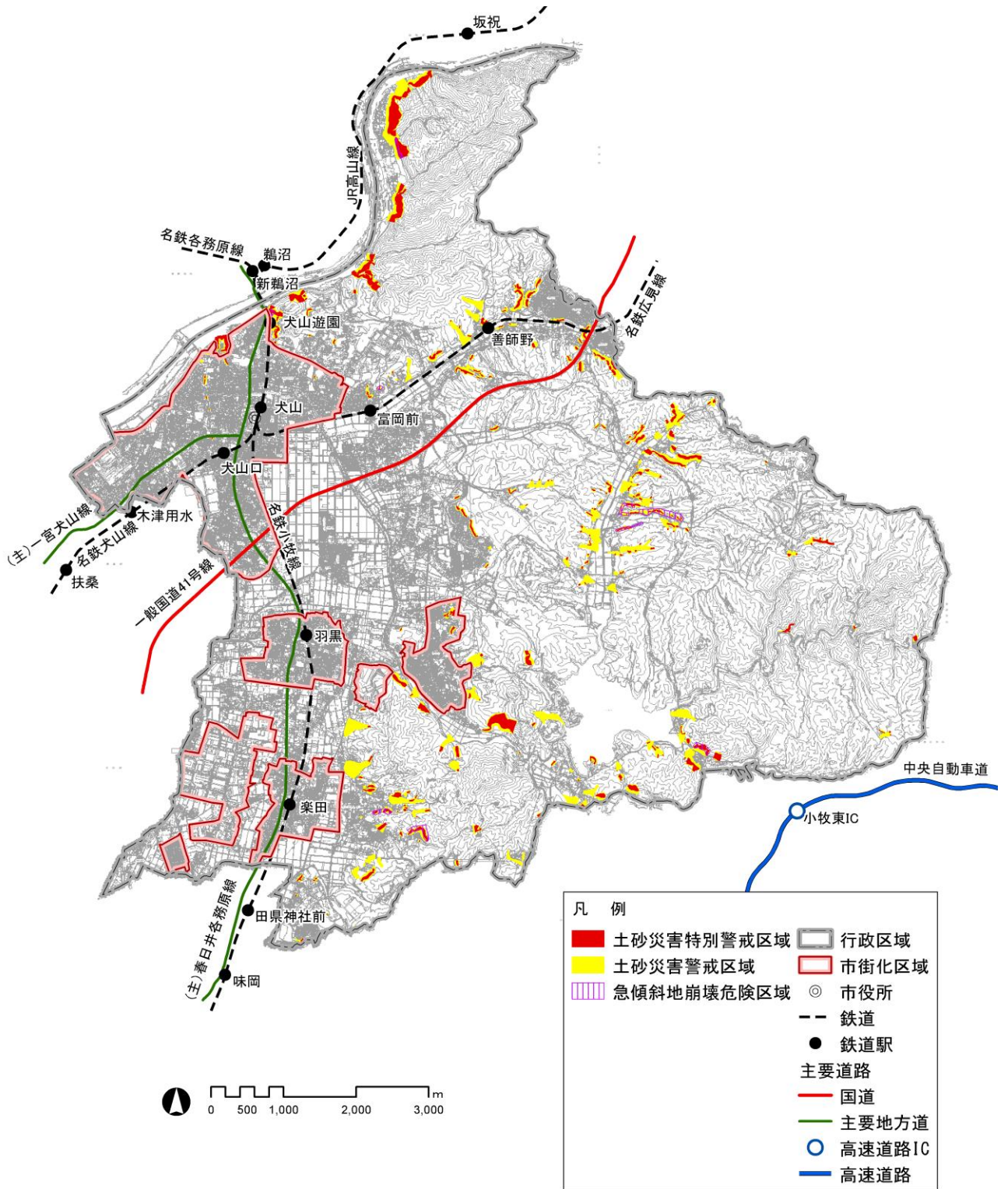
満水状態の入鹿池が万が一決壊し、池内の貯水量がすべて下流に流出した場合に想定される浸水深。

ただし、入鹿池は、耐震診断により大規模地震(南海トラフ地震等)に対して耐震性を有しているとともに、200年確率雨量に対応した洪水放流施設も備えています。



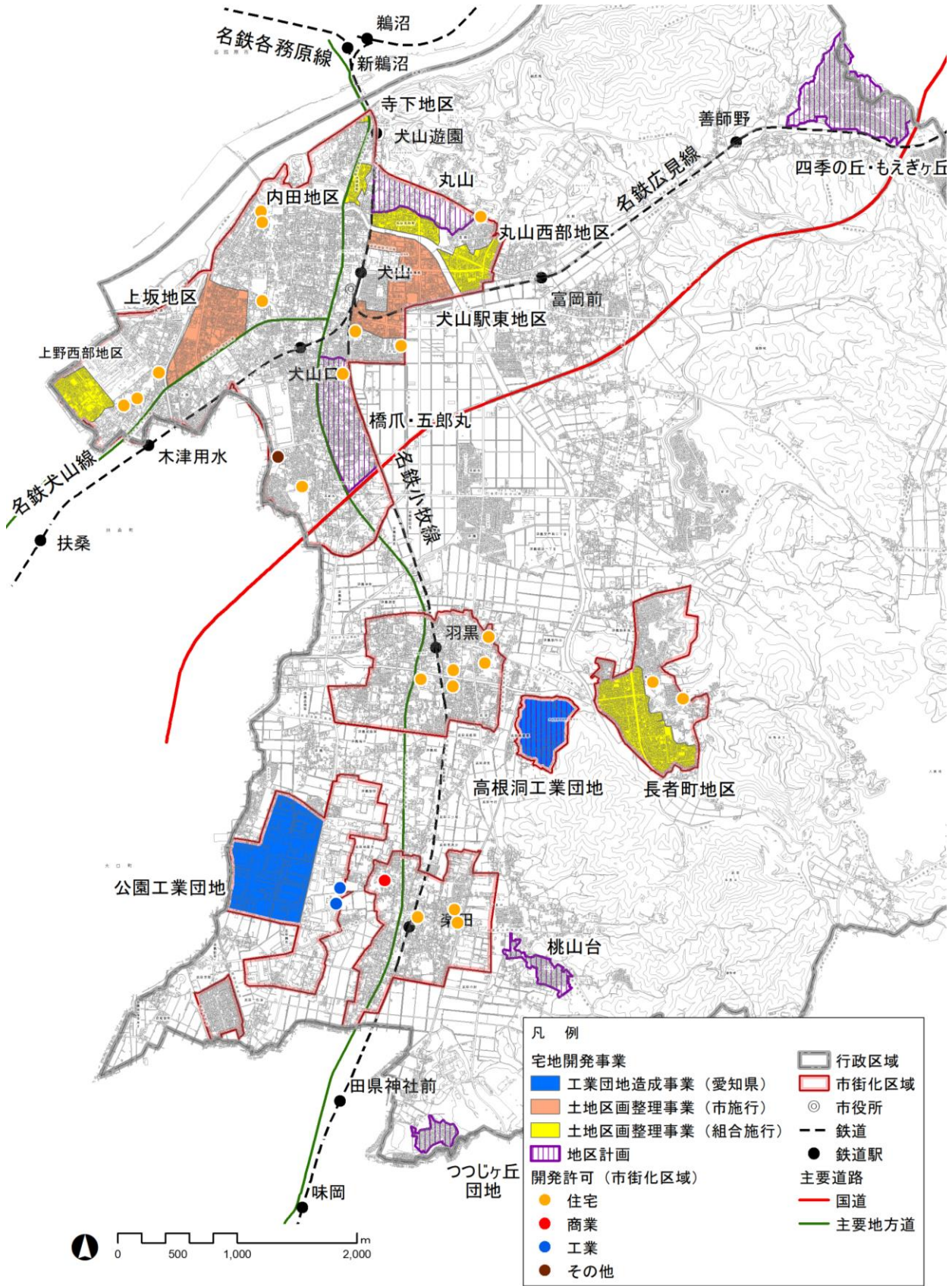
(資料: 愛知県農地計画課)

図 2-18 土砂災害ハザードマップ



(資料:愛知県オープンデータ、愛知県砂防課)

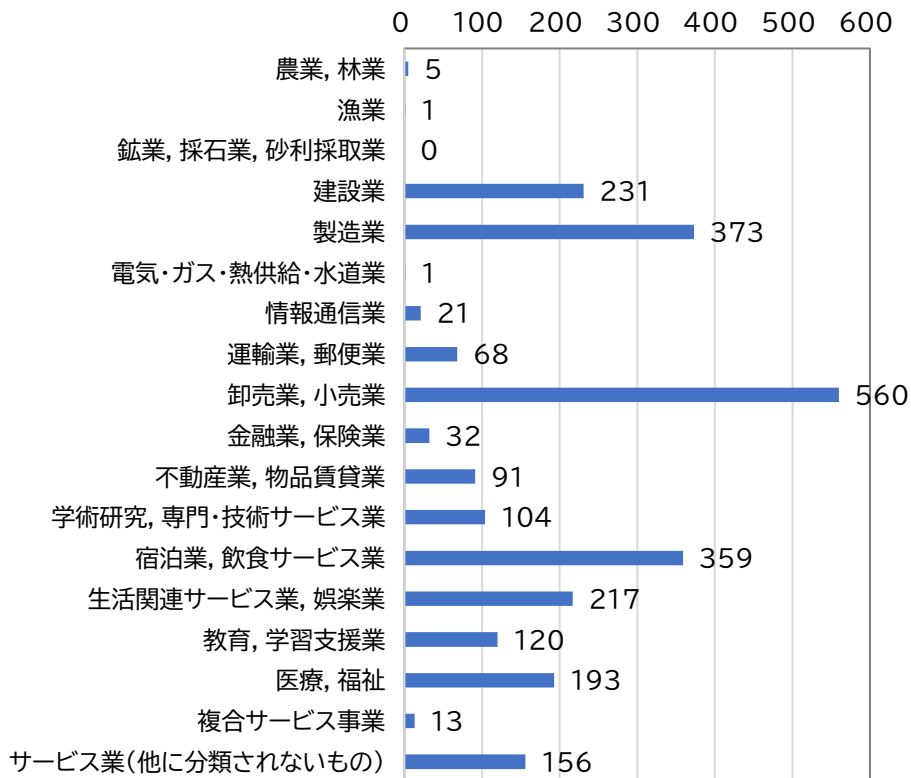
図 2-19 市街地整備状況図



（資料：都市計画基礎調査、国土数値情報）

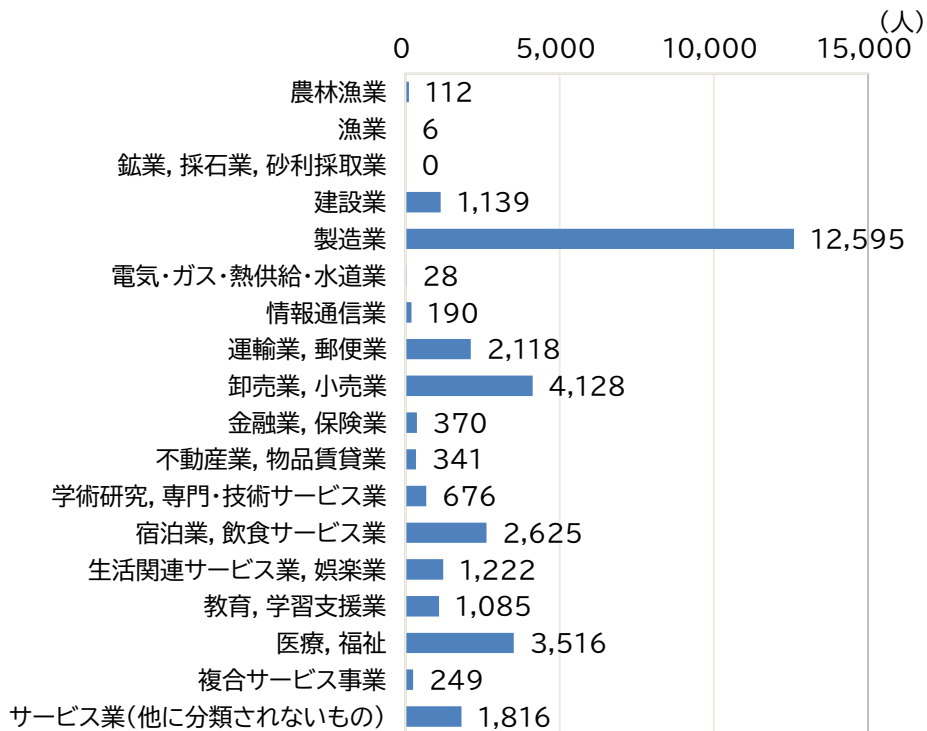
3. 犬山市の実態（地域経済を支える産業実態分析）

図 3-1 産業大分類別にみた事業所数(H28(2016)) (件)



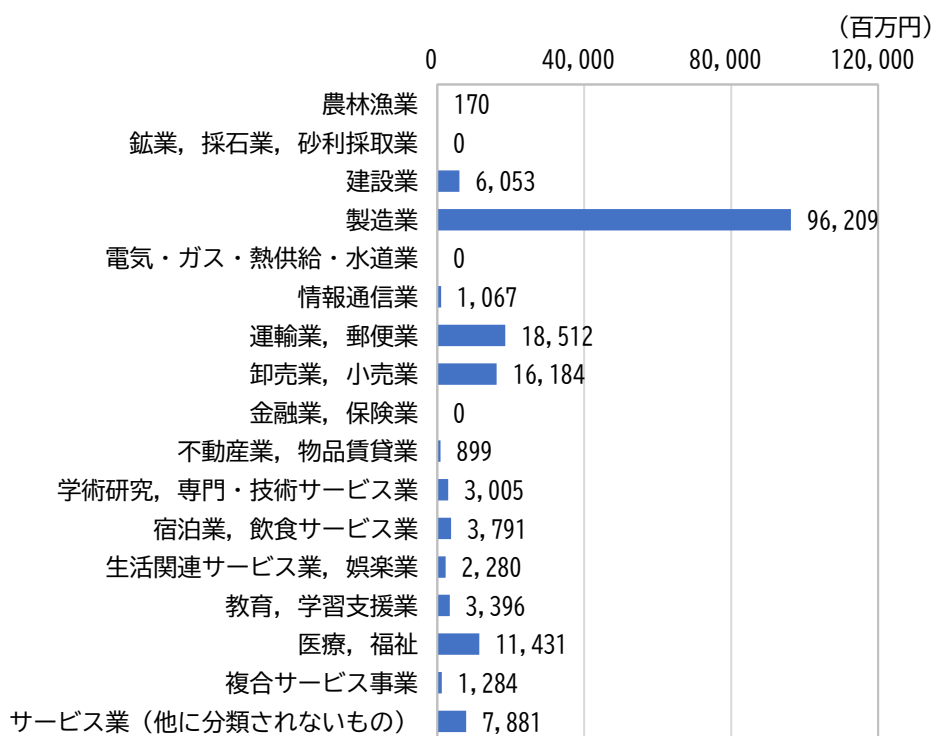
(資料: 経済センサス活動調査)

図 3-2 産業大分類別にみた従業員数(H28(2016))



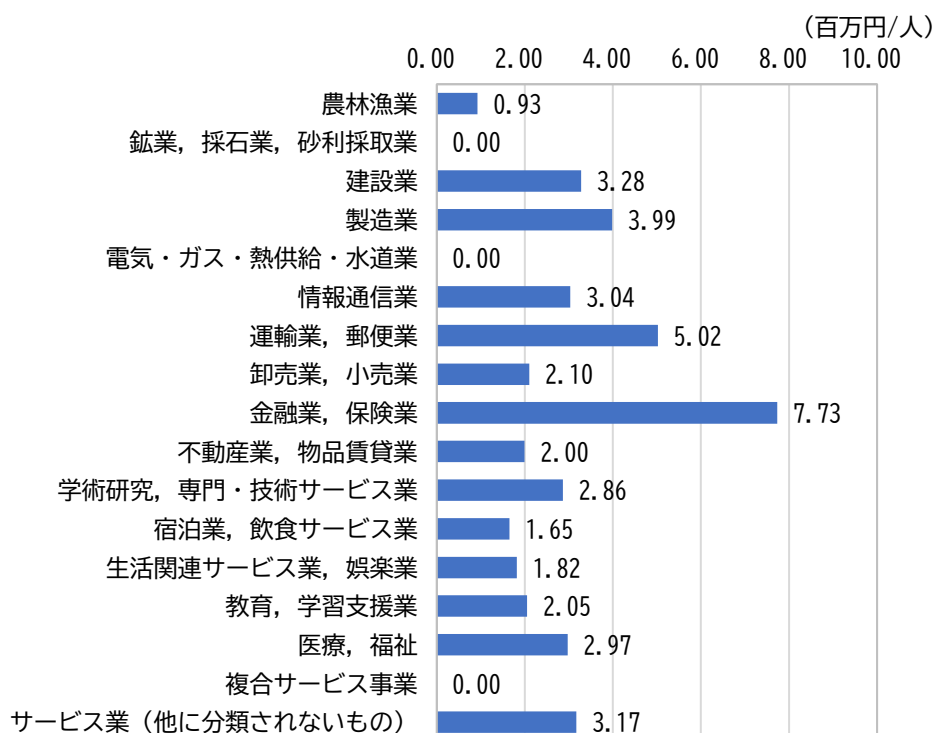
(資料: 経済センサス活動調査)

図 3-3 産業大分類別にみた付加価値額 (H28(2016))



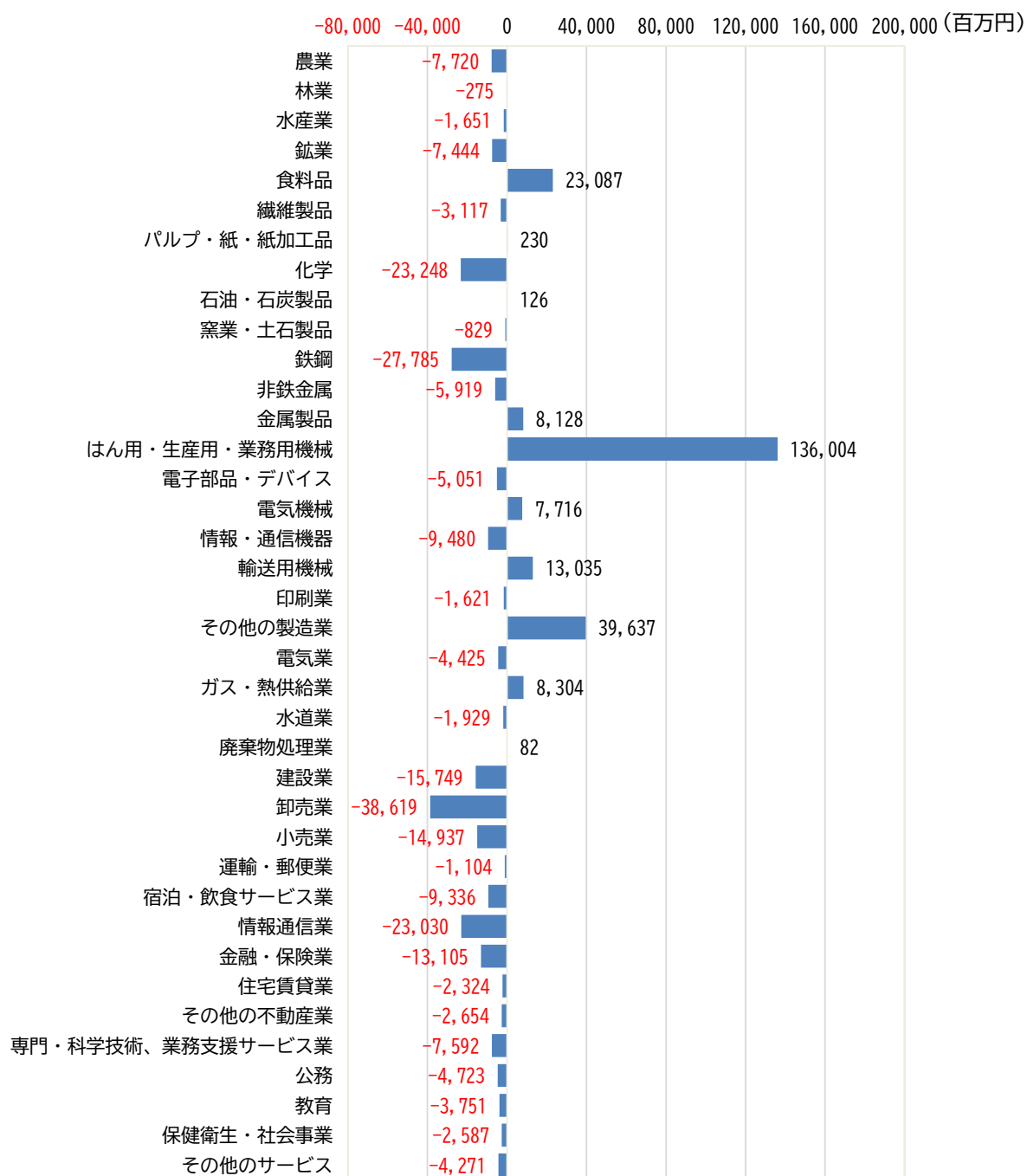
(資料: 経済センサス活動調査)

図 3-4 産業大分類別従業員1人当たりの給与総額 (H28(2016))



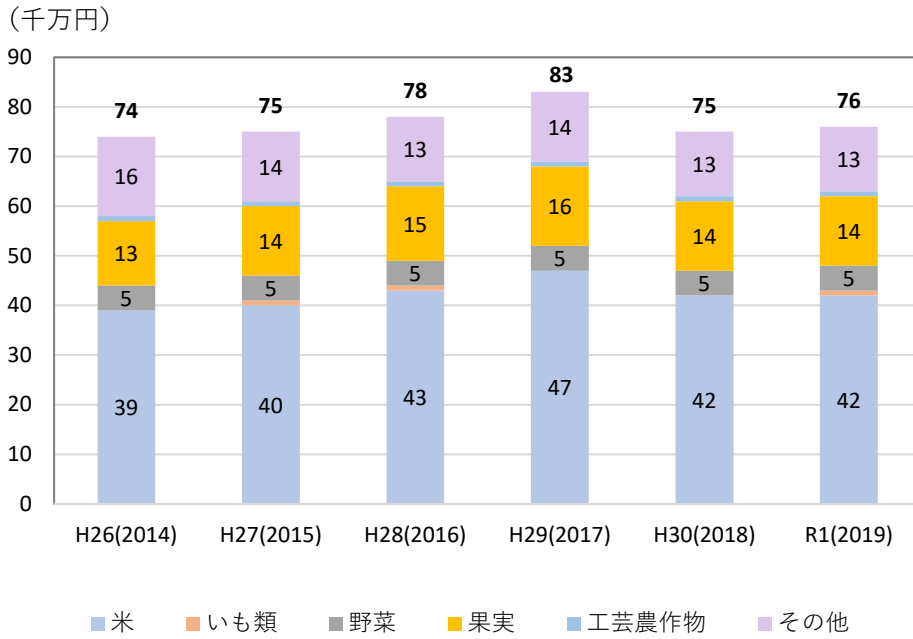
(資料: 経済センサス活動調査)

図 3-5 産業別純移輸出額(市外からの支払と市外への支払いの差)(H27(2015))



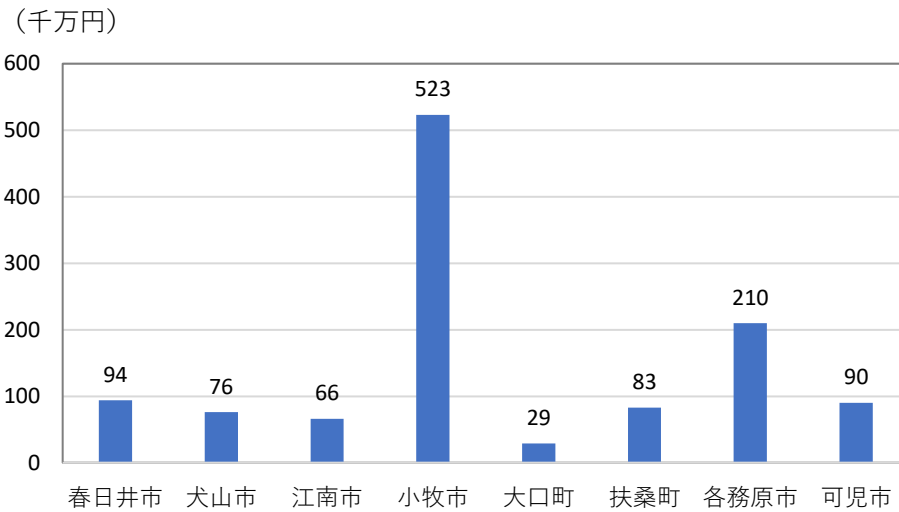
(資料:地域産業連関表)

図 3-6 部門別農業産出額の推移



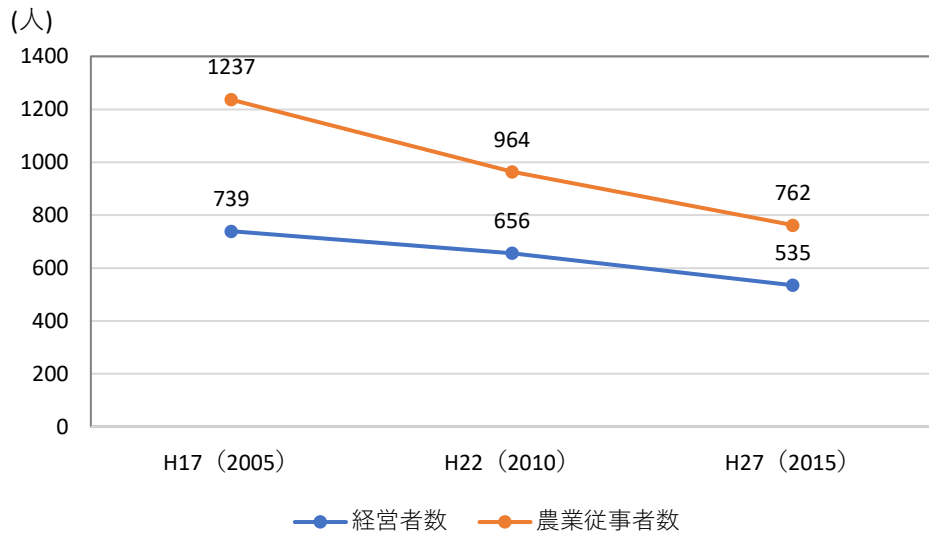
(資料:農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」)

図 3-7 農業産出額【自治体間比較】(R1(2019))



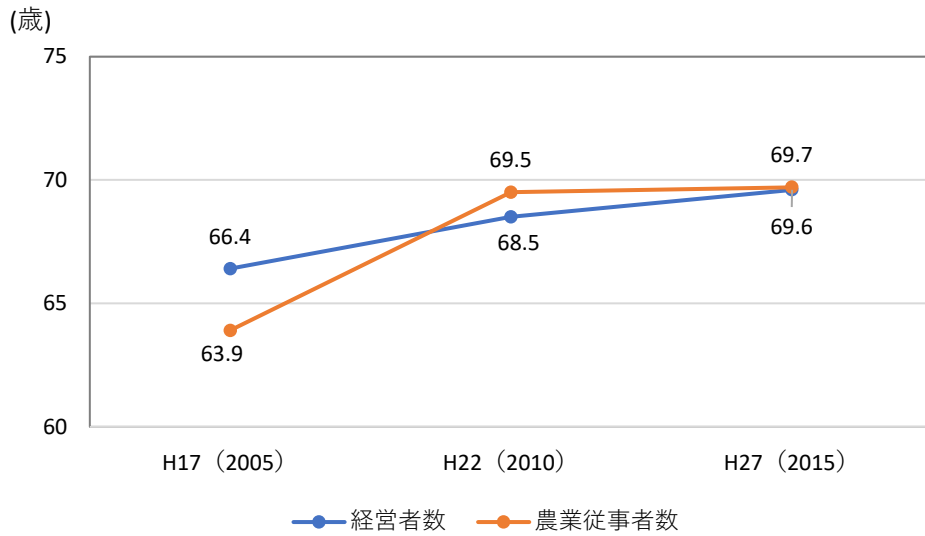
(資料:農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」)

図 3-8 経営者・農業従事者数の推移



(資料:農林水産省「農林業センサス」)

図 3-9 経営者・農業従事者の平均年齢の推移

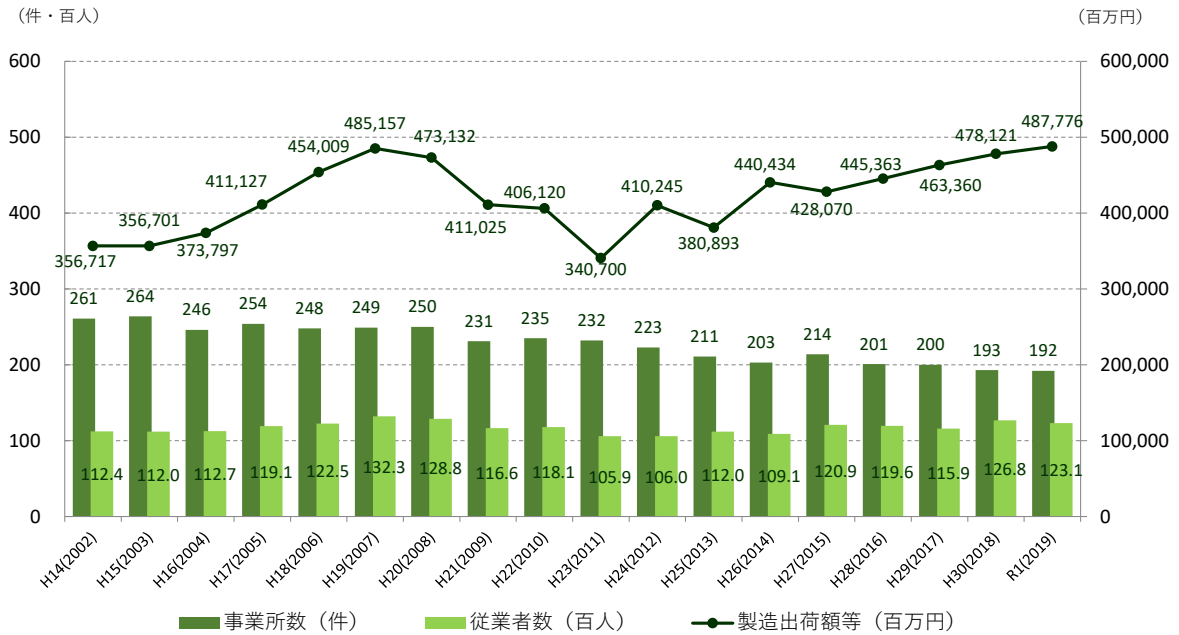


(資料:農林水産省「農林業センサス」)

※農業経営者:当該農家の農業経営に責任を持つ者をいい、農作業に従事せず作業等の指示を行うだけの者も含める。

農業就業人口:農業従事者のうち、農業を主として従事した世帯員。

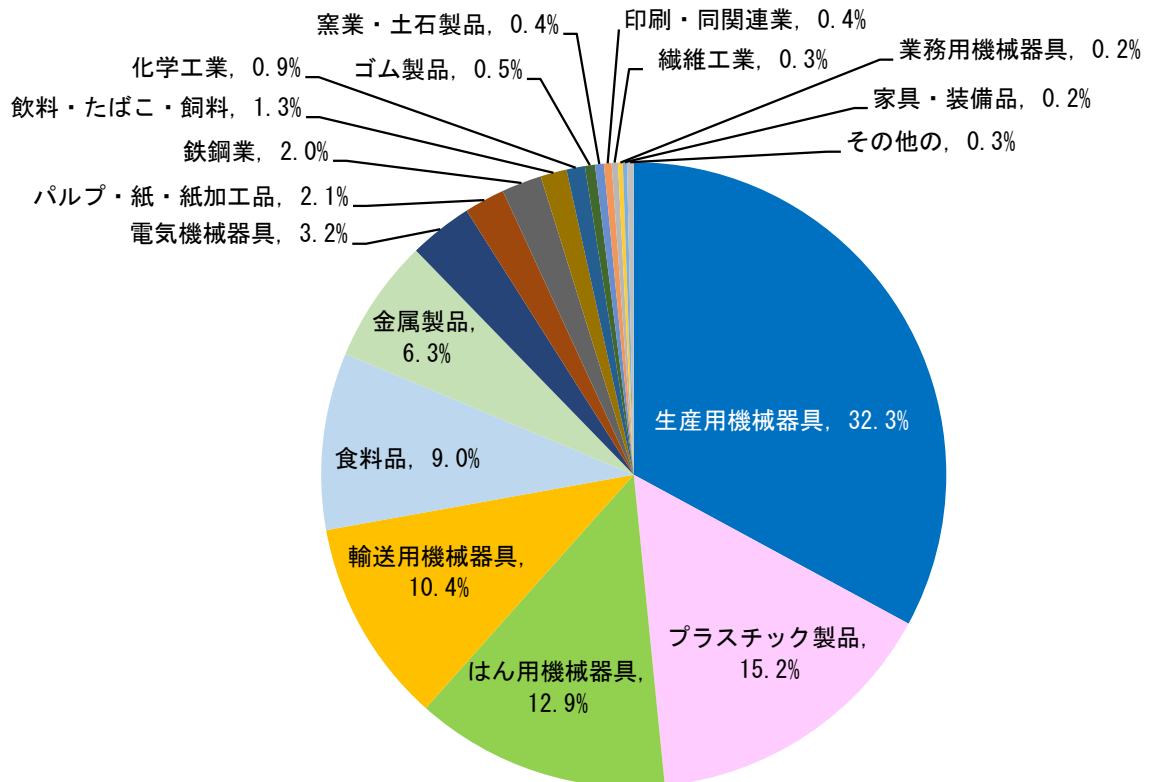
図 3-10 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



※1 平成 23 年の数値は「平成 24 年経済センサス-活動調査 産業別集計(製造業)」、平成 27 年の数値は「平成 28 年経済センサス-活動調査 産業別集計(製造業)」によるものであり、工業統計調査との時系列比較の参考にするための数値です。
 ※2 事業所数及び従業者数について、平成 23 年は平成 24 年 2 月 1 日現在、平成 27 年から令和元年は翌年の 6 月 1 日現在、その他の年次は同じ年の 12 月 31 日現在の数値です。

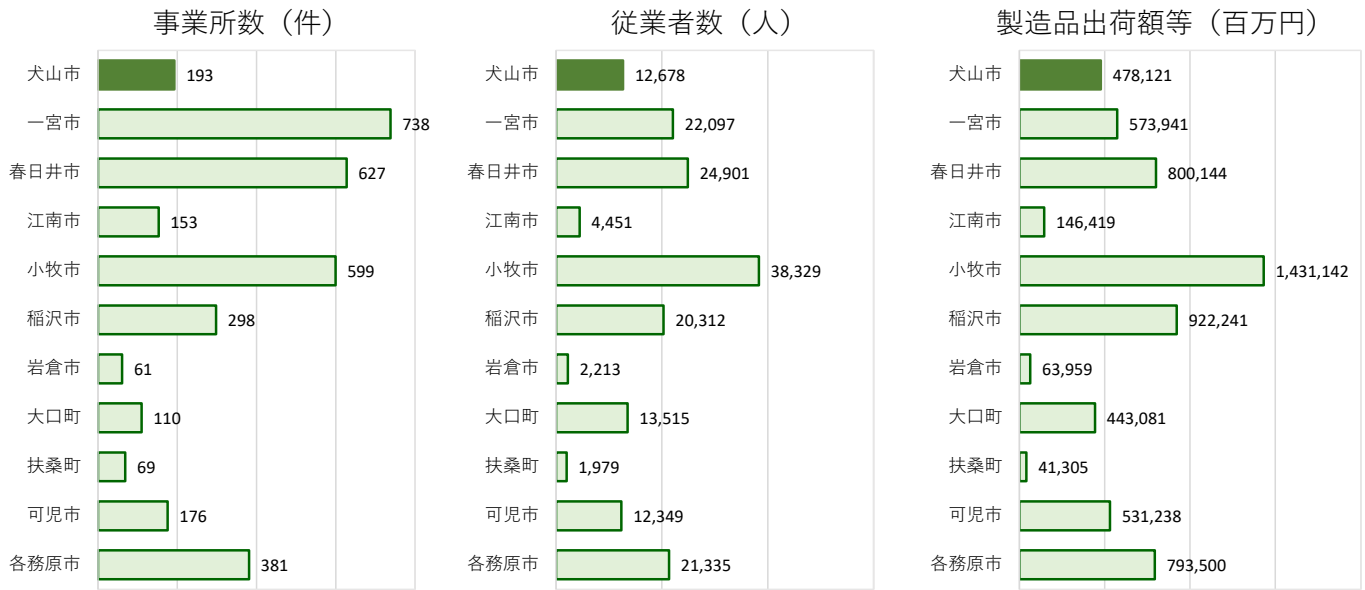
(資料:工業統計調査)

図 3-11 産業中分類別製造品出荷額 (R1 (2019))



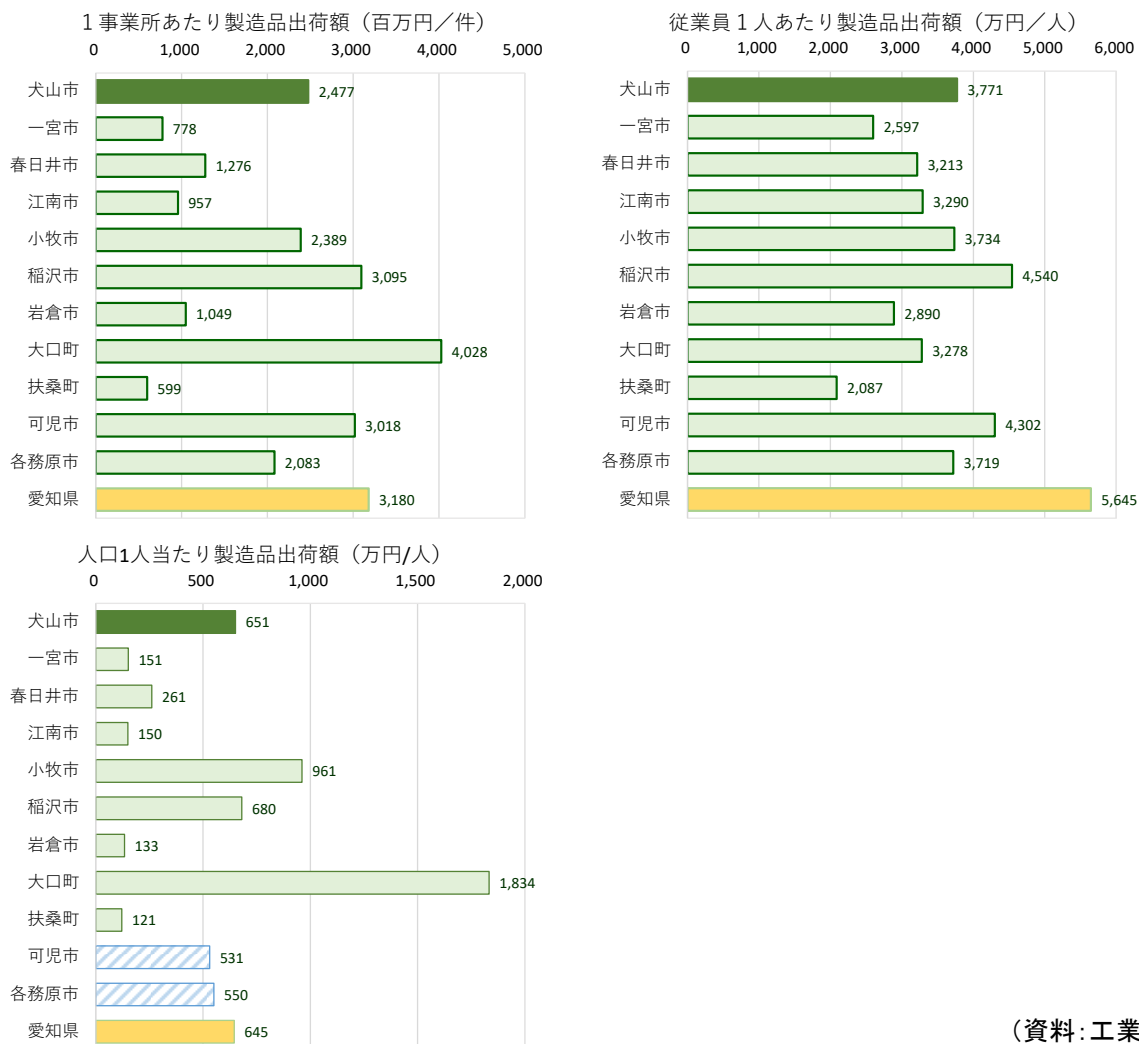
(資料:工業統計調査)

図 3-12 事業所数・従業者数・製造品出荷額等【自治体間比較】(R1 (2019))



(資料:工業統計調査)

図 3-13 1事業所あたり製造品出荷額・従業員1人あたり製造品出荷額・人口1人あたり製造品出荷額【自治体間比較】(R1 (2019))



(資料:工業統計調査)

図 3-14 小売業の商店数、従業員数、年間商品販売額等の推移

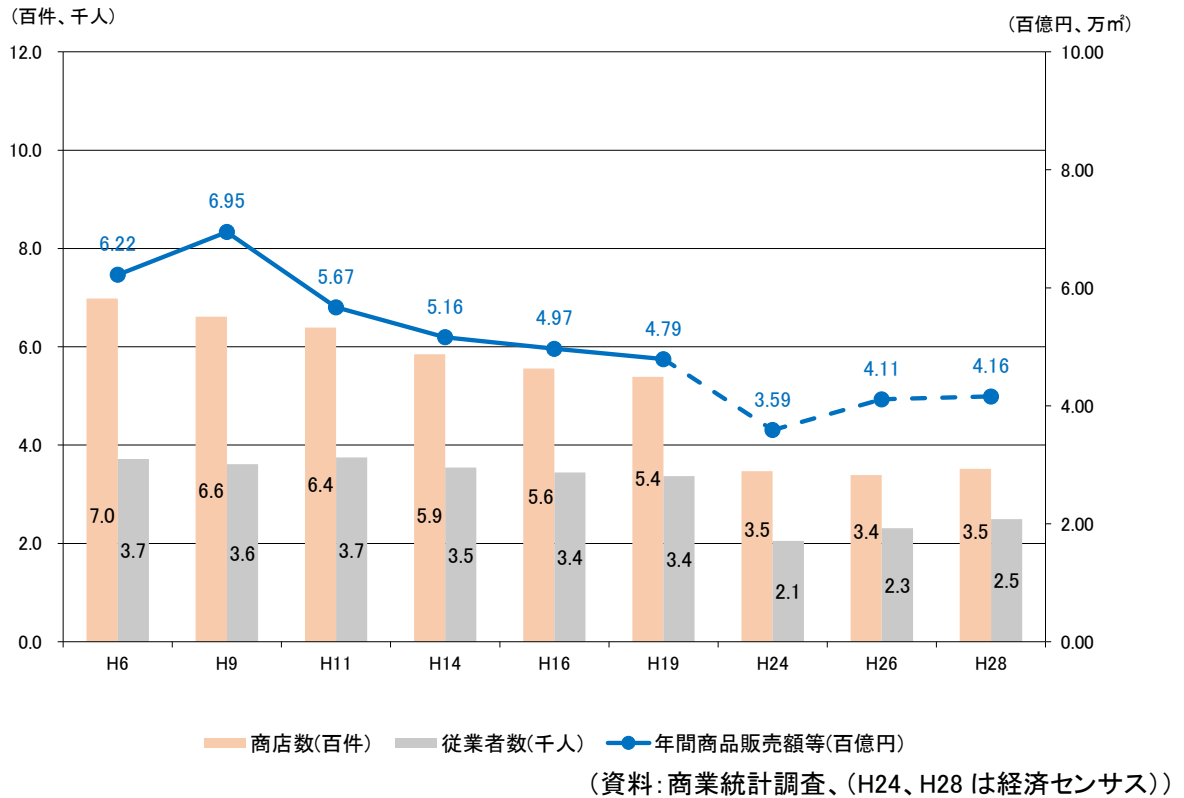
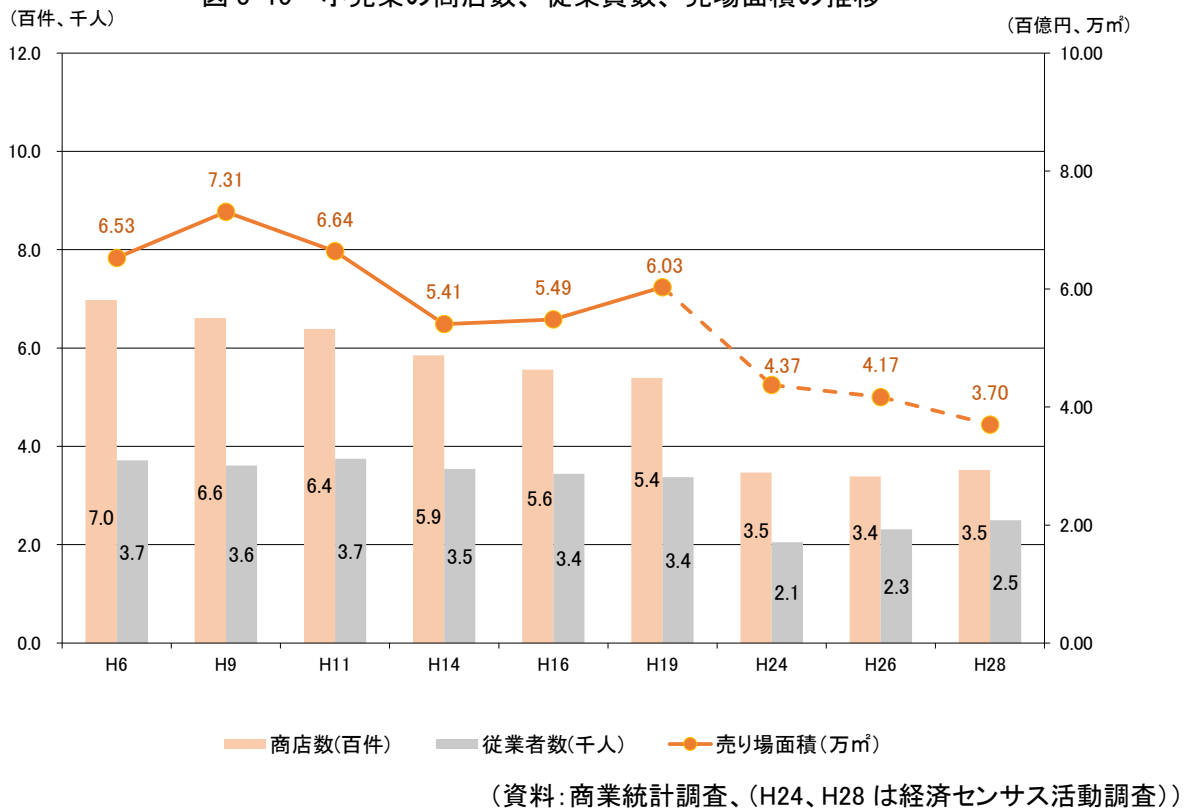


図 3-15 小売業の商店数、従業員数、売場面積の推移

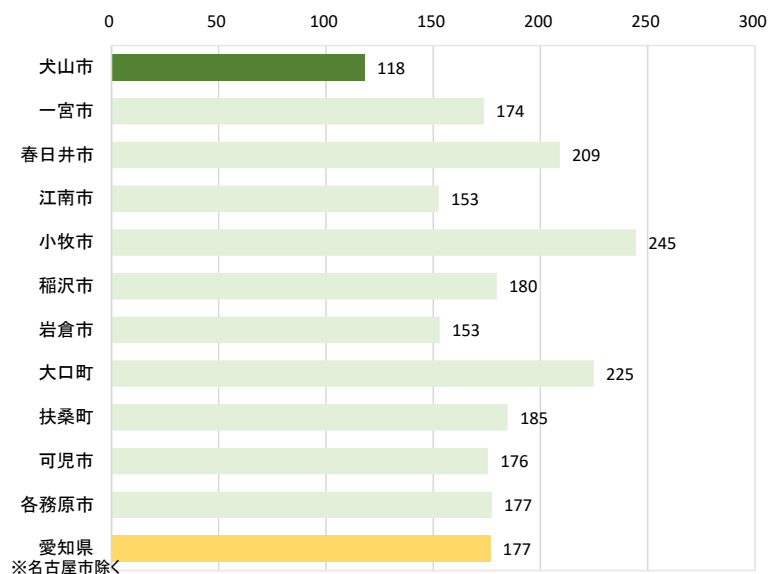


※平成 26 年調査は、日本標準産業分類の第 12 回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成 19 年調査の数値とは接続しない。また平成 24 年、28 年データは経済センサスによるもので、他の年度の商業統計調査と集計対象範囲が異なっている。

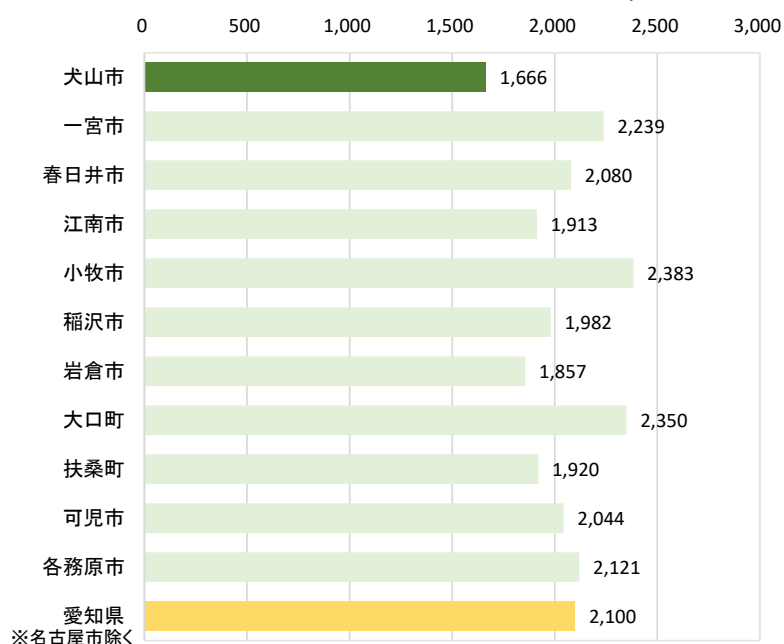
図 3-16 小売業の事業所数・従業者数・年間商品販売額【自治体間比較】(H28 (2016))

	事業所数(件)	従業者数(人)	年間商品販売額 (万円)	小売面積(m ²)
犬山市	352	2,496	41,578	37,034
一宮市	2,099	16,279	364,518	352,058
春日井市	1,371	13,781	286,653	316,761
江南市	516	4,115	78,728	120,153
小牧市	742	7,616	181,513	213,891
稲沢市	760	6,891	136,569	226,439
岩倉市	218	1,797	33,376	41,852
大口町	118	1,129	26,533	49,936
扶桑町	195	1,877	36,038	49,873
可児市	521	4,475	91,460	147,283
各務原市	912	7,626	161,743	204,937

1事業所あたり年間販売額(百万円/件)

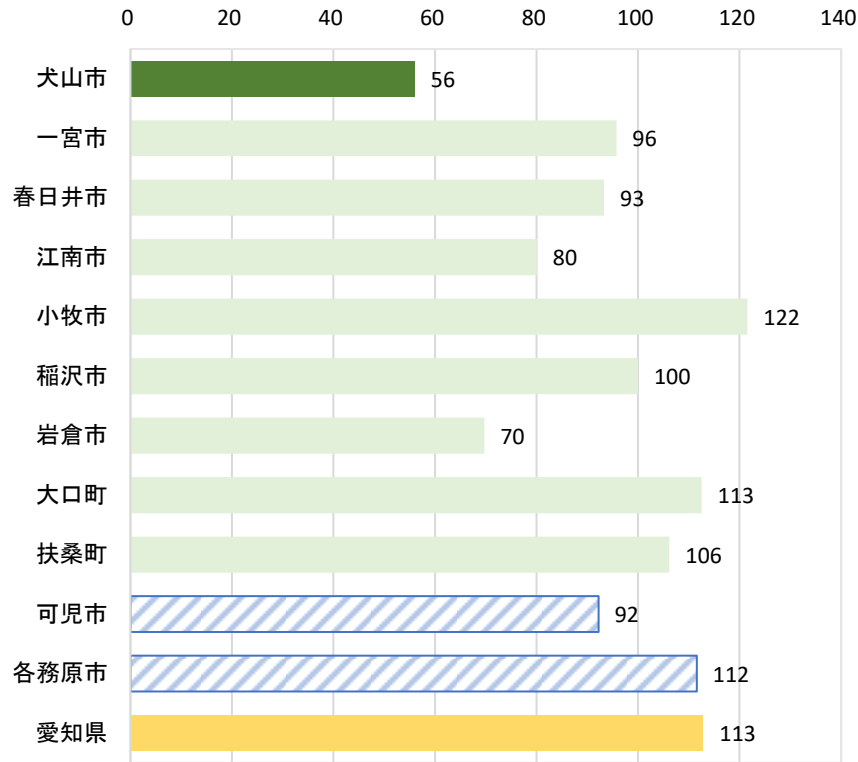


従業員1人当たり年間販売額(百万円/人)



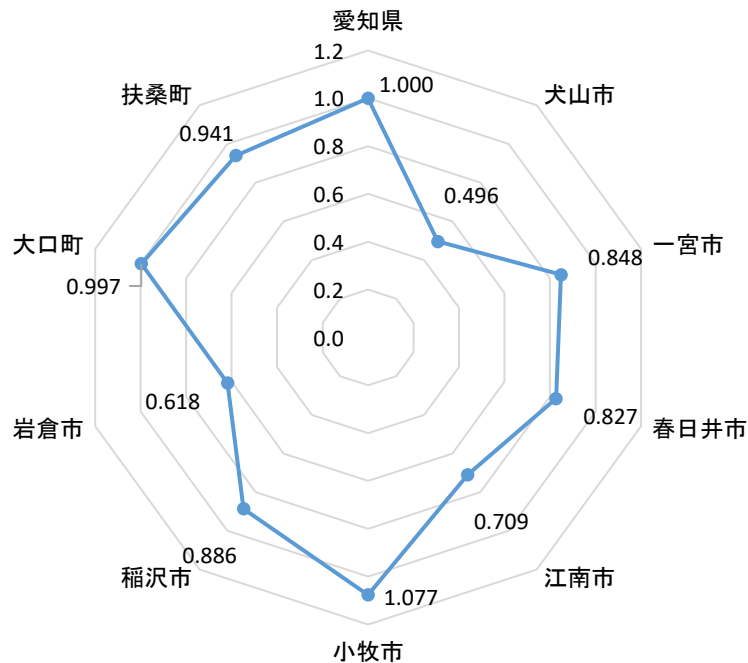
(資料: 経済センサス活動調査(愛知県平均は名古屋市を除いた数値))

図 3-17 小売業の人口1人当たり年間販売額【自治体間比較】(H28 (2016))



(資料: 経済センサス活動調査、あいちの人口、岐阜県の人口)

図 3-18 愛知県内小売吸引力指数の比較 (H28 (2016))



(資料: 経済センサス活動調査、あいちの人口)

※小売吸引力指数とは、各市人口一人当り販売額を県の人口1人当り販売額で除した値。地域が買い物をひきつける力を現す指標で、指数が1以上の場合は、買い物客を外部から引き付け、1未満の場合は、外部に流出していると見ることができる。

図 3-19 犬山市買い物アンケート調査結果 (R1 (2019))

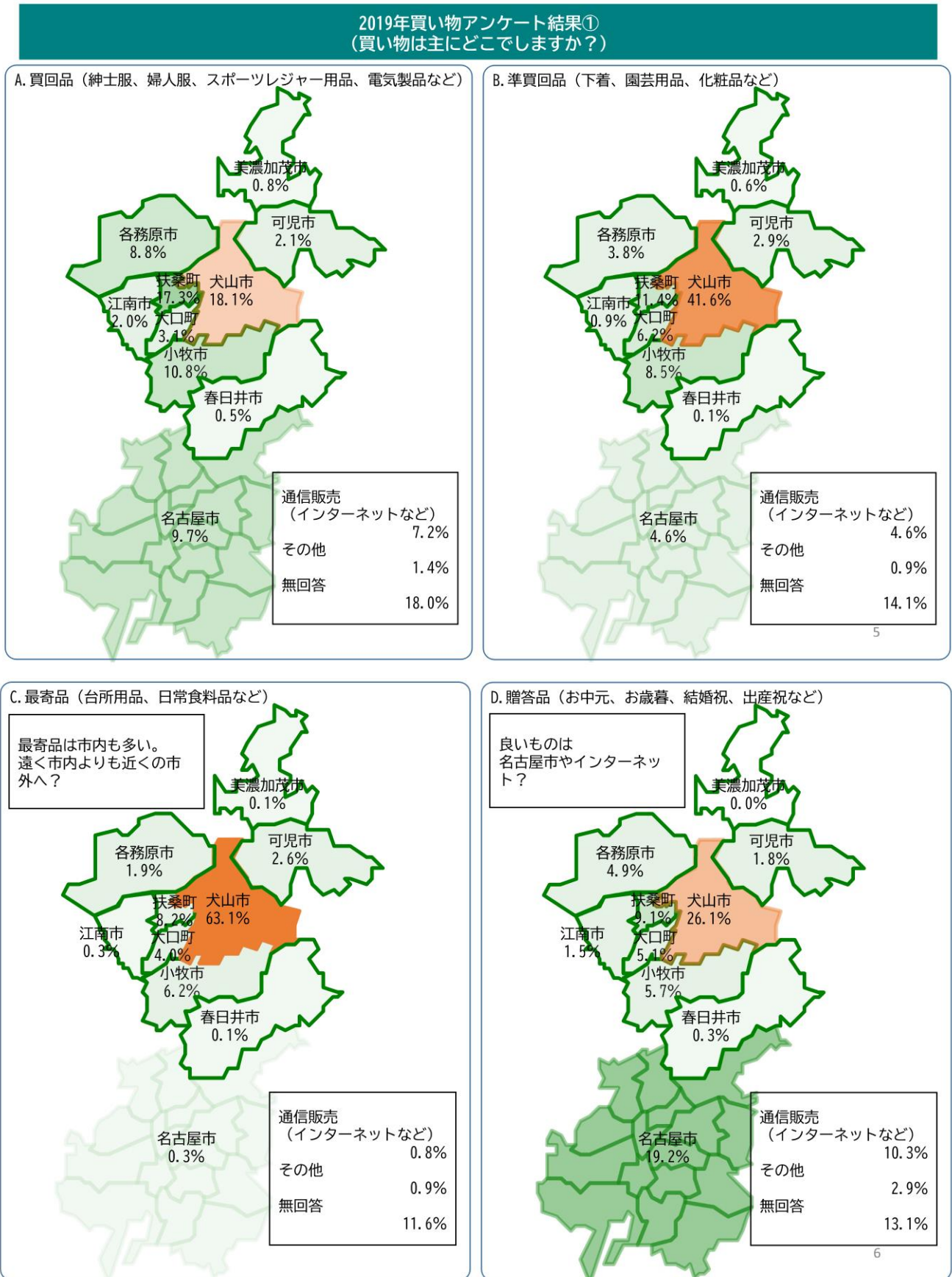
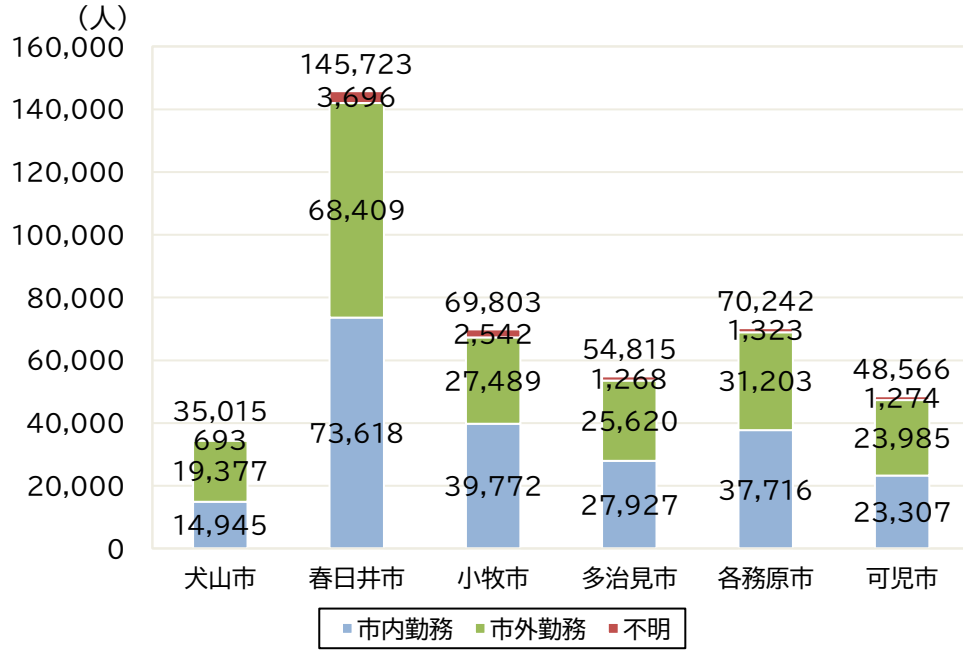
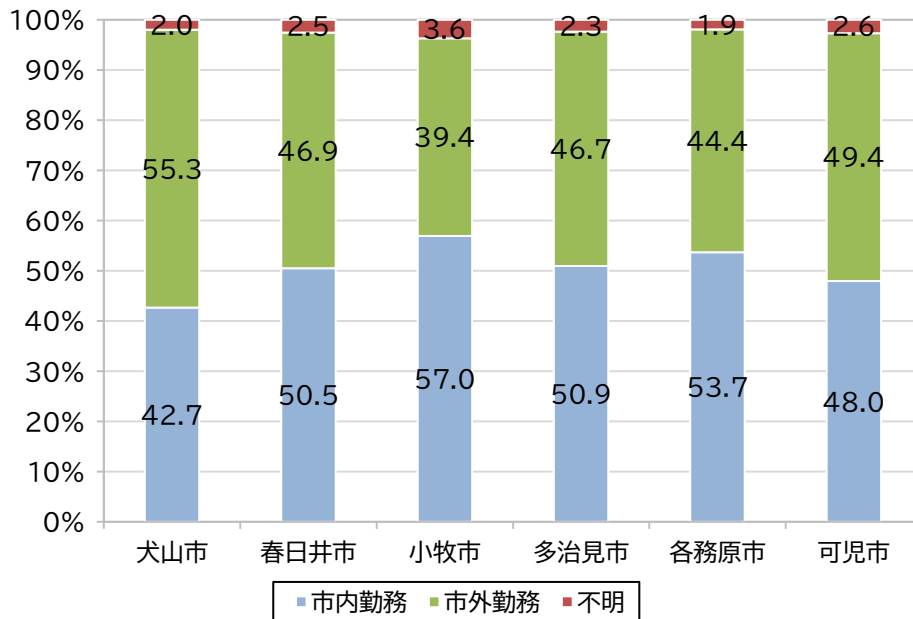


図 3-20 就業者の勤務地【自治体間比較】(H27(2015))



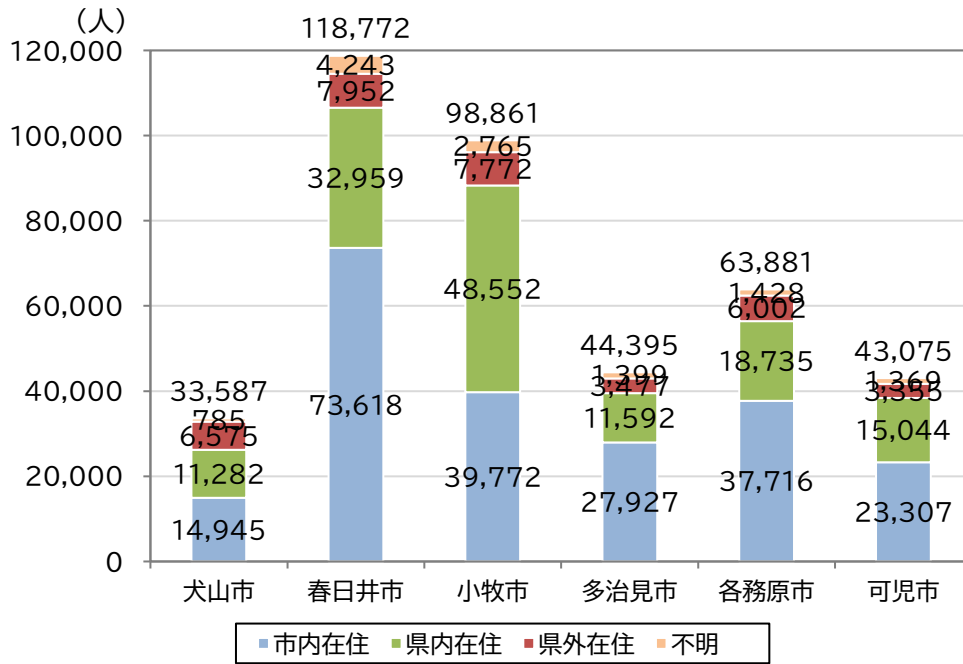
(資料:国勢調査)

図 3-21 就業者の勤務地の割合【自治体間比較】(H27(2015))



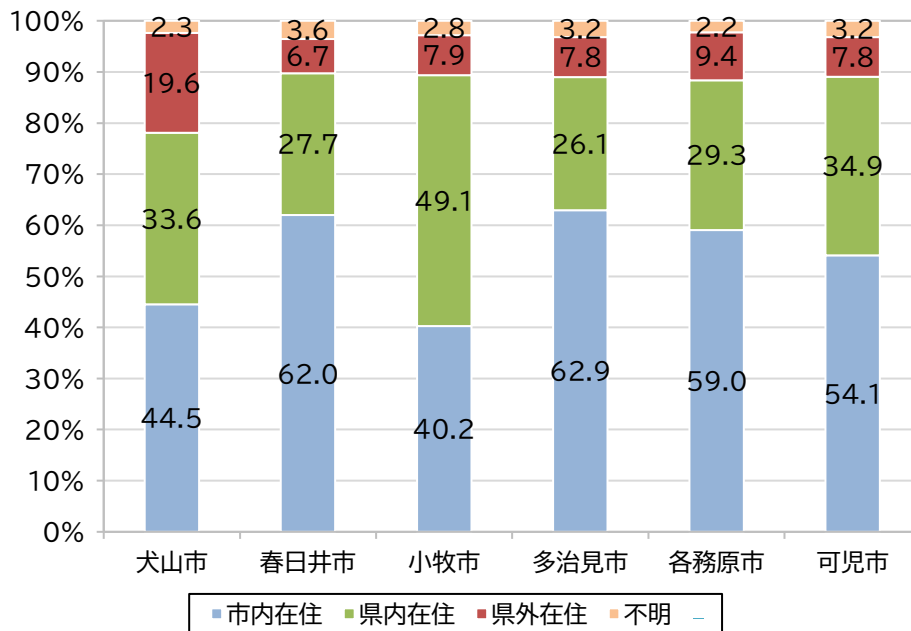
(資料:国勢調査)

図 3-22 従業者の居住地【自治体間比較】(H27(2015))



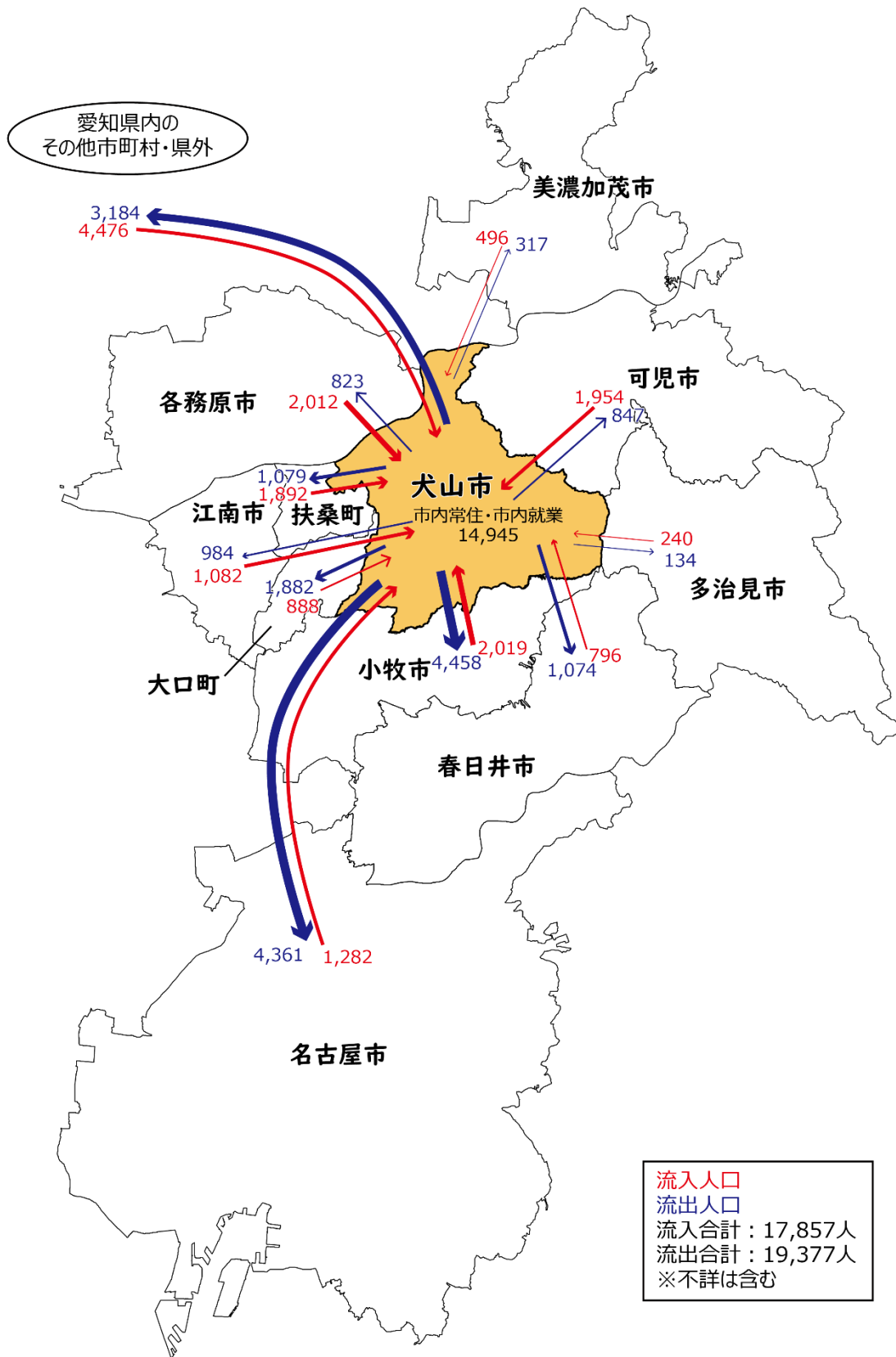
(資料:国勢調査)

図 3-23 従業者の居住地の割合【自治体間比較】(H27(2015))



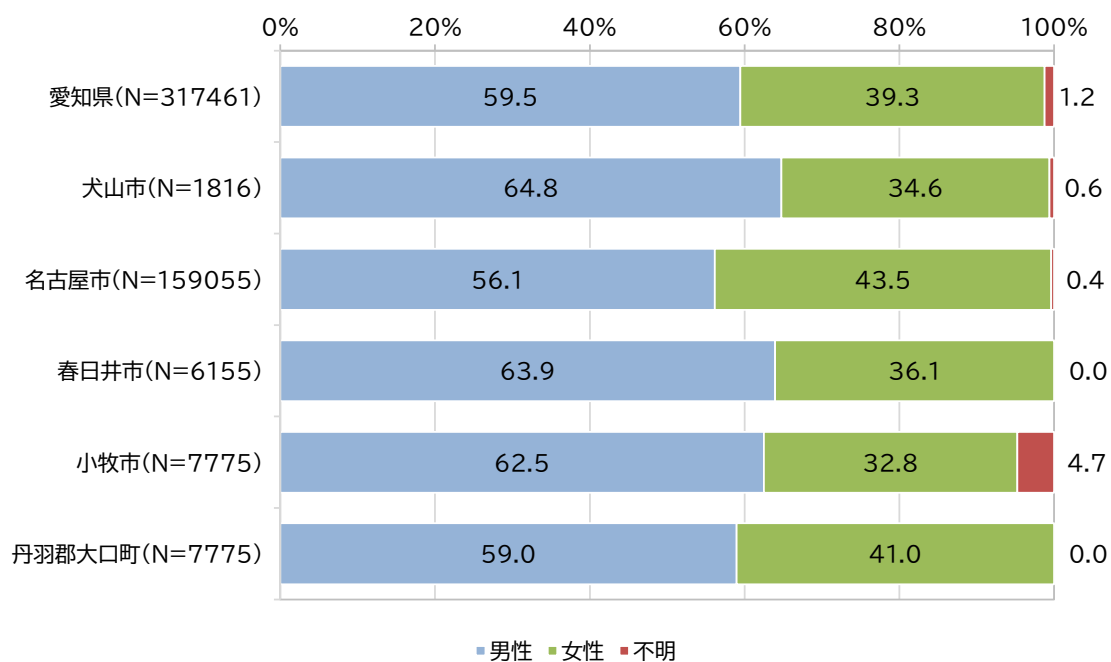
(資料:国勢調査)

図 3-24 市民の就業先(H27(2015))



(資料:国勢調査)

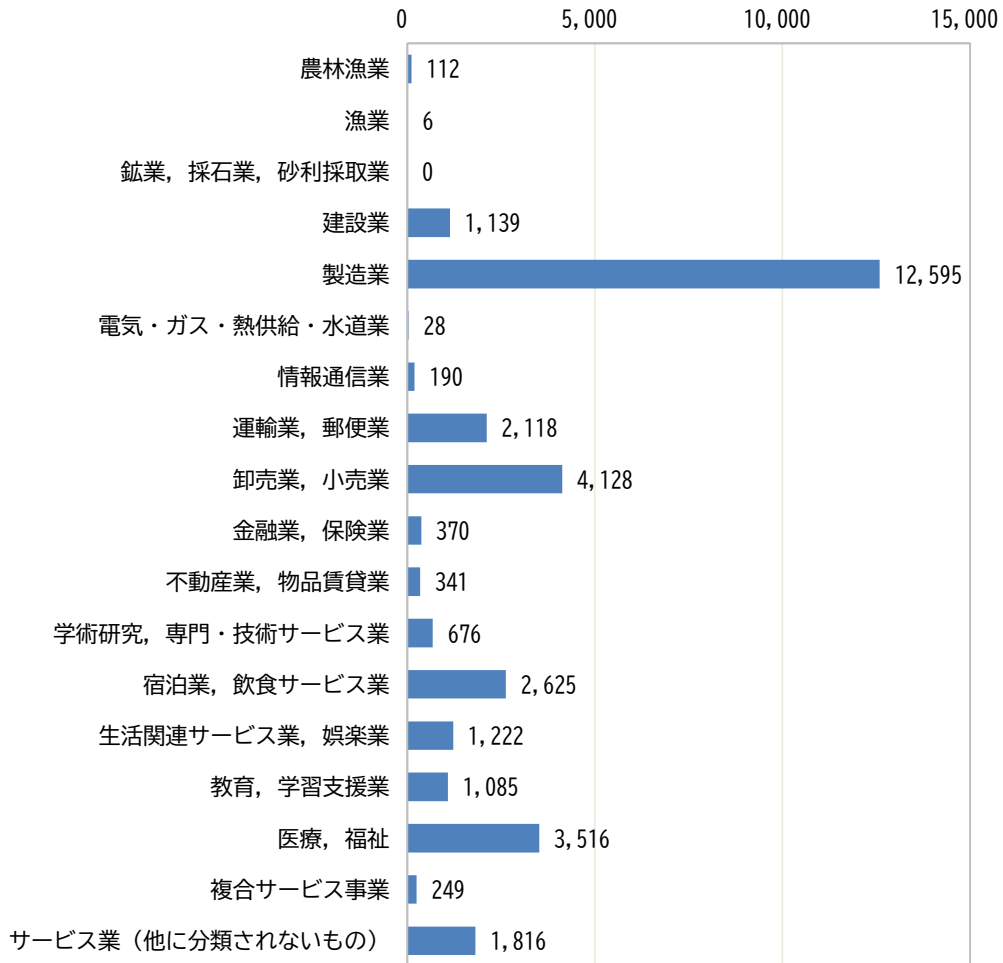
図 3-25 従業者の性比【自治体間比較】(H28(2016))



(資料: 経済センサス活動調査)

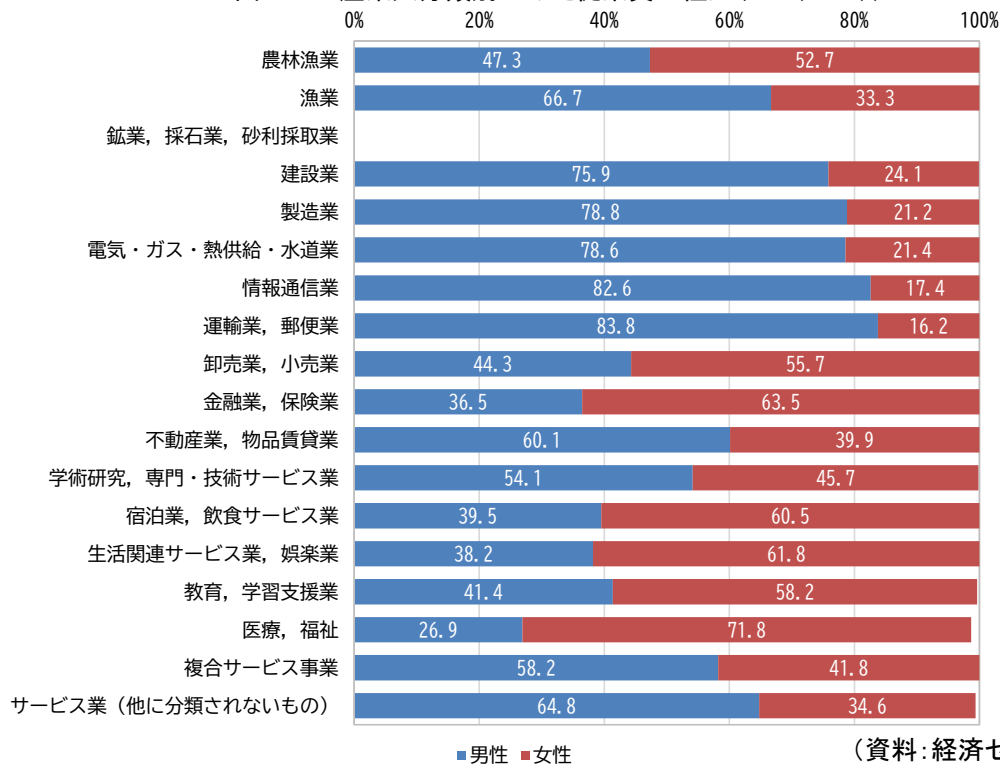
図 3-26 産業大分類別にみた従業者数(H28(2016))

(人)



(資料: 経済センサス活動調査)

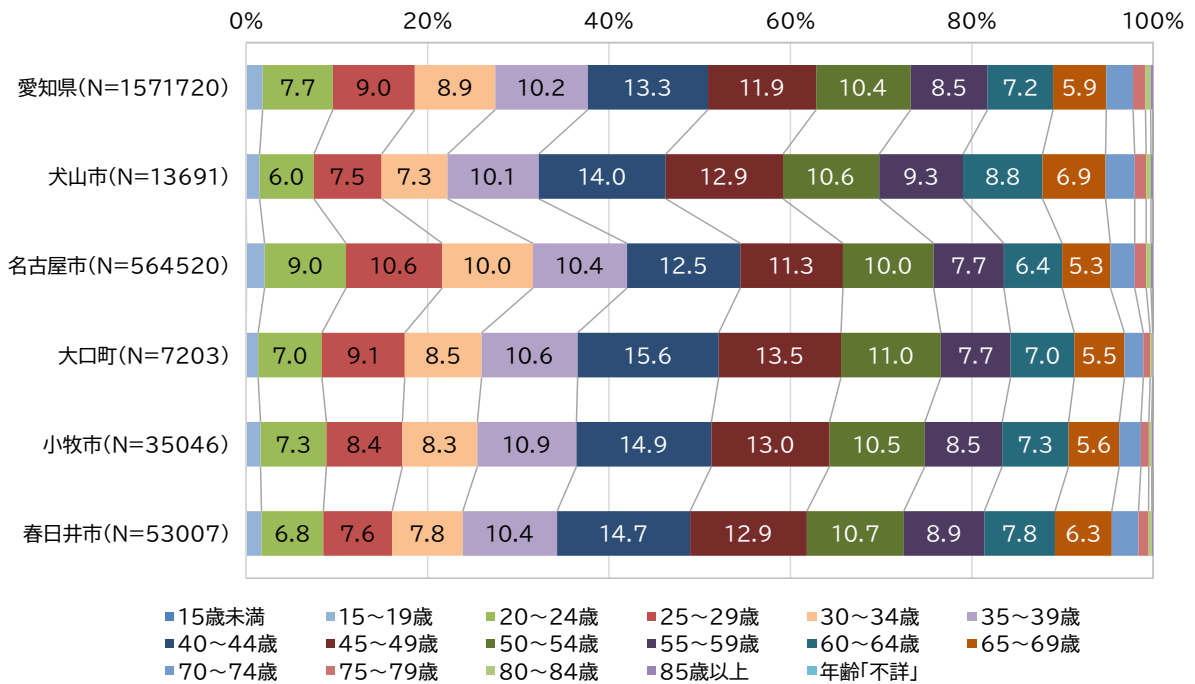
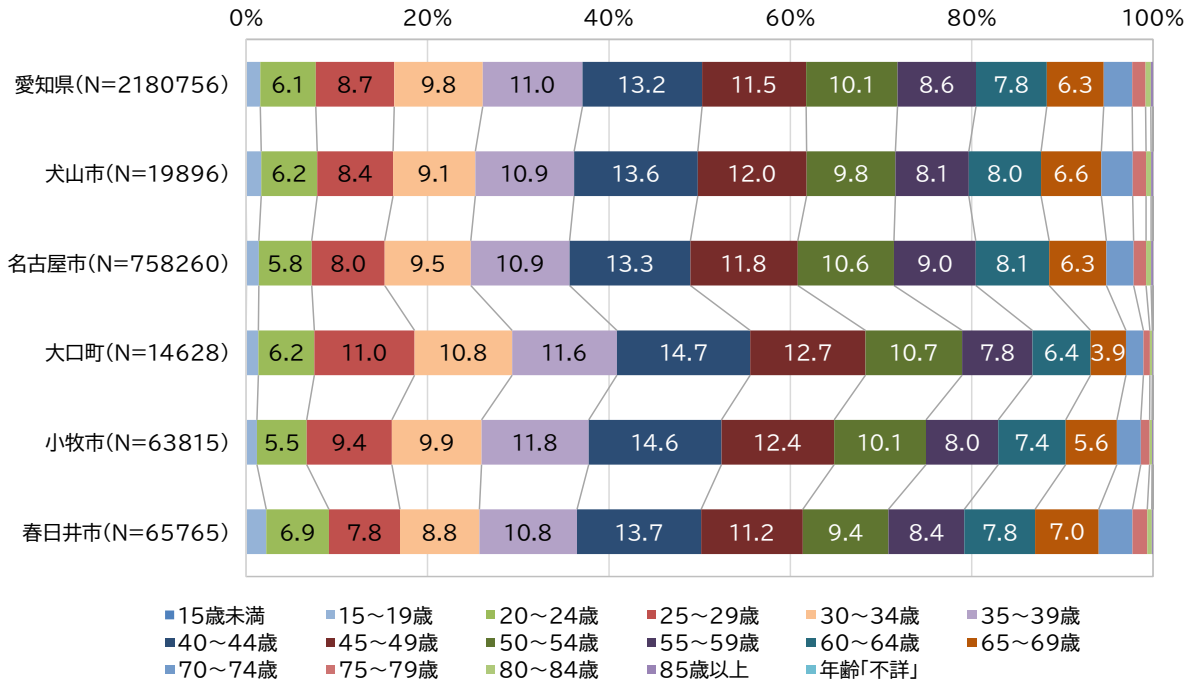
図 3-27 産業大分類別にみた従業員の性比(H28(2016))



(資料: 経済センサス活動調査)

図 3-29 性別・年代別にみた市内従業者(比率)(H27(2015))

上:男性、下:女性



(資料:国勢調査)